

ピアノ（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：横井 香織・河村 義子・三ツ橋 義晴						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年次に修得した演奏テクニックを発展させ、ロマン派・近現代の作品を中心に、テクニックと表現力が調和した高度な音楽作りを目指します。 音楽関連の知識を豊富にし、表現力豊かで魅力的な演奏ができるようにしていきます。					
授業方法	演習授業で、個々のレベルや進度に合わせた個人レッスンを行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 音楽的知識を身に付けて楽譜の理解に努め、作曲家や作品についての知識も修得し、楽曲理解に繋げることができる。() 2.[思考・判断・表現] 音色や響きを追求し、楽曲にふさわしい演奏表現をすることができる。() 3.[技能] より高度な演奏技術の向上に努めることができる。() 4.[関心・意欲・態度] 音楽的感性を養う努力をし、指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、積極的な取り組みができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	-	30	30	-	60
	中間試験	-	5	5	-	10
	受講態度	15	-	-	15	30
	合計	15	35	35	15	100
成績評価と割合	試験 60%、中間試験 10%、受講態度 30% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	全訳ハノンピアノ教本（全音楽譜出版社、または手持ちのもの） ツェルニー30番以上の練習曲（指定なし） J.S.バッハ：インヴェンション・シンフォニア（指定なし）					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（1） 休暇中の課題のレッスン [準備・課題] 各曲のレッスンができるように準備しておく（2～3h）					
2	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（2） 譜読みの再確認 [準備・課題] 各曲1曲ずつ正確に譜読みの再確認をする（2～3h）					
3	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（3） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（2～3h）					
4	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（4） 強弱・速度・音楽用語 [準備・課題] レッソンの復習をし、楽譜に忠実に強弱、速度、音楽用語を表現する（2～3h）					
5	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（5） 暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、暗譜に取り組む（2～3h）					
6	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（6） 弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、弾き込んで演奏力を高める（2～3h）					
7	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（7） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、中間試験に向けて仕上げる（2～3h）					
8	中間試験（バッハ：インヴェンション、シンフォニア、平均律のどれか1曲） 試験曲を選曲（近現代の作品） ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（1） 正確な譜読み [準備・課題] 試験曲の譜読みに取り組む（2～3h）					
9	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（2） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（2～3h）					
10	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（3） 曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、楽譜を熟読して曲想を付ける（2～3h）					
11	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（4） 音色 [準備・課題] レッソンの復習をし、楽曲にふさわしい音色を研究する（2～3h）					
12	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（5） 音楽表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、表現力を高める（2～3h）					
13	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（6） 暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、確実に暗譜演奏ができるようにする（2～3h）					
14	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（7） 弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、弾き込んで演奏力を高める（2～3h）					
15	ハノン、練習曲、バッハ、近現代の作品（試験曲）（8） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽性を高め仕上げる（2～3h）					
時間外での学習	各々の課題について、細かく深く練習してください。 また、演奏会に積極的に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化を知るなど、練習時間以外にもできることはたくさんあります。幅広く音楽的素養を身に付け、感性を磨いてください。					
受講学生へのメッセージ	音楽を頭で考え、心で感じて演奏しましょう。 オフィスアワーは各レッスン室で授業前後の休み時間です。					

ピアノ（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：横井 香織・河村 義子・三ツ橋 義晴						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	より高度な音楽作りを心掛け、個々の希望する曲などは可能な限り取り入れ、最大限の成長を目指します。幅広く音楽関連の素養を身に付け、音楽表現もより豊かにし、魅力的で感動的な演奏ができるようにしていきます。					
授業方法	演習授業で、個々のレベルや進度に合わせた個人レッスンを行います。					
到達目標	1. [知識・理解] 音楽的知識を身に付けて楽譜の理解に努め、作曲家や作品についての知識も修得し、楽曲理解に繋げることができる。() 2. [思考・判断・表現] 音色や響きを追求し、楽曲にふさわしい演奏表現をすることができる。() 3. [技能] より高度な演奏技術を身に付けることができる。() 4. [関心・意欲・態度] 音楽的感性を磨く努力をし、指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、積極的な取り組みができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	-	30	30	-	60
	中間試験	-	5	5	-	10
	受講態度	15	-	-	15	30
	合計	15	35	35	15	100
成績評価と割合	試験 60%、中間試験 10%、受講態度 30% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	全訳ハノンピアノ教本（全音楽譜出版社、または手持ちのもの） ツェルニー30番以上の練習曲（指定なし） J.S.バッハ：インヴェンション・シンフォニア（指定なし）					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（1） 休暇中の課題のレッスン、譜読みの再確認 [準備・課題] 各曲のレッスンができるように準備しておく 各曲1曲ずつ正確に譜読みの再確認をする（2～3h）					
2	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（2） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（2～3h）					
3	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（3） 曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、楽譜を熟読して曲想を付ける（2～3h）					
4	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（4） 音楽性 [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽性を高める（2～3h）					
5	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（5） 暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、確実に暗譜演奏ができるようにする（2～3h）					
6	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（6） 弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、弾き込んで演奏力を高める（2～3h）					
7	ハノン、練習曲、バッハ、選曲した曲（7） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、中間試験に向けて仕上げる（2～3h）					
8	中間試験（調号4つまでのスケール・アルペジオ、練習曲） 試験曲を選曲（自由曲） ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（1） 正確な譜読み [準備・課題] 試験曲の譜読みに取り組む（2～3h）					
9	ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（2） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（2～3h）					
10	ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（3） 曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、楽譜を熟読して曲想を付ける（2～3h）					
11	ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（4） 音色 [準備・課題] レッソンの復習をし、楽曲にふさわしい音色を研究する（2～3h）					
12	ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（5） 音楽表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、表現力を高める（2～3h）					
13	ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（6） 暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、確実に暗譜演奏ができるようにする（2～3h）					
14	ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（7） 弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、弾き込んで演奏力を高める（2～3h）					
15	ハノン、練習曲、バッハ、試験曲（8） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽性を高め仕上げる（2～3h）					
時間外での学習	各々の課題について、細かく深く練習してください。また、演奏会に積極的に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化を知るなど、練習時間以外にもできることはたくさんあります。幅広く音楽的素養を身に付け、感性を磨いてください。					
受講学生へのメッセージ	音楽を頭で考え、心で感じて演奏しましょう。オフィスアワーは各レッスン室で授業前後の休み時間です。					

電子オルガン（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：松井 宏行						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	電子オルガンの演奏力向上とともに、レパートリーの拡充に取り組みます。 具体的には、1曲目は自身で選曲した任意の新規レパートリー演奏に取り組みます。 2曲目は、個々の今後拡充したいジャンルにおいて、比較的難易度の高い候補曲を複数ピックアップし、その中から演奏曲を選曲して取り組みます。 どちらにおいても、1年次よりも更に種々の表現にこだわった演奏を目指します。 個人の演奏力や知識に応じて、その場で必要な楽器の操作/レジスト等の制作力もカバーしていきます。					
授業方法	個人レッスン					
到達目標	1.[知識・理解] 取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。() 2.[思考・判断・表現] 取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に演奏に取り入れて表現することができる。() 3.[技能] 取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って演奏することができる。() 4.[関心・意欲・態度] 各曲を演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	20	25	25	-	70
	準備・課題	5	5	5	-	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計	25	30	30	15	100
成績評価と割合	実技試験(授業で取り組んだ2曲の演奏発表) 70%、準備・課題(毎週の練習の結果 15%、受講態度 15% の合計 100% で評価します。					
テキスト	第1週授業の際に、1曲目で取り組む自由曲の楽譜・レジストデータなどを準備してきてください。 また、2曲目で取り組みたいジャンルを踏まえて、候補曲をピックアップし、音源・楽譜などを準備してきてください。					
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて 参考書・楽譜などを案内します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	1曲目に取り組む自由曲を確認/2曲目の選曲候補やジャンルを決定 今後のレッスン内容の方向性を検討～決定 [準備・課題]用意した自由曲を練習し、まず自身の力の範囲内で曲全体を仕上げてくる。(2～6h)					
2	1曲目：演奏追究(1) 曲の冒頭から1/3程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
3	1曲目：演奏追究(2) 曲の冒頭から2/3程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
4	1曲目：演奏追究(3) 曲全体 [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
5	1曲目：演奏追究(4) 仕上げ [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
6	2曲目：演奏追究(1) 曲の冒頭から1/4程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
7	2曲目：演奏追究(2) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
8	2曲目：演奏追究(3) 曲の冒頭から2/4程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
9	2曲目：演奏追究(4) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
10	2曲目：演奏追究(5) 曲の冒頭から3/4程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
11	2曲目：演奏追究(6) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
12	2曲目：演奏追究(7) 曲全体 [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
13	2曲目：演奏追究(8) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。前半で取り組んだ自由曲を再度仕上げてくる(2～6h)					
14	1曲目：演奏の仕上げ確認と最終アドバイス [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏全体を仕上げる(2～4h)					
15	2曲目：演奏の仕上げ確認と最終アドバイス [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏全体を仕上げる(2～4h)					
時間外での学習	・授業開始前に、この授業前半で取り組む自由曲を1曲用意し、曲全体の譜読みを済ませておいてください。また、2曲目のジャンルを設定し、候補曲を複数ピックアップしておいてください。 ・実技試験では、この授業で取り組んだ2曲を演奏します。					
受講学生へのメッセージ	2曲目には自編曲に取り組むことも可能です。 1年次以上に魅力的な演奏に仕上げてください。 [オフィスアワー]当授業の教室にて 毎週木曜日 14:30～14:35					

電子オルガン（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：松井 宏行						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	<p>前期に引き続き、電子オルガンの演奏力向上とともに、レパートリーの拡充に取り組みます。具体的には、1曲目は自身で選曲した任意の新規レパートリー演奏に取り組みます。2曲目は、個々の今後拡充したいジャンルにおいて、比較的難易度の高い候補曲を複数ピックアップし、その中から演奏曲を選曲して取り組みます。どちらにおいても、種々の表現にこだわった演奏を目指します。個人の演奏力や知識に応じて、その場で必要な楽器の操作/レジスト等の制作力もカバーしていきます。</p>					
授業方法	個人レッスン					
到達目標	<p>1.[知識・理解] 取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。() 2.[思考・判断・表現] 取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に演奏に取り入れて表現することができる。() 3.[技能] 取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って演奏することができる。() 4.[関心・意欲・態度] 各曲を演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。()</p>					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	20	25	25	-	70
	準備・課題	5	5	5	-	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計	25	30	30	15	100
成績評価と割合	実技試験(授業で取り組んだ2曲の演奏発表) 70%、準備・課題(毎週の練習の結果) 15%、受講態度 15% 合計 100% で評価します。					
テキスト	第1週授業の際に、1曲目で取り組む自由曲の楽譜・レジストデータなどを準備してきてください。また、2曲目で取り組みたいジャンルを踏まえて、候補曲をピックアップし、音源・楽譜などを準備してきてください。					
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて 参考書・楽譜などを案内します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	1曲目に取り組む自由曲を確認/2曲目の選曲候補やジャンルを決定 今後のレッスン内容の方向性を検討～決定 [準備・課題]用意した自由曲を練習し、まず自身の力の範囲内で曲全体を仕上げてくる。(2～6h)					
2	1曲目：演奏追究(1) 曲の冒頭から1/3程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
3	1曲目：演奏追究(2) 曲の冒頭から2/3程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
4	1曲目：演奏追究(3) 曲全体 [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
5	1曲目：演奏追究(4) 仕上げ [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
6	2曲目：演奏追究(1) 曲の冒頭から1/4程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
7	2曲目：演奏追究(2) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
8	2曲目：演奏追究(3) 曲の冒頭から2/4程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
9	2曲目：演奏追究(4) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
10	2曲目：演奏追究(5) 曲の冒頭から3/4程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
11	2曲目：演奏追究(6) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
12	2曲目：演奏追究(7) 曲全体 [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～5h)					
13	2曲目：演奏追究(8) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。前半で取り組んだ自由曲を再度仕上げてくる(2～6h)					
14	1曲目：演奏の仕上げ確認と最終アドバイス [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏全体を仕上げる(2～4h)					
15	2曲目：演奏の仕上げ確認と最終アドバイス [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏全体を仕上げる(2～4h)					
時間外での学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始前に、この授業前半で取り組む自由曲を1曲用意し、曲全体の譜読みを済ませておいてください。また、2曲目のジャンルを設定し、候補曲を複数ピックアップしておいてください。 ・実技試験では、この授業で取り組んだ2曲を演奏します。 					
受講学生へのメッセージ	2曲目には自編曲に取り組むことも可能です。卒業に向けて、より高度な演奏に、積極的に取り組んでいきましょう。 [オフィスアワー]当授業の教室にて 毎週木曜日 14:30～14:35					

副科ピアノ（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：横井 香織						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年次に修得した基礎テクニックや音楽表現を更に発展させていきます。各々の目標に合わせて取り組みながら、演奏力・音楽力を高めていきます。					
授業方法	演習授業で、個々のレベルや進度に合わせた個人レッスンを行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 作曲家や作品についてなどの音楽的知識を身に付け、楽曲を理解することができる。() 2.[思考・判断・表現] 楽曲についてのイメージを持ち、ふさわしい演奏表現をすることができる。() 3.[技能] 修得した演奏技術を更に向上することができる。() 4.[関心・意欲・態度] 指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、積極的な取り組みができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	30	40	-	70
	受講態度	10	-	-	20	30
	合計	10	30	40	20	100
成績評価と割合	実技試験 70%、受講態度 30% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	全訳ハノンピアノ教本（全音楽譜出版社、または手持ちのもの） ツェルニー30番以上の練習曲（指定なし） ソナチネアルバム またはソナタアルバム（全音楽譜出版社、または手持ちのもの）					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ（1） 休暇中の課題のレッスン [準備・課題] 初回の授業でレッスンできるよう練習しておく（1~2h）					
2	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ（2） 正確な譜読み [準備・課題] 譜読みが正確にできているか確認する（1~2h）					
3	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ（3） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（1~2h）					
4	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ（4） 強弱 [準備・課題] レッソンの復習をし、強弱を付けて弾けるようにする（1~2h）					
5	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ（5） 曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽用語を調べ、曲想を付ける（1~2h）					
6	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ（6） 音楽表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、表現力を身に付ける（1~2h）					
7	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ（7） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、弾き込んで仕上げる（1~2h）					
8	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（1） 正確な譜読み [準備・課題] 各曲を正確に譜読みをする（1~2h）					
9	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（2） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（1~2h）					
10	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（3） 強弱 [準備・課題] レッソンの復習をし、強弱を付けて弾けるようにする（1~2h）					
11	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（4） 曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽用語を調べ、曲想を付ける（1~2h）					
12	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（5） 音楽表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、表現力を身に付ける（1~2h）					
13	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（6） 暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、暗譜に取り組む（1~2h）					
14	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（7） 弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、よく弾き込む（1~2h）					
15	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタなど試験曲（8） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽性を高め仕上げる（1~2h）					
時間外での学習	毎日練習することはもちろんですが、様々な音楽を聴き、自分が取り組んでいる作品やその作曲家などについて調べるなど、音楽的知識を身に付けて、ピアノ演奏に活かすことができるようにしてください。					
受講学生へのメッセージ	1年次に修得した演奏技術を更にレベルアップし、豊かなピアノ演奏ができるよう取り組みましょう。オフィスアワーはB206で授業前後の休み時間です。					

副科ピアノ（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：横井 香織						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	ピアノの演奏法を追求し、各々の目標に向けて取り組みながら、更に演奏技術や表現力を高めていきます。					
授業方法	演習授業で、個々のレベルや進度に合わせた個人レッスンを行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 作曲家や作品などについての知識を身に付け、音楽的知識を十分に活用し、楽曲理解に繋げることができる。 () 2.[思考・判断・表現] 楽曲についてのイメージを持ち、表現力を高めることができる。 () 3.[技能] 演奏技術を向上することができる。 () 4.[関心・意欲・態度] 指導者と円滑なコミュニケーションを図りながら、積極的な取り組みができる。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	30	40	-	70
	受講態度	10	-	-	20	30
	合計	10	30	40	20	100
成績評価と割合	実技試験 70%、受講態度 30% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	全訳ハノンピアノ教本（全音楽譜出版社、または手持ちのもの） ツェルニー30番以上の練習曲（指定なし） ソナチネアルバム またはソナタアルバム（全音楽譜出版社、または手持ちのもの）					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等（1） 休暇中の課題のレッスン [準備・課題] 初回の授業でレッスンできるよう練習しておく（1～2h）					
2	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等（2） 正確な譜読み [準備・課題] 譜読みが正確にできているか確認する（1～2h）					
3	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等（3） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（1～2h）					
4	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等（4） 強弱 [準備・課題] レッソンの復習をし、強弱を付けて弾けるようにする（1～2h）					
5	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等（5） 曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽用語を調べ、曲想を付ける（1～2h）					
6	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等（6） 音楽表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、表現力を身に付ける（1～2h）					
7	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等（7） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、弾き込んで仕上げる（1～2h）					
8	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（1） 正確な譜読み [準備・課題] 各曲を正確に譜読みをする（1～2h）					
9	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（2） テクニック練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、テクニックを向上する（1～2h）					
10	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（3） 強弱 [準備・課題] レッソンの復習をし、強弱を付けて弾けるようにする（1～2h）					
11	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（4） 曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽用語を調べ、曲想を付ける（1～2h）					
12	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（5） 音楽表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、表現力を身に付ける（1～2h）					
13	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（6） 暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、暗譜に取り組む（1～2h）					
14	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（7） 弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、よく弾き込む（1～2h）					
15	ハノン、練習曲、ソナチネまたはソナタ等試験曲（8） 仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽性を高め仕上げる（1～2h）					
時間外での学習	毎日練習することはもちろんですが、様々な音楽を聴き、自分が取り組んでいる作品やその作曲家などについて調べるなど、音楽的知識を身に付けて、ピアノ演奏に活かすことができるようにしてください。					
受講学生へのメッセージ	1年次で修得した演奏技術を更にレベルアップし、豊かなピアノ演奏ができるよう取り組みましょう。オフィスアワーはB206で授業前後の休み時間です。					

副科電子オルガン（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：上園 弥生・相原 里美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	引き続き電子オルガンの演奏法を学びます。市販のデータを分析し、入力技術を学び、演奏法を研究し習得します。スコアリードに挑戦します。					
授業方法	毎週1回の個人レッスンです。個々のレベルにあった指導をします。					
到達目標	1.[知識・理解] 色々なジャンルの音楽を体験し、理解できる。() 2.[思考・判断・表現] 楽譜からアレンジの意図がよみとれる。表情豊かな演奏ができる。() 3.[技能] データを生かした演奏力の向上。() 4.[関心・意欲・態度] 学んだ内容を復習する。オルガン演奏に関心を持ち、意欲的に取り組む。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	15	15	40	-	70
	受講態度	-	-	-	15	15
	課題に対する練習状況	-	-	-	15	15
	合計	15	15	40	30	100
成績評価と割合	実技試験 70%、受講態度 15%、課題に対する練習状況 15% の合計 100% で評価します。					
テキスト	個々に合わせて選択します。					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	春休みの課題発表 [準備・課題]学んだ内容を復習する(3~6h)					
2	次の曲決め [準備・課題]練習にとりかかる(3~6h)					
3	レジスト分析、操作や、タッチに注意して演奏 [準備・課題]学んだ内容を復習する(3~6h)					
4	レジスト分析 [準備・課題]学んだ内容を理解し、さらに進める(3~6h)					
5	レジスト分析 [準備・課題]学んだ内容を理解し、さらに進める(3~6h)					
6	スコアリードについて [準備・課題]学んだ内容を復習する(4h)					
7	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題]学んだ内容を復習する(5~7h)					
8	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題]学んだ内容を復習し、さらに進める(5~7h)					
9	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題]学んだ内容を復習し、さらに進める(5~7h)					
10	スコアリード実習 レパートリーを増やす タッチなど奏法にも注意 [準備・課題]学んだ内容を復習する(5~7h)					
11	スコアリード実習 レパートリーを増やす タッチなど奏法にも注意 [準備・課題]学んだ内容を理解し、さらに進める(5~7h)					
12	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題]学んだ内容を復習する(5~7h)					
13	試験に向けての取り組み [準備・課題]学んだ内容を復習、理解し、弾き込む(5~7h)					
14	弾き込み 暗譜 [準備・課題]学んだ内容を復習、理解し、弾き込む(5~7h)					
15	弾き込み 仕上げ [準備・課題]学んだ内容を復習、理解し、弾き込む(5~7h)					
時間外での学習	色々なジャンルの音楽をたくさん聴きましょう。					
受講学生へのメッセージ	空き時間を利用して、毎日練習しましょう。 オフィスアワーは、講義後教室で行います。					

副科電子オルガン（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：上園 弥生・相原 里美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	引き続き、色々なジャンルの音楽を体験します。市販曲の構成、編曲を理解しながらデータを分析、参考にして、入力技術を学び、スコアリードに挑戦します。前期と同様、演奏法を研究し習得します。					
授業方法	毎週1回の個人レッスンです。個々に適した指導を行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 色々なジャンルの音楽を体験し、理解できる。電子オルガンの基本的な操作ができる。() 2.[思考・判断・表現] 楽譜からアレンジの意図がよみとれる。表情豊かな演奏ができる。() 3.[技能] 各自の演奏力の向上。() 4.[関心・意欲・態度] 学んだ内容を復習する。オルガン演奏に関心を持ち、意欲的に取り組む。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	15	15	40	-	70
	課題に対する練習状況	-	-	-	15	15
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計	15	15	40	30	100
成績評価と割合	実技試験 70%、課題に対する練習状況 15%、受講態度 15% の合計 100% で評価します。					
テキスト	個々に合わせて選択します。					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	休暇中の宿題を発表する [準備・課題] 次の課題に取り組む(3~6h)					
2	前期の復習 [準備・課題] 次の曲の練習にとりかかる(3~6h)					
3	電子オルガンの操作、奏法など ステージアの機能について [準備・課題] 学んだ内容を復習する(3~6h)					
4	レジスト分析 前期の復習 [準備・課題] 学んだ内容を理解し、さらに進める(3~6h)					
5	レジスト分析 前期の復習 [準備・課題] 学んだ内容を理解し、さらに進める(3~6h)					
6	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題] 学んだ内容を復習する(5~7h)					
7	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題] 学んだ内容を復習する(5~7h)					
8	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題] 学んだ内容を復習し、さらに進める(5~7h)					
9	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題] 学んだ内容を理解し、さらに進める(5~7h)					
10	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題] 学んだ内容を復習し、さらに進める(5~7h)					
11	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題] 学んだ内容を理解し、さらに進める(5~7h)					
12	スコアリード実習 レパートリーを増やす [準備・課題] 学んだ内容を復習する(5~7h)					
13	試験に向けての取り組み [準備・課題] 学んだ内容を復習、理解し、弾き込む(5~7h)					
14	弾き込み 暗譜 [準備・課題] 学んだ内容を復習、理解し、弾き込む(5~7h)					
15	弾き込み 仕上げ [準備・課題] 学んだ内容を復習、理解し、弾き込む(5~7h)					
時間外での学習	色々なジャンルの音楽をたくさん聴きましょう。					
受講学生へのメッセージ	毎日の練習を怠らない様、空き時間を利用して、電子オルガンに向いましょう。 アレンジと演奏の練習は、同時進行で行いましょう。 オフィスアワーは、講義修了後、教室にて行います。					

P・Orアンサンブル		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 横井 香織・相原 里美						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	1年次に引き続き、アンサンブルの魅力や難しさ、協調性などを学びます。アンサンブル演奏を楽しみながら、アンサンブルにおける演奏技術、表現力を共に高めていきます。					
授業方法	演習授業で、パートナーを決めて1組ずつレッスンを行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 各アンサンブル形態における演奏法についての知識を身に付け、理解することができる。() 2.[思考・判断・表現] 楽曲についてパートナーと研究し、楽曲にふさわしい演奏表現をすることができる。() 3.[技能] アンサンブル演奏の技術を身に付け、各パートを把握・理解しながら、バランスの良いハーモニーで息の合った演奏をすることができる。() 4.[関心・意欲・態度] パートナーと充分なコミュニケーションを図りながら積極的に取り組み、協調性・責任感を養うことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	30	30	-	60
	中間発表	-	5	5	-	10
	受講態度	10	-	-	20	30
	合計	10	35	35	20	100
成績評価と割合	実技試験 60%、中間発表 10%、受講態度 30% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	個々に合わせて選択します。					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ピアノコンチェルト(1) 譜読みの確認 [準備・課題] レッスンまでに各自正確に譜読みしておく(1~2h)					
2	ピアノコンチェルト(2) 合わせ [準備・課題] ゆっくりなテンポで合わせて弾けるようにしておく(1~2h)					
3	ピアノコンチェルト(3) テクニックの向上 [準備・課題] スムーズに弾けるようにする(1~2h)					
4	ピアノコンチェルト(4) バランスの確認 [準備・課題] 自分のパートの役割を理解して、全体のバランスを考える(1~2h)					
5	ピアノコンチェルト(5) 曲想 [準備・課題] パートナーと楽曲を研究し、曲想を付ける(1~2h)					
6	ピアノコンチェルト(6) 音楽表現 [準備・課題] 表現力豊かな演奏ができるように弾き込む(1~2h)					
7	ピアノコンチェルト(7) 仕上げ [準備・課題] バランス、呼吸、音楽表現を確認しながら仕上げる(1~2h)					
8	中間発表 試験曲決め(自由編成。ただしピアノ、電子オルガン両方とも演奏すること) [準備・課題] 中間発表に向けて弾き込む(1~2h)					
9	試験曲(1) 譜読みの確認 [準備・課題] 各自正確な譜読みをする(1~2h)					
10	試験曲(2) 合わせ [準備・課題] レッスンまでにパートナーと合わせをする(1~2h)					
11	試験曲(3) テクニックの向上 [準備・課題] テクニック練習をし、自然に流れるような演奏を目指す(1~2h)					
12	試験曲(4) バランス [準備・課題] 各パートの把握・理解をしてバランスづくりをする(1~2h)					
13	試験曲(5) 曲想 [準備・課題] 楽曲にふさわしい曲想を付ける(1~2h)					
14	試験曲(6) 音楽表現 [準備・課題] 弾き込んで表現力を磨く(1~2h)					
15	試験曲(7) 仕上げ [準備・課題] バランス、呼吸、音楽表現を確認しながら仕上げる(1~2h)					
時間外での学習	アンサンブル演奏の前提として、個々のパートの演奏力が必要ですので、責任を持って個々の練習を行います。そして授業までにパートナーとの合わせ練習を行い、毎回の授業でアンサンブル演奏が成立し、より質の高い音楽が求められるように準備してください。					
受講学生へのメッセージ	授業を欠席するとアンサンブルとしてのレッスンができませんので、欠席をしないようにしてください。オフィスアワーはB301・B302で授業前後の休み時間です。					

ピアノ指導法		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：河村 義子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	ピアノ指導者に求められることは何かを考えながら、指導者としての必要な知識や指導法を幅広く学びます。ピアノ指導法について、具体的に実践を交えながら学びます。また、指導者として発表会を行う場合の進め方や選曲などについて、アウトリーチ依頼をされ場合の企画や進行などについて、社会へ出てから音楽に携わる者として必要なこと、役立つことを学びます。					
授業方法	講義、演習を中心とし、ビデオ視聴、ディスカッションなどを行います。演習では子どもの教則本を使用して指導法を学修します。					
到達目標	1. [知識・理解] 近年の音楽教室の実情や生徒・子どもの特性を理解し、指導者としての幅広い知識を身に付けることができる。() 2. [思考・判断・表現] 様々な指導法を体験しながら自分なりの指導法を考え、表現することができる。() 3. [技能] 指導者としてのスキルを身に付けることができる。() 4. [関心・意欲・態度] 他者とコミュニケーションを図りながら、積極的に取り組むことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	20	-	10	-	30
	実践・発表	-	20	20	-	40
	受講態度	-	-	-	30	30
	合計	20	20	30	30	100
成績評価と割合	試験 30%、実践・発表 各20%、受講態度 30% の合計 100% で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『バーナムピアノテクニック 導入書』全音楽譜出版社 『ブルクミュラー-25の練習曲』問いません 『ピアノのためのやさしい4期の名曲集1バロック、古典、ロマン、近・現代』全音楽譜出版 『全訳ハノンピアノ教本』全音楽譜出版 『ツェルニー：30番練習曲』全音楽譜出版					
参考書・教材	その都度提示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	近年の子ども達のピアノ音楽教室事情、ピアノ指導者の役割についてを知る。 [準備・課題]音楽教室について色々な角度から調べてくる(組織、レッスン料、使用テキスト、版等)(1h)					
2	ピアノを弾く時の身体の使い方を学ぶ。 [準備・課題]ピアノを弾くときの姿勢、トレーニングに関する知識等をできるだけ調べて来る。(1h)					
3	幼児を中心とした初心者への導入の仕方、問題点などを学ぶ。 [準備・課題]どのようなテキストや副教材などが使われているのかを調べて来る。(1h)					
4	ハノンを中心に指の練習とされているテキスト、練習曲集等の研究。 [準備・課題] ハノンの全体を見て来る。(1h)					
5	テキストを使って(バーナム、ツェルニー30番練習曲を中心に)楽譜の読み方、弾き方、指導の仕方を学ぶ。 [準備・課題]指定された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるようにしておく。(1h)					
6	テキストを使って(バーナム、ツェルニー30番練習曲を中心に)楽譜の読み方、弾き方、指導の仕方を学ぶ。 [準備・課題]指定された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるようにしておく。(1h)					
7	テキストを使って(バーナム、ツェルニー30番練習曲を中心に)楽譜の読み方、弾き方、指導の仕方を学ぶ。 [準備・課題]指定された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるようにしておく。(1h)					
8	テキストを使って(ブルクミュラー、やさしい14期の名曲集を中心に)楽譜の読み方、弾き方、指導の仕方の一例を学ぶ。 [準備・課題]指定された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるようにしておく。(1h)					
9	テキストを使って(ブルクミュラー、やさしい14期の名曲集を中心に)楽譜の読み方、弾き方、指導の仕方の一例を学ぶ。 [準備・課題]指定された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるようにしておく。(1h)					
10	テキストを使って(ブルクミュラー、やさしい14期の名曲集を中心に)楽譜の読み方、弾き方、指導の仕方を学ぶ。 [準備・課題]指定された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるようにしておく。(1h)					
11	4手、6手、8手のアンサンブルの指導の仕方を学ぶ。 [準備・課題]配布された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるようにしておく。(1h)					
12	発表会、おさらい会、アウトリーチの運営の仕方、選曲について [準備・課題]今までに自分が発表会やコンクールで弾いた曲、弾きかかった曲、思い出の曲などを可能な限り書き出してくる。(1h)					
13	近年、コンクールの課題曲となった曲や人気のある曲の指導の仕方を学ぶ。 [準備・課題]配布された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるよう準備する。(1h)					
14	近年、コンクールの課題曲となった曲や人気のある曲を学び指導へと繋げる。 [準備・課題]配布された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるよう準備する。(1h)					
15	近年、コンクールの課題曲となった曲や人気のある曲を学び指導へと繋げる。 [準備・課題]配布された楽曲の譜読みをし、授業で演奏できるよう準備する。(1h)					
時間外での学習	楽器店で色々な教材を見たり、子供達は今どのような曲を好んで弾いているのかなど、方法はいくらかでもありますので積極的に情報を得る努力をすること。授業で扱う曲は必ず予習をしてきてください。					
受講学生へのメッセージ	オフィスアワーは授業教室で授業前後の休み時間です。					

ピアノ特講		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：横井 香織・田中 康司						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前半はリトミック体験を通して自分自身の音楽感覚を磨き、子どもへの指導にも繋がります。(担当：横井) 後半はピアノの歴史、構造としくみ、ピアノに関わる色々な知識を身に付け、自身の演奏、卒業後の職業などに役立てます。(担当：田中)					
授業方法	リトミックは演習授業で、身体を動かして学修します。 ピアノの構造としくみは、講義を中心として、DVD鑑賞、ピアノの分解、調律の体験などを通じてピアノへの理解を深めます。また学外授業としてサランカホール(岐阜市)の見学をします。					
到達目標	1.[知識・理解] リトミックに関する知識を身に付け、理解することができる。() ピアノの歴史、構造としくみ、ピアノに関わる色々な知識を理解することができる。() 2.[思考・判断・表現] 音楽を聴き、感じ、想像力を働かせ、体で表現することができる。() ピアノの特性を理論立てて伝えることができる。ピアノの特性を自身の演奏に活かし表現することができる。() 3.[技能] 音楽に合わせて動くことができる。() 4.[関心・意欲・態度] 他者とコミュニケーションを図りながら、積極的に取り組むことができる。() ピアノへの理解を通じて、他の楽器や様々な音楽への興味を持ち、音楽専門家として幅広い知識と教養を身に付けることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実践	5	15	5	-	25
	発表・レポート	10	10	-	-	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	筆記試験	30	-	-	-	30
	自己評価	-	-	-	5	5
合計	45	25	5	25	100	
成績評価と割合	リトミックとピアノの構造としくみの合計点で評価します。 リトミック：実践 25%、レポート 10%、受講態度 15% (合計50%) ピアノの構造としくみ：筆記試験 30%、発表・レポート 10%、自己評価 5%、受講態度 5% (合計50%) の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	テキストはありません。					
参考書・教材	資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	リトミック(1) [準備・課題]	リトミックを知ろう、基礎リズム 体を動かすことに慣れる(1h)				
2	リトミック(2) [準備・課題]	拍と拍子、リズムパターン 強拍・弱拍を考えるなどして拍子感・リズム感を養う(1h)				
3	リトミック(3) [準備・課題]	複リズム・補足リズム、リズム即興(グループ即興) リズム感を養い、様々なリズムを考える(1h)				
4	リトミック(4) [準備・課題]	ダイナミック・テンポ・スペース 体を使って表現できるようにする(1h)				
5	リトミック(5) [準備・課題]	ダイナミック・テンポ・スペース より自由に体で表現できるようにする(1h)				
6	リトミック(6) [準備・課題]	フレーズ フレーズ感を養う(1h)				
7	リトミック(7) [準備・課題]	創造的な動き(音楽と動き) 音楽を聴いて想像力・創造力を働かせ、体で表現することに繋げる(1h)				
8	リトミック(8) [準備・課題]	ピアノによるイメージ即興・まとめ 自由な発想で自由に表現できるようにする(1h)				
9	ピアノの構造としくみ(1) ・ガイダンス(本授業に関する概略を説明) ・鍵盤楽器の歴史 クラヴィコード・ハープシコード(チェンバロ)、オルガンなど、ピアノの前身楽器と言われる鍵盤楽器と、ピアノの発明と発展を学ぶ。 ・ピアノにかかわる数字アラカルト(ピアノに関する色々な数字を学ぶ) ・電子楽器とアコースティック楽器の基本的構造の違いを知る。 [準備・課題] ピアノを発明した人・発展させた人を調べる(1h)					
10	ピアノの構造としくみ(2) ・グランドピアノとアップライトピアノの違いを知る 全体構造 ピアノの外装を外して本体の内部が良く確認できる状態にして構造を見て学ぶ。 グランドピアノ・アップライトの全体構造の違いを学ぶ。 [準備・課題] ピアノメーカー名を調べる(日本・欧米・アジア)(1h)					
11	ピアノの構造としくみ(3) ・グランドピアノとアップライトピアノの違いを知る 打弦機構(アクション) ・グランドピアノとアップライトピアノの違いを知る ペダル ペダルの仕組みと演奏効果について学ぶ。 ペダルがどのような仕組みになっているかを知り演奏に活かす。 グランドピアノ：ダンパー・ソステヌート・ソフト アップライトピアノ：ダンパー・ソフト・消音 [準備・課題] ピアノのペダルにはどのような効果があるか調べる(1h)					
12	ピアノの構造としくみ(4) ・調律師の仕事を知る 調律について知る 実演を見て学ぶ。ユニゾンとオクターブを実際に調律してみる。					

内容	
実施回	授業内容・目標
	<ul style="list-style-type: none"> ・調律師の仕事を知る 整調・整音、修理 タッチに大きく関わる整調、音色に大きく関わる整音、よく起こる故障、それぞれ実演と解説により学ぶ。 ・ピアノのお手入れ ユーザーでも出来るピアノのお手入れ（外装・鍵盤・金属部分） <p>[準備・課題] 平均律以外にどのような調律方法があるか調べる（1h）</p>
13	<p>ピアノの構造としくみ（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの製造過程と材料を学ぶ ・ピアノの製造過程のビデオを見て学ぶ。 ・ピアノに使われている材料を知りピアノに適した環境を学ぶ。 <p>[準備・課題] 好きなピアノメーカー1社を選び、機種別にサイズ（間口・奥行き・高さ）重さを調べる（1h）</p>
14	<p>ピアノの構造としくみ（6）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サラマンカホールの見学 ・コンサートグランド・パイプオルガン・チェンバロの試弾、ホール全体の見学をして音響、残響なども学ぶ <p>[準備・課題] ホール見学で学んだこと感じたことをレポートにまとめる（1h）</p>
15	<p>ピアノの構造としくみ（7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際ピアノコンクールについて知る ・コンクール出場者と同様に、ピアノメーカーとピアノ技術者も競い合う第一線の現場について学ぶ。 ・ピアノ選定を学ぶ ・自分の生徒からピアノ選びの相談を受けた時に、何をどうアドバイスするか。 ・消音機能・自動演奏機能はタッチに影響があるか。防音装置は。 ・コンサートピアノ技術者の1日 ・本講義のまとめ <p>[準備・課題] ショパンコンクールの公式ピアノメーカーを調べる（1h）</p>
時間外での学習	<p>【リトミック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リトミックは豊かな人間性を育成することを目的とした音楽教育です。自分自身が日頃から日常の小さなことにも感じる心を持ち、豊かな想像力、表現力を養うように心掛けましょう。 <p>【ピアノの構造としくみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノメーカー（会社・ブランド）を調べてみる（日本のピアノメーカー・外国のピアノメーカー） ・ピアノを発明した人、発展させた人を調べてみる・ピアノの大きさと重さを調べてみる ・平均律とはどんな調律方法か調べてみる・平均律以外にどんな調律方法があるか調べてみる ・サラマンカホールの見学で学んだことをレポートにまとめる
受講学生へのメッセージ	<p>リトミックでは身体を動かしますので、運動のできる服装・履物で出席してください。</p> <p>ピアノの構造としくみでは、皆さんの演奏がより良くなる様ピアノ構造についてお話しします。また将来の職業にも役立つ知識を楽しくお伝えいたします。ピアノの分解を実際に行っていただく日が多いので、動きやすい服装で、極端にかかとの高い靴を避けてください。</p> <p>オフィスアワーは授業教室で授業前後の休み時間です。</p>

プレイヤー演習		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 相原 里美						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	ブライダルプレイヤーとしての心得を学び、電子オルガンにてチャペル式の流れを式次第にそって演習します。また、人前で演奏に必要なマナーも含めその場に適した演奏ができるようにしていきます。					
授業方法	個人レッスンです。個々のレベルにあった指導をします。					
到達目標	1. [知識・理解] ブライダルプレイヤーの心得を知り、チャペル式の流れを理解できる。() 2. [思考・判断・表現] その場の雰囲気を読み、新郎・新婦の動作に合わせたメリハリのある演奏ができる。() 3. [技能] 真心を込めた丁寧な演奏はもちろんのこと、状況に対応した演奏(ボリューム、速度、アレンジ)ができる。() 4. [関心・意欲・態度] 授業に意欲を持って参加し、学んだ内容を必ず復習する。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	15	15	40	-	70
	受講態度	-	-	-	15	15
	課題に対する練習状況	-	-	-	15	15
	合計	15	15	40	30	100
成績評価と割合	実技試験 70%、受講態度 15%、課題に対する練習状況 15% の 合計 100% で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な資料は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業説明(今後の授業の進め方)・予備知識(ブライダルプレイヤーのお仕事について) [準備・課題]学んだ内容を理解する(1h)					
2	式次第にそって演習(チャペル式) 1 流れ(音楽を入れるタイミング等) [準備・課題]学んだ内容を理解し、復習する(1~2h)					
3	式次第にそって演習(チャペル式) 2 参列者入場曲 [準備・課題]正確な譜読みをする(1~2h)					
4	式次第にそって演習(チャペル式) 3 入場曲 [準備・課題]正確な譜読みをする(2~3h)					
5	式次第にそって演習(チャペル式) 4 讃美歌 3 1 2 番 [準備・課題]正確な譜読みをする(1~2h)					
6	式次第にそって演習(チャペル式) 5 讃美歌 4 3 0 番 [準備・課題]正確な譜読みをする(1~2h)					
7	式次第にそって演習(チャペル式) 6 指輪交換等でのBGM [準備・課題]正確な譜読みをする(1~2h)					
8	式次第にそって演習(チャペル式) 7 新郎・新婦退場曲 [準備・課題]正確な譜読みをする(2~3h)					
9	式次第にそって演習(チャペル式) 8 参列者退場曲 [準備・課題]正確な譜読みをする(1~2h)					
10	式次第にそって演習(チャペル式) 9 曲想 [準備・課題]楽曲にふさわしい曲想をつける(1~3h)					
11	式次第にそって演習(チャペル式) 10 演出方法(タイミング、ボリュームのメリハリのつけ方) [準備・課題]学んだ内容を理解し、復習する(1~3h)					
12	まとめ(ハプニング対処法、服装等) [準備・課題]学んだ内容を理解する(1~2h)					
13	試験に向けての取り組み(1) 式次第にそって演習(参列者入場~参列者退場まで) [準備・課題]全体の流れやバランスの確認をする(3~5h)					
14	試験に向けての取り組み(2) 弾き込み [準備・課題]学んだ内容を理解し、弾き込む(3~5h)					
15	試験に向けての取り組み(3) 仕上げ [準備・課題]流れを確認しながら丁寧な演奏ができるようにする(3~5h)					
時間外での学習	どんなリクエスト曲がきても困らないように、色んなジャンルの曲をとにかく知り、弾いてみましょう。					
受講学生へのメッセージ	空き時間を利用して必ず学んだ内容を復習しましょう。質問等あれば遠慮なく聞いてください。オフィスアワーは水曜日レッスン室で授業前後の休み時間です。					

演奏グレード対策（ピアノA）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：石原 朱実						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	ヤマハピアノ演奏グレード 即興演奏；A新曲課題 Bモチーフ即興 4級程度の課題実習 5級で学習した内容の確認と4級に向けての準備					
授業方法	1年次で学習した基礎から応用へ 4級内容に準じてコード付けの基礎であるスケールカデンツの確認					
到達目標	1.[知識・理解] 音楽の基礎である和声、メロディ、楽曲構成などを深く理解できる。() 2.[思考・判断・表現] 音楽的知識・理解を基に、自己の内面より豊かに即興表現できる。() 3.[技能] 自分流の変奏法を確立する。() 4.[関心・意欲・態度] どの調性にも対応できるよう、日常的に練習する。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	25	25	30	-	80
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	25	25	30	20	100
成績評価と割合	実技試験80% 授業への積極性20% で評価します。					
テキスト	『ピアノ5～3級新即興演奏課題集6』ヤマハミュージックメディア					
参考書・教材	その他はコピーで渡します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	1年次で学習した5級程度の基礎力の確認 [準備・課題]1年次で学んだ内容の復習(2～5h)					
2	コード付けについて(固有和音・スケール・カデンツ) [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
3	コード付けについて(借用和音・ベース進行) [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
4	小テストにて、個々の把握状態を確認 [準備・課題]1～3回で学んだ内容の定着(3～6h)					
5	即興A課題変奏について、変奏曲集よりモーツァルト作曲「きらきら星変奏曲」演奏とアナリーゼ [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
6	変奏曲集よりモーツァルト作曲「きらきら星変奏曲」演奏とアナリーゼ [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
7	変奏曲集よりモーツァルト「きらきら星変奏曲」演奏とアナリーゼ [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
8	課題曲集より変奏・タイプ・パターンを個々に選び応用する [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
9	課題曲集より変奏・タイプ・パターンを個々に選び応用する [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
10	個人チェック [準備・課題]今までに学んだ内容の定着を図る(2～5h)					
11	即興Bモチーフ即興について、4級程度の内容の説明 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
12	課題による演習 [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
13	課題による演習 [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
14	課題による演習 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
15	即興A 新曲課題変奏個人チェック 即興Bモチーフ実習 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
時間外での学習	モーツァルトやベートーベン等、古典の変奏曲を多く弾きこんで課題変奏のヒントを見つけて欲しい。					
受講学生へのメッセージ	変奏曲の中より、自分のタイプに合うものを見つける事。 オフィスアワーは非常勤講師控室にて毎週金曜日の12:40～12:55です。					

演奏グレード対策（ピアノ）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：石原 朱実						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	ヤマハピアノ演奏グレード 即興A B 4級程度の課題実習 変奏、コード付け、モチーフ演奏					
授業方法	前期に学んだコード付けの基礎を確認し、より良い変奏、表現力を身につけるようにトレーニングする。					
到達目標	1.[知識・理解] 和声・メロディ・楽曲構成などをより深く理解できる。() 2.[思考・判断・表現] 即興演奏を通して、楽しく自己表現ができる。() 3.[技能] 自分流の変奏法を確立する。() 4.[関心・意欲・態度] どんな調性にも対応できるよう、日常的に練習する。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	25	25	30	-	80
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	25	25	30	20	100
成績評価と割合	実技試験80% 授業への積極性20% で評価します。					
テキスト	『ピアノ5～3級新即興演奏課題集6』ヤマハミュージックメディア					
参考書・教材	その他はコピーで渡します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	即興Aコード付けの演習 [準備・課題]一年次で学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
2	スケール、カデンツ、コードパターン# 4つまでの各調でトレーニング [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
3	スケール、カデンツ、コードパターン# 4つまでの各調でトレーニング [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
4	スケール、カデンツ、コードパターン# 4つまでの各調でトレーニング [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(3～6h)					
5	スケール、カデンツ、コードパターン# 4つまでの各調でトレーニング [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
6	個人チェック [準備・課題]学んだ内容の定着を図る(3～7h)					
7	モチーフ即興、個人パターンのチェック [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
8	個々のパターンチェック [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
9	実習にて個人チェック [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
10	実習にて個人チェック [準備・課題]学んだ内容の定着を図る(2～5h)					
11	即興A・B、4級の過去問にて模擬テスト [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
12	即興A・B、4級の過去問にて模擬テスト [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
13	即興A・B、4級の過去問にて模擬テスト [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
14	試験を前提とした実習 [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(2～5h)					
15	試験を前提とした実習 [準備・課題]学んだ内容の復習と演習(5～8h)					
時間外での学習	ピアノ演奏力の向上、表現力・テクニックが即興演奏に活かされるようにしよう。					
受講学生へのメッセージ	日頃から授業を真面目に受けてトレーニングすれば、4級なんてすぐ合格できますよ！ オフィスアワーは非常勤講師控室にて毎週金曜日の12:40～12:55です。					

演奏グレード対策（ピアノB）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：三輪 泰子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	演奏グレード試験に必要なキーボードハーモニーを、発展応用する力をつけていきます。					
授業方法	グループ演習形式ですが、課題理解のために、毎回、個人指導の時間を取ります。					
到達目標	1. [知識・理解] キーボードハーモニーの基礎理論を理解し、修得する。 () 2. [思考・判断・表現] 演奏に適した表現を、問題に応じて、実践できる。 () 3. [技能] 音楽の専門家としての、技術を身に付ける。 () 4. [関心・意欲・態度] 自己資質の向上を目指す態度を継続する。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	50	20	20	-	90
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	50	20	20	10	100
成績評価と割合	試験90%、受講態度20%で評価します。 欠席は、減点とし、3分の1以上欠席した学生には、単位を与えません。					
テキスト	『キーボードトレーニング集C』カワイ出版					
参考書・教材	授業中に配布するプリントを参考にしてください。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	T-D-Tの4小節トレーニング [課題]P9～10を実習しておきましょう。(1h)					
2	T-D-Tの4小節トレーニング [課題]P11～12を実習しておきましょう。(1h)					
3	T-S-D-Tの4小節トレーニング [課題]P15～16を実習しておきましょう。(1h)					
4	T-S-D-Tの4小節トレーニング [課題]P17～18を実習しておきましょう。(1h)					
5	T-S-D-Tの4小節トレーニング [課題]P19を実習しておきましょう。(1h)					
6	の第2 転回形を含む4小節トレーニング [課題]P21～22を実習しておきましょう。(1h)					
7	の第2 転回形を含む4小節トレーニング [課題]P23～24を実習しておきましょう。(1h)					
8	T-S-Tを含む4小節トレーニング [課題]P26～27を実習しておきましょう。(1h)					
9	T-S-Tを含む4小節トレーニング [課題]P28を実習しておきましょう。(1h)					
10	応用力をつける8小節トレーニング [課題]P31～32を実習しておきましょう。(1h)					
11	応用力をつける8小節トレーニング [課題]P33～34を実習しておきましょう。(1h)					
12	応用力をつける8小節トレーニング [課題]P35～36を実習しておきましょう。(1h)					
13	応用力をつける8小節トレーニング [課題]P37を実習しておきましょう。(1h)					
14	期末テストに向けて質疑応答、予行練習 [課題]指示に従ってを実習しておきましょう。(1h)					
15	期末テストに向けて質疑応答、予行練習 [課題]指示に従ってを実習しておきましょう。(1h)					
時間外での学習	演奏グレード合格のために、自己練習は必要不可欠です。指示に沿って、課題を消化してください。					
受講学生へのメッセージ	演奏グレード取得は、社会的評価、将来の就職につながります。目標に向かって一緒に頑張りましょう。オフィスアワーは、教室で授業前後です。					

演奏グレード対策（ピアノB）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：三輪 泰子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	演奏グレード試験に必要なキーボードハーモニーを、発展応用する力をつけていきます。					
授業方法	グループ演習形式ですが、課題理解のために、毎回、個人指導の時間を取ります。					
到達目標	1. [知識・理解] キーボードハーモニーの基礎理論を理解し、修得する。 () 2. [思考・判断・表現] 演奏に適した表現を、問題に応じて、実践できる。 () 3. [技能] 音楽の専門家としての、技術を身に付ける。 () 4. [関心・意欲・態度] 自己資質の向上を目指す態度を継続する。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	50	20	10	-	80
	受講態度	-	-	10	10	20
	合計	50	20	20	10	100
成績評価と割合	試験80%、受講態度20%で評価します。 欠席は、減点とし、3分の1以上欠席した学生には、単位を与えません。					
テキスト	『キーボードトレーニング集C』カワイ出版					
参考書・教材	授業中に配布するプリントを参考にしてください。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ドッペルドミナントを含む8小節トレーニング [課題]P40～41を実習しておきましょう。(1h)					
2	ドッペルドミナントを含む8小節トレーニング [課題]P42～43を実習しておきましょう。(1h)					
3	ドッペルドミナントを含む8小節トレーニング [課題]P44～45を実習しておきましょう。(1h)					
4	ドッペルドミナントを含む総合課題 [課題]P46～47を実習しておきましょう。(1h)					
5	ドッペルドミナントを含む総合課題 [課題]P48～49を実習しておきましょう。(1h)					
6	ドッペルドミナントを含む総合課題 [課題]P50～51を実習しておきましょう。(1h)					
7	ドッペルドミナントを含む総合課題 [課題]P52を実習しておきましょう。(1h)					
8	よく使われるコードパターン [課題]P53～54を実習しておきましょう。(1h)					
9	よく使われるコードパターン [課題]P55～56を実習しておきましょう。(1h)					
10	よく使われるコードパターン [課題]P57～58を実習しておきましょう。(1h)					
11	よく使われるコードパターン [課題]P59～60を実習しておきましょう。(1h)					
12	よく使われるコードパターン [課題]P61～63を実習しておきましょう。(1h)					
13	与えられたコードでの伴奏付け総まとめ [課題]指示に従ってを実習しておきましょう。(1h)					
14	コード指示の無い旋律への伴奏付け総まとめ [課題]指示に従って実習しておきましょう。(1h)					
15	期末テストに向けて質疑応答、予行練習 [課題]P40～41を実習しておきましょう。(1h)					
時間外での学習	演奏グレード合格のために、自己練習は必要不可欠です。指示に沿って、課題を消化してください。					
受講学生へのメッセージ	演奏グレード取得は、社会的評価、将来の就職につながります。目標に向かって一緒に頑張りましょう。オフィスアワーは、教室で授業前後です。					

演奏グレード対策(電子オルガン)(前期)		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 上園 弥生						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	引き続き、ヤマハの演奏グレードの項目である、即興演奏A、即興演奏B、初見演奏について学びます。色々なジャンルの演奏スタイルを理解し、変奏の方法、伴奏形など、まとめ方を実習しながら勉強していきます。初見演奏のポイントを、理解し練習します。					
授業方法	グループレッスンですが、個別指導も行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 曲にあった伴奏形、変奏の手法が選択できる。() 2.[思考・判断・表現] 表情豊かな演奏ができる。() 3.[技能] まとまりのある演奏ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 学んだ内容を復習する。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	15	15	40	-	70
	受講態度	-	-	-	15	15
	課題に対する練習状況	-	-	-	15	15
	合計	15	15	40	30	100
成績評価と割合	実技試験 70%、受講態度 15%、課題に対する練習状況 15% の 合計 100% で評価します。					
テキスト	授業で提示します。資料を配布します。					
参考書・教材	必要に応じて紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	休暇中の課題の確認 [準備、課題]スケールとカデンツなど、今までに学んだ内容を復習する(3~6h)					
2	オルターネイティングベースについて確認 [準備、課題]学んだ内容を理解、復習し、実習する(5~7h)					
3	課題実習、コードパターンで練習 [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
4	カウンターメロディについて [準備、課題]学んだ内容を復習し、実習する(5~7h)					
5	課題実習 [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
6	2ビート実習 [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
7	ラテンのリズム実習 [準備、課題]学んだ内容を復習し、実習する(5~7h)					
8	ワルツ実習 [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
9	メロディ変奏(フェイク)について [準備、課題]学んだ内容を復習し、実習する(5~7h)					
10	ブロック奏について [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
11	全体のまとめ方、構成 [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
12	即興A課題実習 試験に向けて [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
13	即興A課題実習 試験に向けて [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
14	初見課題実習 [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
15	予見について 試験に向けて [準備、課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
時間外での学習	学習した事を毎日トレーニングしましょう。 積極的に課題に取り組みましょう。 問題をたくさんやりましょう。					
受講学生へのメッセージ	わからない事を、放置しないようにしましょう。いつでも良いので、聞いてください。 オフィスアワーは、講義後に教室で行います。					

演奏グレード対策(電子オルガン)(後期)		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 上園 弥生						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	今までに学んだ事の確認と発展(即興演奏A) 即興演奏B(モチーフ即興) 初見演奏について学びます。色々なジャンルの演奏スタイルを理解し、変奏の方法、伴奏形など、まとめ方を実習しながら勉強していきます。 初見演奏のポイントを、理解し練習します。5級受験に向けて、実習します。					
授業方法	グループレッスンですが、個別指導も行います。					
到達目標	1.[知識・理解] その曲のジャンルにあった伴奏形、変奏の手法が選択できる。() 2.[思考・判断・表現] 即興課題を表情豊かに演奏できる。() 3.[技能] まとまりのある演奏ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 学んだ内容を復習する。意欲的に取り組むことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	15	15	40	-	70
	受講態度	-	-	-	15	15
	課題に対する練習状況	-	-	-	15	15
	合計	15	15	40	30	100
成績評価と割合	実技試験 70%、受講態度 15%、課題に対する練習状況 15% の合計 100% で評価します。					
テキスト	授業で提示します。資料を配布します。					
参考書・教材	必要に応じて紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	夏休みの課題発表 前期に学んだ項目の確認 [準備・課題]学んだ内容を復習する(3~6h)					
2	モチーフ即興について [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
3	ゼクエッツについて [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
4	形式について [準備・課題]学んだ内容を復習し、実習する(5~7h)					
5	中間部の作り方について(コード進行) [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
6	モチーフ即興実習 [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
7	クライマックスをどこにおくか [準備・課題]学んだ内容を復習し、実習する(5~7h)					
8	全体のまとめ方について [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
9	モチーフの発展について [準備・課題]学んだ内容を復習し、実習する(5~7h)					
10	即興B 課題実習 [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
11	即興B 課題実習 [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
12	即興A 課題実習 即興B 課題実習 試験に向けて [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
13	即興A 課題実習 即興B 課題実習 試験に向けて [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
14	初見演奏 課題実習 [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
15	予見について 試験に向けて [準備・課題]学んだ内容を理解し、実習する(5~7h)					
時間外での学習	学習した事を毎日トレーニングしましょう。 積極的に課題に取り組みましょう。問題をたくさんやりましょう。 スケールとカデンツは、確実に弾けるようにしましょう。					
受講学生へのメッセージ	わからない事を、放置しないようにしましょう。いつでも良いので聞いてください。 オフィスアワーは、講義後に教室で行います。					

指導グレード対策 A (前期)		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 石原 朱実						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	指導グレード 筆記・実技試験に向けての内容理解 課題問題のアナリゼ、トレーニング					
授業方法	課題の実習と過去問題集の分析、キーボードハーモニー、コードトレーニング、オーケストレーション(移調楽器)を確認する。管弦楽法					
到達目標	1.[知識・理解] 指導グレード4級を目指し、同程度の問題の理解と実習ができる(実技)。() 2.[思考・判断・表現] 指導グレード4級を目指し、同程度の問題の理解と実習ができる(筆記)。() 3.[技能] テーマをソルフェージュし、楽譜を見たら頭で即、音が鳴るようにする。() 4.[関心・意欲・態度] 実技試験における楽曲の解釈と"演奏表現力"を高める。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	20	10	10	-	40
	実技試験	20	10	10	-	40
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	40	20	20	20	100
成績評価と割合	筆記試験40% 実技試験40% 受講態度(課題消化)20% で評価します。					
テキスト	『指導グレード5～3級筆記実技試験問題一覧2006～2012年実施』ヤマハミュージックメディア					
参考書・教材	その他の資料はコピーにて渡します。					
	内容					
実施回	授業内容・目標					
1	コード進行、コードパターンの確認 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
2	借用和音、キーボードハーモニー# 4つまで [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
3	既成曲のコード付け、移調 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
4	既成曲のコード付け、移調 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
5	伴奏付け課題 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
6	伴奏付け応用課題、演習 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
7	新曲視唱から弾き歌いへ [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
8	新曲視唱から弾き歌いへ [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
9	オーケストレーション、1年生の復習より課題へ導入 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
10	移調楽器の理解と確認 [準備・課題]学んだ内容の復習(2～5h)					
11	聴音と移調奏の演習 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
12	聴音と移調奏の演習 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
13	伴奏付け、移調奏、キーボードハーモニーのまとめ [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
14	前期のまとめとして鍵盤実技の個人チェック [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
15	筆記試験 16回目: 実技試験 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(4～8h)					
時間外での学習	より良い演奏表現力を求めて、日頃から楽曲の分析と理解を深めて欲しい。					
受講学生へのメッセージ	毎回授業で与えられた課題の復習ドリルを欠かさずにやる事。 オフィスアワーは非常勤講師控室にて毎週金曜日の12:40～12:55です。					

指導グレード対策 A (後期)		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 石原 朱実						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	指導グレード、筆記・実技試験に向けての実習 筆記試験問題(コード進行法・伴奏付け・カウンター・楽典)					
授業方法	管弦楽法の理解とオーケストレーション、スコアリーディングを通して楽曲の分析をする。 実技、過去問題集による実習					
到達目標	1.[知識・理解] 筆記試験4級の内容に準じてオーケストレーションの理解() 2.[思考・判断・表現] スコアリーディングよりソロ、アンサンブル編曲の力を増す事() 3.[技能] どんな調性にも対応できるようにする() 4.[関心・意欲・態度] より高い演奏、表現力、芸術性を高め、楽曲の深い理解を増す事()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	20	10	10	-	40
	実技試験	20	10	10	-	40
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	40	20	20	20	100
成績評価と割合	筆記試験40% 実技試験40% 受講態度20% で評価する。					
テキスト	『スコアリーディングを始める前に』(株)ドレミ楽譜出版社 『指導グレード5～3級筆記実技問題一覧2006～2012年実施』ヤマハミュージックメディア					
参考書・教材	その他資料はコピーで渡します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オーケストレーション、移調楽器、スコアリーディング [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
2	オーケストレーション、移調楽器、スコアリーディング [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
3	筆記試験 過去問題集による実習、演習 コード進行法 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
4	筆記試験 過去問題集による実習、演習 伴奏付け [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
5	筆記試験 過去問題集による実習、演習 カウンター [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
6	筆記試験のまとめ [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
7	ソルフエージュ、伴奏付け 演習 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
8	弾き歌い、移調奏 演習 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
9	実技試験のまとめ [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
10	個人チェック 何が本人にとって欠けているか [準備・課題]学んだ内容の復習及び不足している部分の練習(2～5h)					
11	個人チェック [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
12	指導グレードにおける筆記問題 個人チェック [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
13	指導グレードにおける筆記問題 個人チェック [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
14	4級模擬試験 筆記・実技 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(2～5h)					
15	筆記試験 16回目:実技試験 [準備・課題]学んだ内容の復習及び練習(3～7h)					
時間外での学習	日頃よりクラシックの名曲などを聴き、スコアリーディングをして楽曲のアナリゼの習慣をつけてほしい。					
受講学生へのメッセージ	毎回の課題の復習、ドリルをする事。 オフィスアワーは非常勤講師控室にて毎週金曜日の12:40～12:55です。					

指導グレード対策B（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：三輪 泰子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	指導グレード試験に必要な音楽知識と聴音を学習し、各自、希望する指導グレード試験に合格し、グレード取得することを目指します。					
授業方法	講義形式ですが、習熟のための個人指導の時間も、毎回、取ります。また、グレードむけ聴音の時間も、毎回、確保します。					
到達目標	1.[知識・理解] 指導グレード取得に必要な基礎的な知識を身に付ける。() 2.[思考・判断・表現] 知識を学ぶ事により、深く作品を理解し表現し、グレード取得により、評価を得る。() 3.[技能] 知識と並行して、西洋音楽の土台となっている和声感を感じ、聴き取られるようにしたい。() 4.[関心・意欲・態度] 常識としてのグレードの知識を演奏、創作、音楽指導活動に活かせるようにする。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	50	20	10	-	80
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	50	20	10	20	100
成績評価と割合	試験80%、受講態度20%で評価します。欠席は、減点とし、3分の1以上欠席した学生には、単位を与えません。					
テキスト	『キーボードアレンジピアノ篇』カワイ出版 『音楽用語ハンドブック』カワイ出版					
参考書・教材	授業で、配布するプリントを教材とします。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	毎回、プリント実習・聴音というスタイルで進めていきます。様々なテーマの問題を実習します。 [課題]配布されたプリントを解いておきましょう。(1h)					
2	音程に関する問題・聴音 [課題]音程に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
3	転回音程に関する問題・聴音 [課題]転回音程に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
4	音階に関する問題・聴音 [課題]音階に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
5	和音、和声に関する問題・聴音 [課題]和音、和声に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
6	和音、和声に関する問題・聴音 [課題]和音、和声に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
7	調性判断に関する問題・聴音 [課題]調性判断に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
8	移調に関する問題・聴音 [課題]移調に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
9	移調楽器に関する問題・聴音 [課題]移調楽器に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
10	音楽史（人物）に関する問題・聴音 [課題]音楽史（人物）に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
11	音楽史（曲名）に関する問題・聴音 [課題]音楽史（曲名）に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
12	音楽史（楽曲の譜面）に関する問題・聴音 [課題]音楽史（楽曲の譜面）に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
13	音楽史（時代区分）に関する問題・聴音 [課題]音楽史（時代区分）に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
14	音楽史（民族・日本音楽）に関する問題・聴音 [課題]音楽史（民族・日本音楽）に関する問題のプリントを解いておきましょう。(1h)					
15	期末テストに向けて質疑応答・聴音 [課題]わからない所を質問出来るようにまとめておきましょう。(1h)					
時間外での学習	指導グレード取得のために、自己勉強は必要不可欠です。					
受講学生へのメッセージ	グレード取得は、将来の就職につながります。目標に向かって、一緒に頑張りましょう。オフィスアワーは、教室で授業前後です。					

指導グレード対策B（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：三輪 泰子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	指導グレード試験に必要な音楽知識と聴音を学習し、各自、希望する指導グレード試験に合格し、グレード取得することを目指します。					
授業方法	講義形式ですが、習熟のための個人指導の時間も、毎回、取ります。また、グレードむけ聴音の時間も、毎回、確保します。					
到達目標	1.[知識・理解] 指導グレード取得に必要な基礎的な知識を身に付ける。() 2.[思考・判断・表現] 知識を学ぶ事により、深く作品を理解し表現し、グレード取得により、評価を得る。() 3.[技能] 知識に並行して、西洋音楽の土台となっている和声感を感じ、聴き取られるようにしたい。() 4.[関心・意欲・態度] 常識としてのグレードの知識を演奏、創作、音楽指導活動に活かせるようにする。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	50	20	10	-	80
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	50	20	10	20	100
成績評価と割合	試験80%、受講態度20%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には、単位を与えません。					
テキスト	『キーボードアレンジピアノ篇』カワイ出版 『音楽用語ハンドブック』カワイ出版					
参考書・教材	授業で、配布するプリントを教材とします。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	毎回テーマ別にプリント実習、グレード向け聴音を学習していきます。テーマは同じでも、高度な内容になります [課題]配布されたプリントを解いておきましょう。(1h)					
2	音名（日本・ドイツ音名）に関する難解な問題・聴音 [課題]音名（日本・ドイツ音名）に関する難解な問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
3	音符・休符に関する難解な問題・聴音 [課題]音符・休符に関する難解な問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
4	複雑な拍子・リズムに関する問題・聴音 [課題]複雑な拍子・リズムに関する問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
5	五度圏に関する問題・聴音 [課題]五度圏に関する問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
6	近親調に関する複雑な問題・聴音 [課題]近親調に関する複雑な問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
7	コードネームに関する複雑な問題・聴音 [課題]コードネームに関する複雑な問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
8	和声音と非和声音に関する複雑な問題・聴音 [課題]和声音と非和声音に関する複雑な問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
9	様々な記号・標語に関する複雑な問題・聴音 [課題]様々な記号・標語に関する複雑な問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
10	楽式に関する問題・聴音 [課題]楽式に関する問題プリントを解いておきましょう。(1h)					
11	総合問題 ・聴音 [課題]総合問題 プリントを解いておきましょう。(1h)					
12	総合問題 ・聴音 [課題]プリントを解いておきましょう。(1h)					
13	音楽史に関する問題 ・聴音 [課題]音楽史に関する問題 プリントを解いておきましょう。(1h)					
14	音楽史に関する問題 ・聴音 [課題]音楽史に関する問題 プリントを解いておきましょう。(1h)					
15	期末テストに向けて質疑応答・聴音 [課題]わからない所を質問できるようにまとめておきましょう。(1h)					
時間外での学習	指導グレード取得のために、自己勉強は必要不可欠です。					
受講学生へのメッセージ	グレード取得は、将来の就職につながります。目標に向かって、一緒に頑張りましょう。オフィスアワーは、教室で授業前後です。					

和声学（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：三輪 泰子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	指導グレードに必要な和声学を身に付け、グレード取得を目指します。					
授業方法	講義形式ですが、課題理解のための個人指導にも力を入れていきます。					
到達目標	1. [知識・理解] 和声の基礎的な知識を身に付ける。 () 2. [思考・判断・表現] 西洋音楽の土台となっている和声感を感じられるようになる。 () 3. [技能] グレード取得により、社会的な評価を得る。 () 4. [関心・意欲・態度] 常識としての和声の知識を演奏、創作、音楽指導活動に活かせるようにする。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	50	20	20	-	90
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	50	20	20	10	100
成績評価と割合	試験90%、受講態度10%で評価します。 欠席は、減点とし、3分の1以上欠席した学生には、単位を与えません。					
テキスト	『和声 理論と実習』音楽之友社					
参考書・教材	特にありません。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身につける。 [課題]和音の設定について(1h)					
2	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身につける。 [課題]終止形について(1h)					
3	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身につける。 [課題]終止形について(1h)					
4	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身につける。 [課題]終止形について(1h)					
5	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身につける。 [課題]属7の和音について(1h)					
6	指導グレードの過去問題を使用し、実践力を身につける。 [課題]様々な調での実践(1h)					
7	属7の和音の根音省略形、第2転回位置 [課題]課題31、32、33を実践してみましょう。(1h)					
8	属7の和音の根音省略形、第2転回位置 [課題]課題34を実践してみましょう。(1h)					
9	補充課題の実施 [課題]P159を実践してみましょう。(1h)					
10	補充課題の実施 [課題]P159を実践してみましょう。(1h)					
11	長調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題35,36を実践してみましょう。(1h)					
12	長調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題37、38、39を実践してみましょう。(1h)					
13	長調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題40(前半)を実践してみましょう。(1h)					
14	長調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題40(後半)を実践してみましょう。(1h)					
15	期末テストについての質疑応答 [課題]わからない所をまとめておきましょう。(1h)					
時間外での学習	理解のためには、授業内の演習だけでなく、予習復習が必要不可欠です。					
受講学生へのメッセージ	和声学は、西洋音楽の基本です。演奏力、アレンジ力向上のためにも、積極的に受講してください。オフィスアワーは、教室で授業前後です。					

和声学（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：三輪 泰子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	指導グレードに必要な和声学を身に付け、グレード取得を目指します。					
授業方法	講義形式ですが、課題理解のための個人指導にも力を入れていきます。					
到達目標	1.「知識・理解」 和声の基礎的な知識を身に付ける。() 2.「思考・判断・表現」 西洋音楽の土台となっている和声感を感じられるようになる。() 3.「技能」 グレード取得により、社会的な評価を得る。() 4.「関心・意欲・態度」 常識としての和声の知識を演奏、創作、音楽指導活動に活かせるようにする。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	50	20	20	-	90
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	50	20	20	10	100
成績評価と割合	試験90%、受講態度10%で評価します。 欠席は、減点とし、3分の1以上欠席した学生には、単位を与えません。					
テキスト	『和声 理論と実習』音楽之友社					
参考書・教材	特にありません。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	短調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題41,42を实践してみましょう。(1h)					
2	短調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題43を实践してみましょう。(1h)					
3	短調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題43を实践してみましょう。(1h)					
4	短調の属9の和音の配置と連結 [課題]課題43を实践してみましょう。(1h)					
5	D諸和音の総括 [課題]課題44を实践してみましょう。(1h)					
6	D諸和音の総括 [課題]課題44を实践してみましょう。(1h)					
7	D諸和音の総括 [課題]課題44を实践してみましょう。(1h)					
8	補充課題の実施 [課題]P160を实践してみましょう。(1h)					
9	補充課題の実施 [課題]P160を实践してみましょう。(1h)					
10	補充課題の実施 [課題]P160を实践してみましょう。(1h)					
11	補充課題の実施 [課題]P161を实践してみましょう。(1h)					
12	補充課題の実施 [課題]P161を实践してみましょう。(1h)					
13	補充課題の実施 [課題]P162を实践してみましょう。(1h)					
14	補充課題の実施 [課題]P163を实践してみましょう。(1h)					
15	期末テストについての質疑応答 [課題]わからない所をまとめておきましょう。(1h)					
時間外での学習	理解のためには、授業内の演習だけでなく、予習復習が必要不可欠です。					
受講学生へのメッセージ	和声学は、西洋音楽の基本です。演奏力、アレンジ力向上のためにも、積極的に受講してください。オフィスアワーは、教室で授業前後です。					

音楽総合特講		音楽総合学科		2年前期																																					
		2単位		講義	30時間																																				
[教員]：鈴木 孝育・矢田貝 真一																																									
[関連する資格・履修制限等]：																																									
授業内容	音楽の学びを深めていくために基礎的な教養の涵養を図るとともに、音楽に関して学んだ成果を公務として直接生かしていける職業（音楽活動によって職務を果たす自衛隊音楽隊・警察音楽隊・消防音楽隊などの公務員）に求められる基本的な教養についての理解を図ります。また音楽隊の隊員もしくは人事担当者をゲスト・スピーカーとして招き、活動や求められる資質等の基本について理解を図ります。																																								
授業方法	高校までの国語・社会・数学・英語の基本的な内容について復習を行い、教養として必要な事項の定着と深化を図ります。そのための教材として、実際の採用試験の問題等を活用しながら、学修を進めていきます。																																								
到達目標	1.[知識・理解] 音楽を学ぶ基盤となる国語、社会、数学、英語についての基本的な知識を復習して確実に定着させられる。() 2.[思考・判断・表現] 復習した基本的な知識を、音楽活動に必要な思考力や判断力、表現力を培うために深化させようと努力できる。() 3.[関心・意欲・態度] 音楽を学ぶために必要となる豊かな教養を一層高められるよう、積極的に継続した学びの態度を身につけることができる。()																																								
観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識・理解</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>技能</th> <th>関心・意欲・態度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験</td> <td>60</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>学修記録表</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>学修成果の自己評価</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>受講態度(学修・提出等の状況)</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>60</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>20</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>						知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計	試験	60	-	-	-	60	学修記録表	-	10	-	10	20	学修成果の自己評価	-	5	-	5	10	受講態度(学修・提出等の状況)	-	5	-	5	10	合計	60	20	-	20	100
	知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計																																				
試験	60	-	-	-	60																																				
学修記録表	-	10	-	10	20																																				
学修成果の自己評価	-	5	-	5	10																																				
受講態度(学修・提出等の状況)	-	5	-	5	10																																				
合計	60	20	-	20	100																																				
成績評価と割合	筆記試験 60%、学修記録表 20%、学修成果の自己評価 10%、受講態度(学修・提出等の状況) 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、授業回数の3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。																																								
テキスト	授業で指示します。																																								
参考書・教材	授業で指示もしくは配付します。																																								
内容																																									
実施回	授業内容・目標																																								
1	ガイダンス：音楽総合特講の目的と目標、授業の進め方や学修活動、準備物の説明、確認テスト [準備・課題]確認テストの復習を確実に行う(3~5h)																																								
2	英語(1)英語の発音、アクセント、英単語、疑問文や否定文 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
3	英語(2)英語の命令文、感嘆文、基本5文型、未来形、助動詞や比較形 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
4	英語(3)現在完了、受動態、不定詞や動名詞 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
5	英語(4)関係代名詞、関係副詞、分詞、接続詞や付加疑問文 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
6	英語(5)前置詞、対話文や英文解釈 [準備・課題]英語全5回の復習を確実に行う(3~5h)																																								
7	方程式・同音異義語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
8	政治と憲法・同訓異義語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
9	数学文章題・同義語と対義語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
10	経済と福祉・ことわざと故事成語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
11	数学文章題・四字熟語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習と次時内容の予習を確実に行う(3~5h)																																								
12	社会生活・四字熟語の定着と発展 [準備・課題]学んだ内容の復習とまとめに向けた学修を確実に行う(3~5h)																																								
13	中間まとめ(第7週~12週までの学修の確認と定着) [準備・課題]学んだ内容の総合的な復習を行う(2~6h)																																								
14	警察音楽隊講話：隊の活動状況、警察における音楽隊の役割(外部講師) [準備・課題]学んだ内容の復習とまとめに向けた学修を確実に行う(3~5h)																																								
15	自衛隊音楽隊講話：隊の活動状況、自衛隊における音楽隊の役割(外部講師) [準備・課題]学んだ内容の復習と全体の総合的な復習を確実に行う(3~5h)																																								
時間外での学習	学修した問題や課題とされた問題を確実に自主学習し、内容の定着を図ってください。授業以外での学修の取組が希望の実現を確実に左右します。																																								
受講学生へのメッセージ	音楽を活用する公務員への就職をめざして、採用試験を想定した学修や音楽隊の活動内容を学びます。音楽隊以外をめざす学生にとっても活用可能な内容です。積極的に学ぼうとする意識をもって受講してください。*授業の順序や内容は、進度等の都合で変更されることがあります。 オフィスアワー：質問等があれば、授業終了後、担当教員に申し出てください。																																								

ソルフェージュ（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：五島 由美子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	一年次で学んだソルフェージュを更に展開させ重唱を取り入れます。					
授業方法	実技、実践を中心として基礎的な音楽知識の習得をしていきます。					
到達目標	1.[知識・理解] 音感、リズム感、和声感を身につけフレーズを理解し音楽活動の基礎を養う。() 2.[思考・判断・表現] 得られた知識を実際の音楽の現場に対応できるものにする。() 3.[技能] 音楽の専門家としての情報収集能力をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。() 4.[関心・意欲・態度] 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通して人とコミュニケーションを取るうとする意欲がある。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	発表（グループ発表含む）	5	10	10	40	65
	筆記試験	10	-	10	-	20
	自己評価	5	-	-	5	10
	受講態度	-	-	-	5	5
	合計	20	10	20	50	100
成績評価と割合	発表 65%、筆記試験 20%、自己評価 10%、受講態度 5% の合計 100% で評価します。					
テキスト	『コールユープンゲン』大阪開成館 『コンコーネ50番(中声用)』全音楽譜出版社 『新曲視唱(1)』エー・ティー・エヌ 『女子音楽 カンターレ』音楽之友社 何れも手持可					
参考書・教材	なし					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業ガイダンス 1年次ソルフェージュを更に展開させ多声音階の重唱の認識をする。 [準備・課題]1年次での課題を再確認する。(1~2h)			コールユープンゲン No.51		
2	複雑なメロディー、リズムを理解する [準備・課題]1年次での課題を再確認する。(1~2h)			コールユープンゲン No.52		
3	複付点音符を理解をする [準備・課題]付点音符と複付点音符の区別をする。(1~2h)			コールユープンゲン No.53		
4	異名同音を理解をする [準備・課題]異名同音の歌唱、音程練習をする。(1~2h)			コールユープンゲン No.54		
5	タイによるメロディー、リズムを理解する [準備・課題]シンコペーションのリズム打ち、歌唱をする。(1~2h)			コールユープンゲン No.55		
6	切分音によるリズムを理解する [準備・課題]複合拍子のリズムに慣れ歌唱、視唱が出来る。(1~2h)			コールユープンゲン No.56		
7	既習課題の確認テスト [準備・課題]既習全長音階の課題を理解する。(1~2h)					
8	転調の理解と演習 [準備・課題]あらゆる調での転調練習をする。(1~2h)			コールユープンゲン No.60		
9	臨時記号の理解と演習 [準備・課題]臨時記号の有無による練習をする。(1~2h)			コールユープンゲン No.61		
10	複雑な臨時記号の理解と演習 [準備・課題]複合拍子における拍子の取り方と臨時記号を把握する。(1~2h)			コールユープンゲン No.62		
11	既習課題の確認テスト [準備・課題]複雑難解な長音階の和声学的な理解をする。(1~2h)					
12	複雑な長音階の展開 [準備・課題]臨時記号を正しく歌唱する。(1~2h)			コールユープンゲン No.63		
13	転調を含む長音階の理解と演習 [準備・課題]タイによるリズムの推移を歌唱、リズム打ちをする。(1~2h)			コールユープンゲン No.64		
14	難解な音階と複雑なリズムの理解 [準備・課題]臨時記号と休符の組み合わせによる歌唱をする。(1~2h)			コールユープンゲンNo.65,66		
15	複雑難解な長音階の正確な歌唱をする [準備・課題]今までに学修した聴音の課題を復習する。 コールユープンゲンNo.33までを歌唱できるようにする。(1~2h)					
時間外での学習	毎回授業で学んだ課題の復習、予習をしっかりと行うことがソルフェージュ上達を確実なものにします。					
受講学生へのメッセージ	一回一回の授業がとても大切です。欠席しないよう体調にも気を付けてください。 オフィスアワーは授業後教室にて 月曜日10:30~10:40					

ソルフェージュ（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：五島 由美子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	二年前期で学んだソルフェージュを更に展開させ重唱を取り入れます。					
授業方法	実技、実践を中心として基礎的な音楽知識の習得をしていきます。					
到達目標	1.[知識・理解] 音感、リズム感、和声感を身につけフレーズを理解し音楽活動の基礎を養う。() 2.[思考・判断・表現] 得られた知識を実際の音楽の現場に対応できるものにする。() 3.[技能] 音楽の専門家としての情報収集能力をもち、関係職種と連携できるコミュニケーション能力がある。() 4.[関心・意欲・態度] 常に自己資質の向上をめざし、積極的に音楽を通して人とコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	発表（グループ発表含む）	5	10	10	40	65
	筆記試験	10	-	10	-	20
	自己評価	5	-	-	5	10
	受講態度	-	-	-	5	5
	合計	20	10	20	50	100
成績評価と割合	発表 65%、筆記試験 20%、自己評価 10%、受講態度 5% の合計 100% で評価します。					
テキスト	『コールユープンゲン』大阪開成館 『コンコーネ50番(中声用)』全音楽譜出版社 『新曲視唱(1)』エー・ティー・エヌ 『女子音楽 カンターレ』音楽之友社 何れも手持可					
参考書・教材	なし					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	複雑な変種音階の演習 [準備・課題]変二長調の歌唱をする。(1~2h)			コールユープンゲン	No.67	
2	複雑な変種音階の展開 [準備・課題]変イ長調の歌唱をする。(1~2h)			コールユープンゲン	No.68	
3	変種音階の転調を理解する [準備・課題]各音階の歌唱が出来る。(1~2h)			コールユープンゲン	No.69	
4	音楽的な課題での転調を理解する [準備・課題]複雑な音階における転調を歌唱することが出来る。(1~2h)			コールユープンゲン	No.70	
5	既習課題の確認テスト [準備・課題]複雑なリズムの展開を理解する。(1~2h)			コールユープンゲン	No.71	
6	長調と短調における正しい音の取り方を比較 [準備・課題]既習の長調・短調の基本和音の練習をする。(1~2h)			コールユープンゲン	No.72	
7	複雑な短調の転調練習 [準備・課題]各調の音階の三和音を確実に理解する。(1~2h)			コールユープンゲン	No.80	
8	複雑な短調の展開 [準備・課題]複合拍子における転調がスムーズに出来る。(1~2h)			コールユープンゲン	No.81	
9	複雑な短調の展開 [準備・課題]複雑なリズムを伴う転調がスムーズに出来る。(1~2h)			コールユープンゲン	No.82	
10	既習課題の確認テスト [準備・課題]前回までに学修したことを確認する。(1~2h)			コールユープンゲン	No.83	
11	長調と短調の相交じた課題の演習 [準備・課題]全長調と短調の理解が出来る。(1~2h)			コールユープンゲン	No.84	
12	長調と短調の相交じた課題の演習 [準備・課題]全長調と短調の理解が出来る。(1~2h)			コールユープンゲン	No.85	
13	半音階の練習 [準備・課題]全調の属七和音を書き、暗記する。(1~2h)			コールユープンゲン	No.86	
14	全音階、半音階全ての総復習 [準備・課題]全調の和音並びに複雑なリズム、音程を理解する。(1~2h)			コールユープンゲン	No.87a	
15	全音階、半音階全ての総復習 [準備・課題]全調の和音並びに複雑なリズム、音程を理解する。(1~2h)			コールユープンゲン	No.87b	
時間外での学習	毎回授業で学んだ課題の復習、予習をしっかりと行うことがソルフェージュ上達を確かなものにします。					
受講学生へのメッセージ	一回一回の授業がとても大切です。欠席しないよう体調にも気を付けてください。 オフィスアワーは授業後教室にて 月曜日10:30~10:40					

鍵盤楽器（前期）	音楽総合学科		2年前期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：野口 歩						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年生で習得した知識や技術を活かしより深く豊かな音楽を表現できるように発展させていきます。ピアノの演奏を通して自己の内面、感性を磨き、人々に伝えられる音楽作りを目指します。					
授業方法	一人一人の進度に合った個人レッスンです。					
到達目標	1. [知識・理解] ピアノ演奏の基礎的な奏法を理解し、演奏するための知識を身につけることができる。 () 2. [思考・判断・表現] 演奏する曲に対する思考力と表現力を習得することができる。 () 3. [技能] 自身の演奏技術を磨き、各専門分野に結び付け役立てていくことができる。 () 4. [関心・意欲・態度] 音楽に対する関心を常に継続して持ち自己研鑽していくことができる。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	30	35	-	65
	受講態度	20	-	-	15	35
	合計	20	30	35	15	100
成績評価と割合	・実技試験：65% 受講態度：35% の合計100%で評価します。 ・欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生に単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	個々のレベルに合った楽譜を選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	授業のガイダンス・練習曲 [準備・課題] 次回からの練習曲を決め、譜読みをする(1~2h)					
2	練習曲・指使い [準備・課題] レッソンの復習をし、指のポジションや指使いを確認する(1~2h)					
3	練習曲・部分練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、片手奏や部分練習を行う(1~2h)					
4	練習曲・音楽表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、音の強弱やフレーズを考えて演奏する(1~2h)					
5	練習曲・曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、曲想を付ける(1~2h)					
6	練習曲・弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、曲の流れをつかむ(1~2h)					
7	練習曲・仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、曲をまとめる(1~2h)					
8	試験曲・譜読み [準備・課題] 前期試験の曲を選曲し、譜読みを丁寧にする(1~2h)					
9	試験曲・指使い [準備・課題] レッソンの復習をし、指使いの工夫やポジションの再確認をする(1~2h)					
10	試験曲・フレージング・バランス [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽の流れやバランスを考える(1~2h)					
11	試験曲・曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、曲にふさわしいテンポや響きを作り出す(1~2h)					
12	試験曲・暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、丁寧に暗譜をする(1~2h)					
13	試験曲・弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、曲の流れを捉えて弾き込む(1~2h)					
14	試験曲・仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、まとめる(1~2h)					
15	試験曲・休暇中の課題曲決め [準備・課題] レッソンの復習をし、自信を持って演奏できるように、何度も練習する(1~2h)					
時間外での学習	レッスンの復習をし、次回までに改善するように日々の練習の積み重ねが大切です。					
受講学生へのメッセージ	個々の進度に合わせて課題を進めていきますので、レッスンで学んだことを忘れずに復習するように心がけてください。 オフィスアワーは担当講師のレッスン時間のレッスン時間の前後休み時間です。					

鍵盤楽器（後期）	音楽総合学科		2年後期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：野口 歩						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年生で習得した知識や技術を活かしより深く豊かな音楽を表現できるように発展させていきます。ピアノの演奏を通して自己の内面、感性を磨き、人々に伝えられる音楽作りを目指します。					
授業方法	一人一人の進度に合った個人レッスンです。					
到達目標	1. [知識・理解] ピアノ演奏の基礎的な奏法を理解し、演奏するための知識を身につけることができる。() 2. [思考・判断・表現] 演奏する曲に対する思考力と表現力を習得することができる。() 3. [技能] 自身の演奏技術を磨き、各専門分野に結び付け役立てていくことができる。() 4. [関心・意欲・態度] 音楽に対する関心を持ち常に継続して、自己研鑽していくことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	30	35	-	65
	受講態度	20	-	-	15	35
	合計	20	30	35	15	100
成績評価と割合	・実技試験：65% 受講態度：35% の合計100%で評価します。 ・欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	個々のレベルに合った楽譜を選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	休暇中の課題曲 [準備・課題] 休暇中の課題曲の発表・次回からの練習曲を決める(1~2h)					
2	練習曲・譜読み [準備・課題] 新しい曲の譜読みをする(1~2h)					
3	練習曲・フィンガートレーニング [準備・課題] レッソンの復習をし、指使いを考えて練習する(1~2h)					
4	練習曲・部分練習 [準備・課題] レッソンの復習をし、片手奏や部分練習を行う(1~2h)					
5	練習曲・楽語の理解と表現 [準備・課題] レッソンの復習をし、音の強弱やフレーズをつける(1~2h)					
6	練習曲・曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、曲にふさわしい音色やハーモニーを作る(1~2h)					
7	練習曲・弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、弾き込んで曲の流れをつかむ(1~2h)					
8	練習曲・仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、曲をまとめる・後期の試験曲を決める(1~2h)					
9	試験曲・指使い [準備・課題] 譜読みを丁寧にする・指使いの工夫やポジションの再確認をする(1~2h)					
10	試験曲・フレージング・バランス [準備・課題] レッソンの復習をし、音楽の流れやバランスを考える(1~2h)					
11	試験曲・曲想 [準備・課題] レッソンの復習をし、曲にふさわしいテンポや響きを作り出す(1~2h)					
12	試験曲・暗譜 [準備・課題] レッソンの復習をし、丁寧に暗譜をする(1~2h)					
13	試験曲・弾き込み [準備・課題] レッソンの復習をし、曲の流れを捉えて弾き込む(1~2h)					
14	試験曲・仕上げ [準備・課題] レッソンの復習をし、暗譜を確実にすると共に、苦手な箇所をなくす(1~2h)					
15	試験曲・まとめ [準備・課題] レッソンの復習をし、自信を持って演奏できるように、何度も練習する(1~2h)					
時間外での学習	レッスンの復習をし、次回までに改善するように日々の練習の積み重ねが大切です。					
受講学生へのメッセージ	個々の進度に合わせて課題を進めていきますので、レッスンで学んだことを忘れずに復習するように心がけてください。 オフィスアワーは担当講師のレッスン時間のレッスン時間の前後休み時間です。					

ポピュラーミュージック（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：持田 雅美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	世界的なトップアーティストの楽曲を、CDやDVDで鑑賞し、実際に歌ったり、演奏したり、アンサンブルする事で自分の演奏の糧にします。 音楽の自由さ、楽しさを見つけ、音楽での自己表現を目指します。					
授業方法	歌・コーラス・演奏など、実技中心に行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 課題曲の構成や歌詞の意味などを理解する。() 2.[思考・判断・表現] 音楽で自分を表現することができる。() 3.[技能] 音楽でコミュニケーションを取る事ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 人を楽しませる、元気付ける演奏を目指す。感受性豊かに、音楽と向き合うことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	15	-	-	15	30
	アンサンブル力	-	20	20	-	40
	受講態度	-	-	-	30	30
	合計	15	20	20	45	100
成績評価と割合	実技試験 30%、アンサンブル力 40%、受講態度 30% の合計 100%で評価します。 3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な資料・譜面は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション 自己紹介・1年をどのようなプランで進めるか説明					
2	音楽の3要素を体感 (リズム・メロディー・ハーモニー)					
3	音楽の3要素を体感 (リズム・メロディー・ハーモニー) 動きやすい格好で参加					
4	音楽の3要素を体感 (リズム・メロディー・ハーモニー) 動きやすい格好で参加					
5	CD・DVD鑑賞 音楽の知識を深める					
6	CD・DVD鑑賞 音楽の知識を深める・リズムトレーニング [準備・課題]前回鑑賞したアーティストの中から、気になる曲を選出。 どんな所に興味が引っ掛かったのか、自己分析。(～2h)					
7	CD・DVD鑑賞 音楽の知識を深める・コーラス、アンサンブル練習					
8	人前での演奏練習・マイクワーク [準備・課題]各自コーラスパート復習(～2h)					
9	立ち方・歩き方など、ステージングと舞台用語					
10	ジャンル別音楽鑑賞とアンサンブル練習 各自楽器持参					
11	アンサンブル練習 各自楽器持参 [準備・課題]必要であれば自主練習をする(～3h)					
12	アンサンブル練習 各自楽器持参 [準備・課題]必要であれば自主練習をする(～3h)					
13	前期試験曲決め・譜面書き 5線譜持参					
14	試験曲実習・アドバイスと個人練習 [準備・課題]授業内で譜面が書けなかった人は、持ち帰り、作成。試験曲練習(～3h)					
15	試験曲実習・アドバイスと個人練習 [準備・課題]試験曲練習(～3h)					
時間外での学習	・いろんなジャンルの音楽に興味を持つ。聴く。 ・映画・アートに関心を向ける。					
受講学生へのメッセージ	全員参加型の授業です。 自己解放を目指し、表現すること、飛び出す事を恐れず、みんなで音楽をつくりましょう。 オフィスアワーは、授業終了後教室で行います。					

ポピュラーミュージック（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：持田 雅美						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	世界的なトップアーティストの楽曲を、CDやDVDで鑑賞し、実際に歌ったり、演奏したり、アンサンブルすることで自分の演奏の糧にします。 音楽の自由さ、楽しさを見つけ、音楽での自己表現を目指します。					
授業方法	歌・コーラス・演奏など、実技中心に行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 課題曲の構成や歌詞の意味などを理解する。() 2.[思考・判断・表現] 音楽で自分を表現することができる。() 3.[技能] 音楽でコミュニケーションを取る事ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 人を楽しませる、元気付ける演奏を目指す。感受性豊かに、音楽と向き合うことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	15	-	-	15	30
	アンサンブル力	-	20	20	-	40
	受講態度	-	-	-	30	30
	合計	15	20	20	45	100
成績評価と割合	実技試験 30%、アンサンブル力 40%、受講態度 30%、の合計100% で評価します。 3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な資料・譜面は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	MC練習 テーマを決め、人前で話す練習					
2	DVD鑑賞・ジャンル別楽曲鑑賞・音楽史					
3	DVD鑑賞・ジャンル別楽曲鑑賞・音楽史					
4	DVD鑑賞・ジャンル別楽曲鑑賞・音楽史					
5	コーラス・アンサンブル練習 アンサンブル力を付ける [準備・課題]各自コーラスパート復習(~2h)					
6	コーラス・アンサンブル練習 アンサンブル力を付ける [準備・課題]各自コーラスパート復習(~2h)					
7	コーラス・アンサンブル練習 アンサンブル力を付ける [準備・復習]各自コーラスパート復習(~2h)					
8	リズムトレーニングと自己解放 音楽にノッてみよう 動きやすい格好で参加					
9	リズムトレーニングと自己解放 音楽にノッてみよう 動きやすい格好で参加					
10	リズムトレーニングと自己解放 音楽にノッてみよう 発表 動きやすい格好で参加					
11	クリスマスソング鑑賞・練習 [準備・課題]クリスマスソングを自主的に聴いてみる(0.5~2h)					
12	クリスマスソング練習 [準備・課題]各自クリスマスソング練習(0.5~2h)					
13	後期試験曲決め・実習 5線譜持参					
14	試験曲実習・アドバイスと個人練習 [準備・課題]授業内で譜面が書けなかった人は、持ち帰り、作成。試験曲練習(~3h)					
15	試験曲実習・アドバイスと個人練習 [準備・課題]試験曲練習(~3h)					
時間外での学習	・いろんなジャンルの音楽に興味を持つ。聴く。 ・映画・アートに関心を向ける。					
受講学生へのメッセージ	全員参加型の授業です。 自己解放を目指し、表現すること、飛び出す事を恐れず、みんなで音楽をつくりましょう。 オフィスアワーは、授業終了後教室で行います。					

和太鼓（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：藤井 久美子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	まず和太鼓を打つことで、日本の伝統音楽の響きに慣れ豊かなリズム感や拍子感を養い、楽しい遊びや豊かな身体表現ができるようになり、和楽器のアンサンブルを楽しみ即興演奏や即興伴奏ができるまでの音楽的能力を養いたい。					
授業方法	ペアを組みお互い向かい合っって一つの太鼓を打ち合い指導教員の打ち方を見ながら打法等を身につける。					
到達目標	1. [知識・理解] 和太鼓の歴史や太鼓の種類、打法についての必要な知識を身につけることができる。() 2. [思考・判断・表現] その曲に適した打法や躍動感のある表現能力を身につけることができる。() 3. [技能] 和太鼓をしっかりと打ち込み、正しいリズム感や拍子感を身につけることができる。() 4. [関心・意欲・態度] 意欲的に練習して、仲間とアンサンブルを楽しむことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	5	5	50	-	60
	ステージ発表	-	5	10	5	20
	創作（作曲）	-	5	5	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	5	15	65	15	100
成績評価と割合	実技試験 60%、ステージ発表 20%、創作 10%、受講態度(毎時間の和太鼓に対する取り組み意欲) 10%の合計100%で評価します。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な楽譜は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	日本太鼓の歴史と鼓道・種類・知識 ムチャクチャ乱打、握りが決め手 パチに慣れよう [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
2	日本太鼓の打法・太鼓の楽譜に慣れよう 唱歌演奏 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
3	基礎練習 基本リズムに慣れよう [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
4	基礎練習 やさしい・楽しい・美しいわらべ歌で遊ぼう [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
5	基礎練習 やさしい・楽しい・美しいわらべ歌で遊ぼう [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
6	和楽器のアンサンブル練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
7	和楽器のアンサンブル練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
8	和楽器による即興演奏への導入 和楽器のアンサンブルと即興演奏・和太鼓作曲 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
9	オリジナル曲(1)練習 セット打ち 唱歌演奏 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
10	オリジナル曲(1)練習 リズム練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
11	オリジナル曲(1)練習 構え・打ち込み [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
12	オリジナル曲(1)練習 パチさばき・打ち込み [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
13	オリジナル曲(1)練習 音の表現・打ち込み [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
14	オリジナル曲(1)練習 身体表現・打ち込み [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
15	オリジナル曲(1)まとめ 発表会 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
時間外での学習	毎日のストレッチと授業で行ったオリジナル曲の見直し練習。					
受講学生へのメッセージ	誰でも叩けば音が出る和太鼓。でも打ち方は千差万別。自分がイメージした音を自由に出せる楽器です。とにかく力を抜いてリラックスして自分の音を追及してみてください。オフィスアワーは、非常勤講師控室で授業前の時間です。					

和太鼓（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：藤井 久美子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	まず和太鼓を打つことで、日本の伝統音楽の響きに慣れ豊かなリズム感や拍子感を養い、楽しい遊びや豊かな身体表現ができるようになり、和楽器のアンサンブルを楽しみ即興演奏や即興伴奏ができるまでの音楽的能力を養いたい。					
授業方法	ペアを組みお互い向かい合っって一つの太鼓を打ち合い指導教員の打ち方を見ながら打法等を身につける。					
到達目標	1. [知識・理解] 和太鼓の歴史や太鼓の種類、打法についての必要な知識を身につけることができる。() 2. [思考・判断・表現] その曲に適した打法や躍動感のある表現能力を身につけることができる。() 3. [技能] 和太鼓をしっかりと打ち込み、正しいリズム感や拍子感を身につけることができる。() 4. [関心・意欲・態度] 意欲的に練習して、仲間とアンサンブルを楽しむことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	5	5	50	-	60
	ステージ発表	-	5	10	5	20
	創作（作曲）	-	5	5	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	5	15	65	15	100
成績評価と割合	実技試験 60%、ステージ発表 20%、創作 10%、受講態度(毎時間の和太鼓に対する取り組み意欲) 10%の合計100%で評価します。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な楽譜は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	基礎練習 基本リズムをこなそう [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
2	和楽器のアンサンブルと即興演奏 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
3	和楽器のアンサンブルと和太鼓譜作曲 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
4	オリジナル曲()練習 ペアのアンサンブル曲『風の舞』 第一部リズム練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
5	オリジナル曲()練習 第二部リズム練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
6	オリジナル曲()練習 第三部リズム練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
7	オリジナル曲()練習 全体通しリズム練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
8	オリジナル曲()練習 構え・打ちこみ [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
9	オリジナル曲()練習 パチさばき・打ちこみ [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
10	オリジナル曲()練習 音の表現・打ちこみ [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
11	オリジナル曲()練習 身体表現・打ちこみ [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
12	オリジナル曲()練習 三宅打ち リズム練習 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
13	オリジナル曲()練習 構え・打ちこみ [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
14	オリジナル曲()練習 パチさばき・打ちこみ [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
15	オリジナル曲()まとめ 発表会 [準備・課題]学んだ内容を復習する(1~2h)					
時間外での学習	毎日のストレッチと授業で行ったオリジナル曲の見直し練習。					
受講学生へのメッセージ	誰でも叩けば音が出る和太鼓。でも打ち方は千差万別。自分がイメージした音を自由に出せる楽器です。とにかく力を抜いてリラックスして自分の音を追及してみてください。 オフィスアワーは、非常勤講師控室で授業前の時間です。					

津軽三味線（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：松原 榮						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	3日本古来の三味線について学びます。非常に難しいとされている楽器です。易しい曲でも曲になり音楽療養法コースの実習に役立てるように学びます。					
授業方法	実技形式で行う。授業のなかで津軽三味線をテーマとした講義を交えながら行う。					
到達目標	1. [知識・理解] 三味線の基本的な知識とルーツ、曲の種類について理解している。() 2. [思考・判断・表現] 三味線の基本的な演奏技術を身につけている。() 3. [技能] 社会に必要なコミュニケーション能力や基本の技術を身につけることができる。() 4. [関心・意欲・態度] 課題に関心を持ち、積極的に努力しながら学修に取り組んでいる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	10	10	20	10	50
	受講態度	10	10	20	10	50
	合計	20	20	40	20	100
成績評価と割合	実技試験 50%、受講態度 50% の 合計 100% で評価します。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	授業内でプリントを配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	三味線の持ち方 バチの握り方 音の出し方 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
2	童謡 春よ来い・ひな祭り・背いくらべ・茶つみ [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
3	民謡 黒田節・草津節・炭坑節 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
4	系の調弦 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
5	童謡 復習 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
6	民謡 復習 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
7	津軽引き リンゴ節 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
8	津軽六段（一段・二段・三段） [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
9	童謡 復習 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
10	民謡 復習 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
11	津軽六段 復習 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
12	津軽六段（四段・五段・六段） [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
13	12回迄の学習のまとめ [準備・課題]総合的な学習した内容の復習(1h)					
14	12回迄の学習のまとめ [準備・課題]総合的な学習した内容の復習(1h)					
15	12回迄の学習のまとめ [準備・課題]総合的な学習した内容の復習(1h)					
時間外での学習	配布された譜面で学習し、バチは毎日持ってください。					
受講学生へのメッセージ	和の楽器をとおして、日本の文化を身につけるきっかけとしてください。オフィスアワーは講義終了後教室で行います。					

津軽三味線（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：松原 榮						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期に修得したテクニックを発展させ、津軽三味線の練習曲を演奏出来るようにします。もちろん復習はかせません。					
授業方法	全体のための練習ばかりでなく 少数の人数でお互いの練習をします。					
到達目標	1. [知識・理解] 楽器、曲を理解して演奏できる。() 2. [思考・判断・表現] 学んだ曲の中から自分一人で演奏することが出来る。() 3. [技能] 前期に修得した技術を発展させ、練習曲が演奏することが出来る。() 4. [関心・意欲・態度] 学修内容に関心を持ち、意欲的に取り組んで演奏できる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	10	10	20	10	50
	受講態度	10	10	20	10	50
	合計	20	20	40	20	100
成績評価と割合	実技試験 50%、受講態度 50% の合計100% で評価します。					
テキスト	授業内でプリントを配布します。					
参考書・教材	授業内でプリントを配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	前期の復習 [準備・課題]前期に学習した内容の復習(1h)					
2	津軽六段(二段・三段) [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
3	津軽六段(二段・三段) [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
4	津軽六段(二段・三段) [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
5	前回の復習 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
6	民謡 武田節・郡上かわさき [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
7	民謡 武田節・郡上かわさき [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
8	前回の復習 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
9	津軽ジョンカラ新節 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
10	津軽ジョンカラ新節 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
11	津軽ジョンカラ新節 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
12	津軽ジョンカラ新節 [準備・課題]学習した内容の復習(1h)					
13	まとめ [準備・課題]総合的なまとめの復習(1h)					
14	まとめ [準備・課題]総合的なまとめの復習(1h)					
15	まとめ [準備・課題]総合的なまとめの復習(1h)					
時間外での学習	譜面をみて学び、パチは毎日持ってください。					
受講学生へのメッセージ	三絃の糸で音色を作り 右手のパチでリズムを 左手の指で旋律を作って初めて音楽になる楽器です。自分で曲を作ることも出来ます。楽しんでください。オフィスアワーは講義終了後教室にて行います。					

作譜	音楽総合学科		2年前期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	ピアノ、吹奏楽における楽譜は現在では殆どが楽譜製作ソフトによって作成されています。この授業では、自ら作曲した楽譜、または録音から起した楽譜を第三者が見てもわかりやすい楽譜を作成できるように学習します。 DTMソフトのシステムを理解し、ピアノ譜、吹奏楽等のスコアといった基本的な楽譜の製作をコンピュータによって行います。 学習する主なソフトはフィナーレを使用します。					
授業方法	DTMソフトのシステムの概要を理解した上で、コンピュータによる楽譜の打ち込みを学習していきます。					
到達目標	1.[知識・理解] DTMソフトのシステムを理解し、基本的な操作ができ演奏者が使用できるスコア、パート譜の製作ができる。() 2.[思考・判断・表現] 見た目の美しい楽譜のレイアウトを構築できる。() 3.[技能] 各ジャンルの譜表の様式を理解し作譜ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 手書き譜の浄書など演奏者がより使用しやすい美しい楽譜の作成ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	20	20	10	-	50
	課題提出	20	20	-	-	40
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	40	40	10	10	100
成績評価と割合	試験(期末の技能試験) 50%、課題提出 40%、受講態度(普段の授業の取り組み) 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、授業の進め方、授業の内容等 [準備・課題] DTMについて調べる(1h)					
2	基礎知識1 DTMソフトの概要 [準備・課題] DTMについて調べる(1h)					
3	基礎知識2 各種ソフト 小テスト [準備・課題] フィナーレについて調べる(1h)					
4	使用機械の説明 周辺機器の基本的な操作方法 [準備・課題] フィナーレについて調べる(1h)					
5	フィナーレの概要 [準備・課題] フィナーレについて調べる(1h)					
6	基本的な入力方法 貼り付け [準備・課題] 本時学習内容の復習(3h)					
7	基本的な入力方法 貼り付け 課題制作1 ピアノ譜の作成 [準備・課題] 本時学習内容の復習(3h)					
8	基本的な入力方法 課題制作2 ピアノ譜の作成 仕上げ [準備・課題] 本時学習内容の復習(3h)					
9	ステップ入力 ショートカットなど [準備・課題] 本時学習内容の復習(3h)					
10	ステップ入力 課題制作1 総譜の作成 [準備・課題] 本時学習内容の復習(3h)					
11	ステップ入力 課題制作2 総譜の作成 [準備・課題] 本時学習内容の復習(3h)					
12	ステップ入力 課題制作3 総譜の作成 仕上げ [準備・課題] 本時学習内容の復習(3h)					
13	応用編 その他の入力方法 リアルタイム入力等 [準備・課題] 試験内容の予習(3h)					
14	試験対策1 [準備・課題] 試験内容の予習(3h)					
15	試験対策2 [準備・課題] 試験内容の予習(3h)					
時間外での学習	授業内で課題が完成できない場合は各々で時間を作って仕上げてください。					
受講学生へのメッセージ	短期間に修得するためには、経験が重要になります。そのためかなりの作業量となりますので、本当に覚えたいという気持ちがある人のみ受講してください。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

生涯スポーツ		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：日比 千穂						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	メディアの発展に伴い、社会環境や生活環境も目まぐるしく変化してきました。その中においても、健康に対する意識や関心がより一層高まり、生涯にわたって気軽に運動や活動ができるレクリエーションの役割が大きくなってきています。そこで、レクリエーションの知的理解と多方面からアプローチできる力を身につけていきます。					
授業方法	内容に合わせて、教室を使った講義形式と、体育館を利用したレクリエーション実技を行います。講義・実技共に、指導者としての役割を学ぶために「ロールプレイ」「グループ討議」「発表」の形式を交えます。また、生涯スポーツやレクリエーション活動の事業現場へ出かけ実技を行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 生活環境の変化を学び、レクリエーション活動の重要性を理解する。() 2.[思考・判断・表現] 体力・年齢の変化に応じたレクリエーション技能を習得し支援することができる。() 3.[技能] 環境の変化に気づき、目的に応じたレクリエーション活動が提供できる。() 4.[関心・意欲・態度] レクリエーション活動を通じ、様々な場面で誰とでも笑顔でふれあうコミュニケーションを意識できる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記小テスト	20	-	-	-	20
	実技試験	10	-	10	-	20
	発表(グループ発表含む)	-	10	-	10	20
	レポート	-	10	-	-	10
	自己評価	-	-	5	10	15
	受講態度	-	-	5	10	15
合計	30	20	20	30	100	
成績評価と割合	筆記小テスト(1回) 20%、実技試験(1回) 20%、発表(個人1回・グループ1回) 20%、レポート(2回) 10%、自己評価(毎回) 15%、受講態度 15% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『レクリエーション支援の基礎』(公財)日本レクリエーション協会 『楽しいアイスブレイキングゲーム集』(公財)日本レクリエーション協会(売店で購入してください)					
参考書・教材	1年次のテキストを使用します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	「生涯スポーツ」とは何かを理解する。 [準備・課題]地域でされているスポーツには何があるか調べる。(0.5h)					
2	ライフスタイルとレクリエーションの関わりを理解する。 [準備・課題]自分の家族構成をまとめ平日と休日のライフスタイルをまとめる。(0.5h)					
3	少子高齢社会の課題とレクリエーションの関わりを理解する。 [準備・課題]大垣市家庭教育推進事業とは何か調べる。(0.5h)					
4	地域の抱える課題とレクリエーション [準備・課題]各地域に伝わる伝統行事または地域の行事について調べる。(0.5h)					
5	レクリエーション事業とは何か？ [準備・課題]子どもがアクティブに学べる活動はどんなものがあるか調べる。(0.5h)					
6	事業計画 (個人へのアプローチ) [準備・課題]各ライフステージにおける課題は何か(0.5h)					
7	事業計画 -1(市民へのアプローチ)と全国一斉あそびの日のコーナー実践にむけて具体的に計画 [準備・課題]全国一斉あそびの日は、全国でどのようなことがなされているか(1h)					
8	6月10日(日)全国一斉あそびの日in大垣 市民活動の実際 [準備・課題]当日の動きについて確認(0.5h)					
9	6月10日(日)全国一斉あそびの日 in大垣 市民活動の支援と運営 [準備・課題]当日準備確認(0.5h)					
10	6月10日(日)全国一斉あそびの日in大垣 参加者への的確な指示・支援 [準備・課題]当日、参加者への配慮の確認(0.5h)					
11	環境と安全管理 [準備・課題]全国一斉あそびの日報告書提出(0.5h)					
12	対象者に合わせたレクリエーション [準備・課題]ライフスタイルとレクリエーションの関わりについて復習(0.5h)					
13	ホスピタリティとは [準備・課題]軽スポーツ種目について調べ提出する。(0.5h)					
14	本講義内容の理解度(筆記小テスト)アイスブレイキング・ゲームの指導を通じた指導者の心得を知り、次時の実技試験にむけて準備する。 [準備・課題]軽スポーツ種目について調べたものの発表準備。本時までの内容を見直す(2h)					
15	「楽しいアイスブレイキング集」よりゲーム指導を1人1種目行う。(実技試験) [準備・課題]実技試験にむけて心得を踏まえた指導練習(2h)					
時間外での学習	(特非)岐阜県レクリエーション協会(特非)大垣市レクリエーション協会など地域レクリエーション協会主催事業に積極的に参加。市民活動事業の現場でスタッフや参加者として関わり、社会貢献の実践を体験する。(事前に参加手続きを各自で行なう)参加報告を作成提出すること。					
受講学生へのメッセージ	服装はTPOに合わせる事が大切です。学習内容に合わせてふさわしい服装を心がけてください。現場での実践につながるよう明るい表情やわかりやすい表現方法を学んでいきます。授業内容が会場・物品の都合で前後することもあります。オフィスアワーは、授業後10分間とします。					

生涯スポーツ	音楽総合学科		2年後期			
	1単位		演習	30時間		
[教員]：日比 千穂						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	人づくり・町づくりのキーワードは、コミュニケーションです。親子も高齢者もコミュニケーションを高め、体力維持・増進の目的で生涯スポーツを楽しむ人々が増加しています。幅広い年齢層で楽しむことのできるスポーツやレクリエーションが生まれ、親しまれています。そこで、コミュニケーションを深めるためのゲームやニュースポーツを中心に福祉レクリエーションの要素を取り入れながら実践します。また、さまざまなアクティビティに関する知的理解と指導法の習得について学びます。					
授業方法	体育館にてニュースポーツやゲーム・ソング・ダンスの実技・指導演習を行う。					
到達目標	1. [知識・理解] 年齢や体力・技能を考慮した活動を理解する。() 2. [思考・判断・表現] 発達特性を生かした指導計画が作成できる。() 3. [技能] ゲームの特性を理解し、楽しいの伝達ができる。() 4. [関心・意欲・態度] 積極的に関わり合いを持ち、社会に貢献する姿となることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	5	-	5	10	20
	自己評価	10	-	10	-	20
	受講態度	-	10	-	20	30
	レポート	-	10	-	-	10
	発表(グループ発表含む)	5	-	5	10	20
合計	20	20	20	40	100	
成績評価と割合	実技試験 20%、自己評価(毎回) 20%、受講態度 30%、レポート(2回) 10%、発表 20% の合計100%で評価します。					
テキスト	『レクリエーション支援の基礎』(公財)日本レクリエーション協会 『楽しいアイスブレイキングゲーム集』(公財)日本レクリエーション協会					
参考書・教材	1年に購入したテキストを利用します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	資格取得にむけたガイダンスとコミュニケーションゲーム、レクリエーション・フェスティバルにむけて「準備・課題」レクリエーション資格を活用できる場面を想定してみる。(0.5h)					
2	9月30日(土) [岐阜メモリアリセンター] 岐阜県レクリエーションフェスティバル 市民による活動の実際「準備・課題」担当コーナーの準備確認(0.5h)					
3	9月30日(土) [岐阜メモリアリセンター] 岐阜県レクリエーションフェスティバル 軽スポーツ・レクリエーションなど多様な体験「準備・課題」事前配布チラシにある種目について調べる。(0.5h)					
4	9月30日(土) [岐阜メモリアリセンター] 岐阜県レクリエーションフェスティバル 参加者への支援の実際「準備・課題」年齢やグループに応じた対応を考える(0.5h)					
5	目的に合わせたレクリエーション・ワーク(ベタンク)「準備・課題」岐阜県レクリエーションフェスティバル報告書提出(0.5h)					
6	目的に合わせたレクリエーション・ワーク(ラダーゲッター)「準備・課題」既習の軽スポーツのルールを振り返る(0.5h)					
7	活動領域に合わせたアクティビティ(ネイチャー・ゲーム)「準備・課題」既習のアクティビティを振り返る(0.5h)					
8	対象に合わせたレクリエーション・ワーク(キンボール)「準備・課題」既習の軽スポーツのルールを振り返る(0.5h)					
9	対象に合わせたレクリエーション・ワーク(乳幼児・親子編)「準備・課題」既習の軽スポーツのルールを振り返る(0.5h)					
10	グループ・コミュニケーションの指導(ダンス・ソング)「準備・課題」既習のアクティビティを振り返る(0.5h)					
11	指導演習(チャレンジ・ザ・ゲーム種目理解)「準備・課題」チャレンジ・ザ・ゲームについて振り返りをする(0.5h)					
12	行事とレクリエーション(クリスマス会 準備)「準備・課題」クリスマス会の担当内容を決める。(0.5h)					
13	行事とレクリエーション(クリスマス会 発表)「準備・課題」クリスマス会の担当が円滑に進むように練習(1.0h)					
14	指導演習(チャレンジ・ザ・ゲームの指導と実践)実技試験Aグループ「準備・課題」チャレンジ・ザ・ゲームについて振り返りをする(0.5h)					
15	指導演習(チャレンジ・ザ・ゲームの指導と実践)実技試験Bグループ「準備・課題」チャレンジ・ザ・ゲームについて振り返りをする(0.5h)					
時間外での学習	(特非)岐阜県レクリエーション協会(特非)大垣市レクリエーション協会など地域レクリエーション協会主催事業に積極的に参加。市民活動事業の現場でスタッフや参加者として関わり、社会貢献の実践を体験する。 (事前に参加手続きを各自で行なう)参加報告作成提出すること。					
受講学生へのメッセージ	スポーツ要素を多く含む激しい動きもあります。活動しやすい服装(体育館シューズ・スカート不可)で積極的に参加し、現場での実践につながるよう明るい表情やわかりやすい表現方法を学んでいきます。体育館の利用状況や種目道具の使用状況で授業内容の入れ替えがあります。オフィスアワーは、授業後10分間とします。					

保育臨床相談		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：茂木 七香						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	保育や教育を行う際、主となる活動を支えるための臨床相談という仕事があります。この授業では、子どもや保護者など、対象となる相手を理解し適切な援助をするための基本的な心構えや、実際に役立つ技法について学びます。特にカウンセリング的アプローチの一つであるピアヘルピングについて、臨床現場や日常生活の中で実際に使える技法を身に着けます。また、自分自身の理解やケアにも重点を置きます。					
授業方法	講義形式で基本的な知識を説明した後、ワークシートやペアワークを取り入れた実習的な内容に取り組んでもらいます。					
到達目標	1. [知識・理解] 対象に応じた援助を行うために必要となる知識を修得することができる。() 2. [思考・判断・表現] 対象の発言や行為の持つ意味に気づき、それらを分析・判断し実践に生かそうとする。() 3. [技能] 対象を適切に援助するために必要な技術を身につけることができる。() 4. [関心・意欲・態度] 自らの実践を振り返り常に資質能力の向上を図ろうとする。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	課題提出	10	10	-	10	30
	レポート	-	10	10	10	30
	受講態度	10	10	10	10	40
	合計	20	30	20	30	100
成績評価と割合	課題提出30%、レポート30%、受講態度40%の合計100%で評価します。欠席は減点とし、全体の3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	教科書は使用しません。授業中に資料を配布します。					
参考書・教材	授業中に適宜紹介します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	イントロダクション：臨床とは 教育相談の位置づけ 対象を理解すること [準備・課題]この授業で学びたい内容、なりたい姿を具体的に挙げる。(2~3h)					
2	基本的な心構え：ノンバーバルコミュニケーション ノンバーバル情報の意味 コミュニケーション体験 [準備・課題]日常場面の身近な他者のやりとりの中で、ノンバーバルコミュニケーションがどのように行われているかを観察する。(2~3h)					
3	基本的な心構え：エンカウンター 他者との出会い エンカウンター体験 [準備・課題]今日であった相手と、自分の新たな面について気づいたことをまとめる。(2~3h)					
4	自己理解：自己としての自分 セルフイメージ 名前の印象 [準備・課題]自分自身のとらえ方は、発達段階を経て変化したかどうか、小さいころのことを振り返ってみる。(2~3h)					
5	自己理解：社会の中の自分 他者から見た自分 他者と関わる自分 [準備・課題]他者から見た自分と自分がとらえている自分の姿には違いがあったかどうか、それはなぜかを考えてまとめる。(2~3h)					
6	相談技法：ピアヘルピング ピアヘルピングについて 非言語的技法 カウンセリングとは [準備・課題]カウンセリングやピアヘルピングは、臨床現場のどのような場面で用いることができるか考える。(2~3h)					
7	相談技法：ピアヘルピング カウンセリングの歴史 カウンセリング技法(受容 繰り返し) [準備・課題]日常場面での友達とのやりとりを、本授業で習った技法で言い換えてみる。(2~3h)					
8	相談技法：ピアヘルピング カウンセリング技法(支持・質問) [準備・課題]日常場面での友達とのやりとりを、本授業で習った技法で言い換えてみる。(2~3h)					
9	相談技法：ピアヘルピング 諸問題への対応(リファ、コンカッション、ケースワーク、具申、ピアス-パ-ビジョン) [準備・課題]これらの対応法から一つあげ、具体的な例を創作する。(2~3h)					
10	相談技法：ピアヘルピング 課題 事例 [準備・課題]身近な人とのかかわりの中から、ピアヘルピングが有効な例を見つける。(2~3h)					
11	対象理解の方法：心理療法(遊戯療法、箱庭療法、描画法) [準備・課題]このような療法ではわからないのはどのような面か、具体的に挙げてみる。(2~3h)					
12	対象理解の方法：心理検査(性格検査、認知機能検査 検査に取り組む態度) [準備・課題]このような検査法ではわからないのはどのような面か、具体的に挙げてみる。(2~3h)					
13	臨床事例 遊びの表すもの(映画の一場面から) [準備・課題]映画の場面を見て気づいたこと・考えたことをまとめる。(2~3h)					
14	臨床事例 障がいをつえる視点(映画の一場面から) [準備・課題]映画の場面を見て気づいたこと・考えたことをまとめる。(2~3h)					
15	メンタルヘルス：援助者自身のケア [準備・課題]自分自身の今の心の状態をみつめ、不調を感じる要因をあきらかにする。(2~3h)					
時間外での学習	その日に授業で習った内容・技法などを踏まえて、新たな目で身の回りを見てみてください。人と人とのコミュニケーションが、今までとは違って見ることと思います。それが授業の復習になります。					
受講学生へのメッセージ	授業の中で学んだ技法は、臨床や日常生活でも実践できるものばかりです。例年12月に行われる日本教育カウンセラー協会の「ピアヘルパー資格試験」にもチャレンジしてみてください。オフィスアワーは毎週火曜日の10:30-12:30、ぜひ気軽に話しに来てください。					

社会福祉		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：堀江 法夫						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	少子高齢化の社会にあって社会福祉は全ての人にとって大切なテーマです。限られたマンパワーや財源という社会資源の中で高齢者や子どもたちの命が守られていくにはどうしたらいいのか。社会福祉のこれまでと現在の課題を学んでいきます。					
授業方法	講義を中心として基礎的知識を学び、そのうえでできる限りみんなで考えを深めていきます。					
到達目標	1.[知識・理解] 社会福祉の歴史と実践について基本的な知識と理解を深めるようにする。() 2.[思考・判断・表現] 社会が激変する中で生活のしづらさを思考、判断、表現できるようになる。() 3.[技能] 福祉の実践の場でアプローチしていく専門的な技能を深めるようになる。() 4.[関心・意欲・態度] 共通の福祉課題に積極的に関心を持ち取り組むことができるようになる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	30	10	20	-	60
	レポート自己評価	5	5	15	5	30
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	35	15	35	15	100
成績評価と割合	筆記試験60%、レポート自己評価(毎回)30%、受講態度10% 合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した者には単位を与えない。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	必要な資料は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	社会福祉を学ぶにあたって：これまでの社会の変遷と現代の生活課題について考えよう。 [準備・課題]社会福祉は私たちの生活の中でどのような関係があるのかを考えておこう。(3h)					
2	社会福祉の考え方と役割：保育を含む社会福祉の視点と目的を考えよう。 [準備・課題]社会福祉の考えはどのようにして生まれてきたのかを考えておこう。(3h)					
3	社会福祉の歴史：欧米と日本の福祉についてこれまでのあゆみを理解しておこう。 [準備・課題]特に資本主義社会の発展との関係で考えておこう。(3~6h)					
4	社会保障とは何か：社会保険や生活保護について理解しておこう。 [準備・課題]社会保険の種類と生活保護の考えを調べておこう。(3h)					
5	社会福祉のしくみ：高齢者福祉と障害者福祉のしくみと法制度について理解しておこう。 [準備・課題]介護保険法と障害者総合福祉法について調べておこう。(3h)					
6	社会福祉の実施機関と行財政：福祉事務所と社会福祉法人について理解しておこう。 [準備・課題]児童相談所、福祉事務所、社会福祉協議会、社会福祉法人について調べておこう。(3h)					
7	社会福祉施設：社会福祉施設の種類や運営の基準について理解しておこう。 [準備・課題]社会福祉施設の種類や利用方法について調べておこう。(3h)					
8	子どもの福祉：子どもの人権と児童家庭福祉について考えよう。 [準備・課題]子供の福祉と向き合うにはどのような視点が必要か考えてみよう。(3h)					
9	社会福祉の専門職：社会福祉専門職の専門性と倫理について考えよう。 [準備・課題]社会福祉の専門職としての資格はなぜ必要か考えてみよう。(3h)					
10	相談援助の意味と方法：ソーシャルワークの視点と展開過程について考えよう。 [準備・課題]保育士を含むソーシャルワークの実際について考えてみよう。(3h)					
11	福祉サービスの利用支援：契約制度と適切な利用支援について理解しておこう。 [準備・課題]その人にマッチした支援とは何かを考えてみよう。(3h)					
12	権利擁護と苦情解決：権利擁護の意味と苦情解決のしくみについて理解しておこう。 [準備・課題]権利擁護と苦情解決はなぜ必要になってきたのかを考えてみよう。(3h)					
13	地域福祉の推進：地域福祉の理念と推進の方法について考えよう。 [準備・課題]地域福祉が必要になってきた過程について考えてみよう。(3h)					
14	他分野との連携とネットワーク：保健や教育等との連携とネットワークについて考えよう。 [準備・課題]子育て支援をどのようにして作っていくのかを考えてみよう。(3~6h)					
15	保育士のこれから：社会福祉専門職としての保育士のあり方を考えよう。 [準備・課題]自分の福祉専門職について、これまでの学びから考えをまとめてみよう。(3~6h)					
時間外での学習	社会福祉の専門職は保育士や介護福祉士等があります。共通点と相違点を考えてみよう。					
受講学生へのメッセージ	子育て環境は変化し、専門職として社会福祉の基礎的理解が大切です。一緒に考えていきましょう。オフィスアワーは毎週火曜日、12:10から12:30です。					

臨床における即興技法（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：小西 文子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	音楽療法の実践場面で対象者の心身の状態や行動、音楽の好みなどに合わせ臨機応変に音楽を提供することができるよう、鍵盤楽器演奏の技術向上および基本的な即興技法を身につけることを目的とします。幅広いジャンルの曲に親しみ、旋律や和声の構造を分析します。音楽療法の目的に沿った作曲も学びます。					
授業方法	1人1台の電子ピアノに向かい、毎週呈示される課題をその場で練習、発表します。シラバスに明示した課題の他、ほぼ毎回さぐり弾き（譜面を見ずに演奏）が、コード付けの課題が出されます。					
到達目標	1.[知識・理解] 知っている曲は譜面がなくても簡単なメロディーとコードをつけて演奏することができる。() 2.[思考・判断・表現] 演歌風、民謡風、軍歌風など、曲調にあったアレンジで伴奏をつけることができる。() 3.[技能] 知らない曲のメロディーに簡単なコードをつけて伴奏することができる。() 4.[関心・意欲・態度] 対象者に合わせたテンポ、リズムパターン、音量に合わせた即興演奏ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	10	10	20	-	40
	発表	20	20	10	-	50
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	30	30	30	10	100
成績評価と割合	試験 40%、発表 50%、受講態度 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生、課題の発表がない学生には単位を与えません。					
テキスト	授業内で指示します。					
参考書・教材	授業内で指示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	対象者に合わせるための練習1： 対象者を見ながら演奏する、対象者に合わせて歌う練習、1度と5度のベルを使う、さぐり弾き課題 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
2	対象者に合わせるための練習2： 対象者に合わせる課題、短調の曲を1度と5度のベルを使い演奏する、さぐり弾き課題 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
3	ペントニック：自由に即興演奏をするための練習、F#ペントニックを使った作曲 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
4	さまざまなペントニック：ペントニックの曲に和音をつける [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
5	主要三和音の伴奏づけ（長調） [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
6	主要三和音の伴奏づけ（短調） [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
7	主要三和音の即興的な使い方 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
8	主要三和音と一緒に演奏を終わる練習 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
9	基本拍を促す演奏1：既成曲の基本拍 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
10	基本拍を促す演奏2：太鼓とピアノの即興、基礎 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
11	基本拍を促す演奏3：太鼓とピアノの即興、応用 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
12	基本拍を促す演奏4：太鼓とピアノのテンポ変化 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
13	基本拍を促す演奏5：太鼓、シンバルとピアノの即興課題 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
14	さまざまな伴奏パターンを学ぶ 民謡 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
15	さまざまな伴奏パターンを学ぶ 軍歌 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
時間外での学習	授業で呈示された課題が身につくまで、各自が練習してください。					
受講学生へのメッセージ	即興演奏はその場で演奏するものですが、蓄積が必要です。授業内で行った課題で不得手なものがあれば克服にむけて自主練習してください。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週木曜日の13：00～14：30です。					

臨床における即興技法（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：小西 文子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	音楽療法の実践場面で対象者の心身の状態や行動、音楽の好みなどに合わせ臨機応変に音楽を提供することができるよう、鍵盤楽器演奏の技術向上および基本的な即興技法を身につけることを目的とします。幅広いジャンルの曲に親しみ、旋律や和声の構造を分析します。音楽療法の目的に沿った作曲も学びます。					
授業方法	1人1台の電子ピアノに向かい、毎週呈示される課題をその場で練習、発表します。シラバスに明示した課題の他、ほぼ毎回さぐり弾きかコード付けの課題があります。					
到達目標	1. [知識・理解] 既成曲を音楽療法の目的に合わせて編曲することができる。 () 2. [思考・判断・表現] 音楽療法セッションで用いる体操や動きに即興で伴奏をつけることができる。 () 3. [技能] セッションの目的に沿った簡単な曲を即興で作ることができる。相手に合わせた即興演奏の伴奏ができる。 () 4. [関心・意欲・態度] 障がいを持つ人がつくる詞に曲をつけることができる。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	20	10	10	-	40
	発表	20	10	10	-	40
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	40	20	20	20	100
成績評価と割合	試験 40%、発表 40%、受講態度 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生、課題の発表を行わなかった学生には単位を与えません。					
テキスト	授業内で指示します。					
参考書・教材	授業内で指示します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	さまざまな伴奏パターンを学ぶ：演歌 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
2	目的に合わせて作曲する1：リラックス体操の伴奏 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
3	目的に合わせて作曲する2：タオル体操の伴奏 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
4	目的に合わせて作曲する3：嚙下体操の伴奏 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
5	目的に合わせて作曲する4：「待つ」ための曲を作る [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
6	目的に合わせて作曲する5：動きを促す音楽の作曲 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
7	目的に合わせて作曲する6：気持ちを表す音楽の作曲 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
8	目的に合わせて作曲する7：言葉や詩に曲をつける [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
9	1音のためのアレンジ、1音のための作曲 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
10	ミュージックベルのアンサンブル編曲 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
11	モード（旋法）と慣用的な表現 ドリアンのスケール [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
12	モード（旋法）と慣用的な表現 リディアン、中近東のスケール [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
13	モード（旋法）と慣用的な表現 スペイン風音階 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
14	モード（旋法）と慣用的な表現 民謡音階の即興 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
15	臨床における応用 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
時間外での学習	作曲や編曲の課題が宿題として出ますので、積極的に取り組んでください。課題が時間内に終了しなかった学生には補講を行います。					
受講学生へのメッセージ	臨床実習や、音楽療法士として働くにあたって一番役に立ったといわれている授業です。面倒な課題も多いですが将来の自分のために取り組んでください。オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週木曜日の13：00～14：30です					

音楽療法・臨床		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：小西 文子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	この授業では後期から始まる臨床実習に向けて、基礎となる力をつけることを目的とします。授業内容は大きくわけて2つに分かれます。まず、音楽療法全般に関する理論について学び、音楽療法を受ける対象となる人の病気、障害、心理特性などについての知識と、それぞれの対象に向けた実践の内容についてです。					
授業方法	講義形式ですが演習も含まれます。					
到達目標	1. [知識・理解] 音楽療法の臨床分野（児童・成人・高齢）それぞれについて、主要な目的と活動について理解、説明ができる。 () 2. [思考・判断・表現] 音楽の治療的使い方について説明ができる。 () 3. [技能] 音楽療法に関連のある心理療法の概略について理解、説明ができる。 () 4. [関心・意欲・態度] 目標に沿った音楽活動を発表できる。 () 対象者に即した課題を相手にわかりやすく工夫した形で発表することができる。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	30	30	-	-	60
	レポート	10	10	-	-	20
	発表	-	-	10	-	10
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	40	40	10	10	100
成績評価と割合	試験 60%、レポート 20%、発表 10%、受講態度 10% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、授業回数の1/3以上欠席した学生は受験資格がありません。課題発表、提出物のない学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	授業内でプリントを配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション 心理学の理論、心理学の歴史について概論 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
2	理論1：精神分析 無意識、防衛機能について 精神分析理論を用いた音楽療法について GIM、精神部分析的音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
3	理論2-1：行動療法 学習と強化について 臨床手段としての行動療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
4	理論2-2：行動療法を用いた音楽療法 目標設定と般化について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
5	理論3-1：人間主義 クライアント中心療法、カウンセリングについて 受容と共感 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
6	理論3-2：人間主義的音楽療法 創造的音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
7	中間テスト(授業1~6回の内容)、移調課題 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
8	中間テスト振り返り、精神科デイサービスにおける音楽活動1 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
9	精神科デイサービスにおける音楽活動2 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
10	精神科デイサービスにおける音楽活動3 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
11	グループプロセスについて、転移、逆転移について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
12	評価方法について1 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
13	評価方法について2 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
14	対象者のために音楽を調整する：移調、調性についておさらい [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
15	他職種との連携と音楽療法活動 [準備・課題]内容を振り返りまとめる(1~2h)					
時間外での学習	毎回宿題が出ますので準備をしてください。					
受講学生へのメッセージ	課題のレポート、練習問題の成績比率が成績評価に関係してきます。オフィスアワーは研究室(B403：B号館4階)で毎週木曜日の13:00~14:30です。					

音楽療法・技法		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		講義	30時間	
[教員]：小西 文子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	音楽療法士として必要な音楽技法や心理的援助方法、集団をまとめる方法についての知識を学びます。臨床の現場で発生する問題や課題について解決方法をクラス内で討議し、問題解決能力の向上をはかります。高齢者の音楽療法について主に学び、課外学習として施設での演習も行います。					
授業方法	講義形式ですが演習も含まれます。					
到達目標	1.[知識・理解] 音楽療法の技法について基本的な知識と理解ができています。() 2.[思考・判断・表現] 音楽療法に関連する分野についての基本的な知識を持ち、どの分野にどの技法が適しているか判断できる。() 3.[関心・意欲・態度] 様々な技法に関心を持ち学修に取り組むことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	30	20	-	-	50
	レポート	20	10	-	10	40
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	50	30	-	20	100
成績評価と割合	試験 50%、レポート 40%、受講態度 10% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。課題の発表を行わない学生には単位を与えません。					
テキスト	授業中にプリントを配布します。					
参考書・教材	授業中にプリントを配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	標準化されたテストについて：かなひろい、MMSE、長谷川式について、実践と練習 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
2	長谷川式、MMSEについて実践発表、移調課題 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
3	高齢者施設における音楽療法1-1：計画 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
4	高齢者施設における音楽療法1-2：実践 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
5	高齢者施設における音楽療法1-3：振り返りと記録 段階的な働きかけについて1：歌唱について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
6	段階的な働きかけについて2：楽器活動について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
7	段階的な働きかけについて3：動作の指示について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
8	グループプロセス、指示出しの演習、倫理について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
9	介護予防における音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
10	神経学的音楽療法の概要 高齢者施設における音楽療法2-1：計画 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
11	高齢者施設における音楽療法2-2：実践 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
12	コミュニティ音楽療法、矯正施設における音楽療法 高齢者施設における音楽療法2-3：振り返り [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
13	リハビリテーションと音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
14	医療現場における音楽療法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
15	音楽療法を現場で実践するにあたっての業務、予算、計画申請などについて [準備・課題]内容を振り返りまとめる(1~2h)					
時間外での学習	毎週移調課題が出されます。宿題として評価の対象になります。					
受講学生へのメッセージ	教科書にある知識と、自分で考える能力の両方が現場では必要とされます。自分ならどうするのか、常に考えながら授業に臨んでください。オフィスアワーは研究室(B403:B号館4階)で毎週木曜日の13:00~14:30です。					

音楽療法実践3		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 日比 あけみ						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	高齢者施設での実践を通して対象者への理解をより深めるとともに、好ましい接し方や適切な働きかけ方を身につけます。					
授業方法	学内での演習および学外での実践。					
到達目標	1. [知識・理解] 目標に沿って適切な活動の組み立てを考えることができる。() 2. [思考・判断・表現] 全体の活動の流れを見通しながら、自分の役割に責任を持つことができる。() 3. [技能] 「高齢者から学ぶ」という謙虚な態度で実践に臨むことができる。() 4. [関心・意欲・態度] 活動を振り返ることで、どのような働きかけが望ましいのか考えることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実践発表	20	20	20	-	60
	受講態度	-	-	-	10	10
	レポート	-	-	-	20	20
	期末試験	10	-	-	-	10
	合計	30	20	20	30	100
成績評価と割合	実践発表60%、受講態度10%、レポート20%、期末試験10% の合計100%で評価します。					
テキスト	呉竹英一 編『歌の宝宝箱 手あそび歌付』ドレミ楽譜出版社					
参考書・教材	資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション(年間計画・課題の確認) [準備・課題]課題における目標設定(1~3h)					
2	アセスメントを目的とした施設訪問 [準備・課題]施設訪問における目標設定と振り返り(1~3h)					
3	高齢者施設での音楽活動 「高齢者理解」準備 [準備・課題]実践に向けての事前調査・個人練習(1~3h)					
4	高齢者施設での音楽活動 「高齢者理解」リハーサル [準備・課題]活動についての意見交換・見直し(1~3h)					
5	高齢者施設での音楽活動 「高齢者理解」実践 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
6	活動の振り返り [準備・課題]実践記録のまとめ(1~3h)					
7	高齢者施設での音楽活動 「目標設定」準備 [準備・課題]実践に向けての事前調査・個人練習(1~3h)					
8	高齢者施設での音楽活動 「目標設定」リハーサル [準備・課題]活動についての意見交換・見直し(1~3h)					
9	高齢者施設での音楽活動 「目標設定」実践 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
10	活動の振り返り [準備・課題]実践記録のまとめ(1~3h)					
11	高齢者施設での音楽活動 「働きかけ」準備 [準備・課題]実践に向けての事前調査・個人練習(1~3h)					
12	高齢者施設での音楽活動 「働きかけ」リハーサル [準備・課題]活動についての意見交換・見直し(1~3h)					
13	高齢者施設での音楽活動 「働きかけ」実践 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
14	活動の振り返り [準備・課題]実践記録のまとめ(1~3h)					
15	援助的人間関係について [準備・課題]対象者の心情を汲みとる(1~3h)					
時間外での学習	自分の担当になった活動は責任をもって準備してください。					
受講学生へのメッセージ	人前に立つには、心身ともに良好であることが大事です。いつも健康管理に気を配って実践現場に臨んでください。 オフィスアワーは授業終了後の30分間です。					

音楽療法実践4		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]： 日比 あけみ						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	対象者のポジティブな部分を大切に音楽活動を計画します。また、分野別・形態別に学ぶことで多様性のある働きかけ方を身につけます。					
授業方法	学内での演習。実践形式で行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 対象者のニーズに合った目標と活動の組み立てを考えることができる。() 2.[思考・判断・表現] 対象者の好みの歌を知り、弾き歌いができるようにする。() 3.[技能] 対象者の心情を汲みとりながら、活動を進めることができる。() 4.[関心・意欲・態度] 活動を振り返ることで、どのような働きかけ方が望ましいのか考えることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実践発表	20	20	20	-	60
	受講態度	-	-	-	10	10
	レポート	-	-	-	20	20
	期末試験	10	-	-	-	10
	合計	30	20	20	30	100
成績評価と割合	実践発表60%、受講態度10%、レポート20%、期末試験10% の合計100%で評価します。					
テキスト	『弾き語りキーボード・セッション(1) 音楽療法の必須100曲 高齢者編』あおぞら音楽社 『弾き語りキーボード・セッション(2) 音楽療法の必須100曲 子ども編』あおぞら音楽社 『弾き語りキーボード・セッション(3) 音楽療法の必須100曲 おとな編』あおぞら音楽社					
参考書・教材	資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション(年間計画の確認) 個人セッション(高齢者)の活動準備 [準備・課題]事前調査、計画(1~3h)					
2	個人セッション(高齢者)の練習 [準備・課題]練習、見直し(1~3h)					
3	個人セッション(高齢者)の発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
4	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
5	個人セッション(成人)の活動準備 [準備・課題]事前調査、計画(1~3h)					
6	個人セッション(成人)の練習 [準備・課題]練習、見直し(1~3h)					
7	個人セッション(成人)の発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
8	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
9	個人セッション(児童)の活動準備 [準備・課題]事前調査、計画(1~3h)					
10	個人セッション(児童)の練習 [準備・課題]練習、見直し(1~3h)					
11	個人セッション(児童)の発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
12	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
13	少人数グループセッションの活動準備および練習 [準備・課題]事前調査、計画、練習、見直し(1~3h)					
14	少人数グループセッションの発表 [準備・課題]イメージトレーニング、活動の確認、反省(1~3h)					
15	活動の振り返り [準備・課題]意見交換、実践記録のまとめ(1~3h)					
時間外での学習	様々なボランティア活動に参加し、人と多く関わることで柔軟性を身につけてください。					
受講学生へのメッセージ	いろいろな立場になって活動を進めます。お互いに気付いたことを伝え合える関係づくりに努めてください。 オフィスアワーは授業終了後の30分間です。					

臨床実習（事前・事後指導を含む）		音楽総合学科		2年後期		
		3単位		実習	135時間	
[教員]：小西 文子・日比 あけみ						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	音楽療法士資格取得のための臨床実習に向けた事前準備および実習後の資格申請手続きまでをこの時間内に行います。 実習前はセッション記録の取り方の復習、実践計画と準備を行います。実習終了後は実習期間中の振り返りや実習中に起きた問題をクラス内で共有するなど、1年生の授業において実習成果を発表するので、その準備もこの時間で行います。					
授業方法	講義形式、実習グループに分かれた計画の立案、練習、他グループの前での発表練習などを含みます。					
到達目標	1. [知識・理解] 対象者のアセスメントを行い目標を設定することができる。 () 2. [思考・判断・表現] 自分の行った活動について目的や内容を説明することができる。 () 3. [技能] 計画したグループセッションと個人セッションを実施して記録を取ることができる。 () 4. [関心・意欲・態度] 施設実習において関連職種やスタッフと十分に連携を取り実践活動が行える。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実習レポート	30	10	-	-	40
	実習評価	-	-	10	-	10
	実習態度	-	-	-	50	50
	合計	30	10	10	50	100
成績評価と割合	実習レポート 40%、実習評価 10%、実習態度 50% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	授業内でプリントを配布します。					
参考書・教材	授業内でプリントを配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	オリエンテーション：各実習施設の説明、希望施設の調査 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
2	実習記録の説明：記入方法 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
3	実習グループごとに分かれて音楽療法セッションの準備1 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
4	実習グループごとに分かれて音楽療法セッションの準備2 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
5	実習グループごとに分かれて音楽療法セッションの準備3 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
6	実習グループごとに分かれて音楽療法セッションの準備4 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
7	実習前の心構え：倫理について [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
8	音楽療法コース臨床実習 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
9	音楽療法コース臨床実習 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
10	実習を終えて：振り返りと施設ごとにお礼状作成 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
11	実習記録の整理：個人セッション報告書の作成 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
12	音楽療法士資格申請準備1：下書き [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
13	音楽療法士資格申請準備2：確認 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
14	1年生に向けた発表準備と計画 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
15	実習のまとめ、振り返り [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる（1～2h）					
時間外での学習	欠席すると実習グループの計画に差し支えますので、グループ内で連絡を取り合って、実習までの準備がすむように心がけてください。担当になった伴奏や準備は各自で責任を持って進めてください。					
受講学生へのメッセージ	自分自身が現場に出て音楽療法を業務の一環として実践できるかどうかは、この授業の取組にかかっています。苦手な事柄を克服できるように、各自課題を自覚して取り組んでください。 オフィスアワーは研究室（B403：B号館4階）で毎週木曜日の13：00～14：30です。					

ウインドアンサンブル (前期)		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		演習	60時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・野々垣 行恵						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。なお、演奏依頼があった場合、その練習になることがあります。					
授業方法	吹奏楽の合奏、各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションごとのレッスンが行われる。					
到達目標	1.[知識・理解] 吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式を理解する。() 2.[思考・判断・表現] 吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができる。() 3.[技能] 楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の要求に合った演奏ができる。長短すべてのスケール演奏が安定すること。() 4.[関心・意欲・態度] 個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	楽譜等その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]基礎の確認(3h~6h)					
2	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲配布・音だし [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
3	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲合奏 [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
4	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲仕上げ [準備・課題]楽曲1の復習(3h~6h)					
5	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 配布・音だし [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
6	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 合奏 [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
7	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1 仕上げ [準備・課題]楽曲2の復習(3h~6h)					
8	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 配布・音だし [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
9	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 合奏 [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
10	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2 仕上げ [準備・課題]楽曲3の復習(3h~6h)					
11	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 配布・音だし [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
12	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 合奏 [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
13	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3 仕上げ [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
14	試験課題曲配布・合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
15	試験課題曲合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
時間外での学習	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じてパート練習、セクション練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

ウインドアンサンブル (後期)		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	60時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・野々垣 行恵						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。なお、演奏依頼があった場合、その練習になることがあります。					
授業方法	吹奏楽の合奏、各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションごとのレッスンが行われる。					
到達目標	1.[知識・理解] 吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式を理解する。() 2.[思考・判断・表現] 吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができる。() 3.[技能] 楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の要求に合った演奏ができる。長短すべてのスケール演奏が安定すること。() 4.[関心・意欲・態度] 個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	楽譜等その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]基礎の確認(3h~6h)					
2	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲配布・音だし [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
3	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲合奏 [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
4	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲仕上げ [準備・課題]楽曲1の復習(3h~6h)					
5	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1配布・音だし [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
6	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1合奏 [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
7	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1仕上げ [準備・課題]楽曲2の復習(3h~6h)					
8	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2配布・音だし [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
9	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2合奏 [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
10	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2仕上げ [準備・課題]楽曲3の復習(3h~6h)					
11	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3配布・音だし [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
12	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3合奏 [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
13	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3仕上げ [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
14	試験課題曲配布・合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
15	試験課題曲合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
時間外での学習	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じてパート練習、セクション練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

ウインドアンサンブル (前期)		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。なお、演奏依頼があった場合、その練習になることがあります。					
授業方法	吹奏楽の合奏、各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションごとのレッスンが行われる。					
到達目標	1.[知識・理解] 吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式を理解する。() 2.[思考・判断・表現] 吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができる。() 3.[技能] 楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の要求に合った演奏ができる。長短すべてのスケール演奏が安定すること。() 4.[関心・意欲・態度] 個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	楽譜等その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]基礎の確認(3h~6h)					
2	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲配布・音だし [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
3	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲合奏 [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
4	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲仕上げ [準備・課題]楽曲1の復習(3h~6h)					
5	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1配布・音だし [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
6	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1合奏 [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
7	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1仕上げ [準備・課題]楽曲2の復習(3h~6h)					
8	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2配布・音だし [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
9	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2合奏 [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
10	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2仕上げ [準備・課題]楽曲3の復習(3h~6h)					
11	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3配布・音だし [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
12	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3合奏 [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
13	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3仕上げ [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
14	試験課題曲配布・合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
15	試験課題曲合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
時間外での学習	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じてパート練習、セクション練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

ウインドアンサンブル (後期)		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 服部 篤典・鈴木 孝育・長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	吹奏楽オリジナル作品の他、クラシックアレンジ作品、ポップスに至るまで、様々なジャンルの曲を取り上げ、各所において、それぞれの役割を理解し、演奏力の向上を目指します。また、授業以外に、各楽器の個人レッスンがあります。なお、演奏依頼があった場合、その練習になることがあります。					
授業方法	吹奏楽の合奏、各楽器のレッスン、場合によってパート別レッスン、セクションごとのレッスンが行われる。					
到達目標	1.[知識・理解] 吹奏楽合奏に必要な楽語・用語を理解し、クラシック、ジャズ、ポピュラー等ジャンルの様式を理解する。() 2.[思考・判断・表現] 吹奏楽で演奏されるジャンルの基本的な知識があり、楽曲に合った演奏表現ができる。() 3.[技能] 楽譜通りに演奏できることはもちろん指揮者の要求に合った演奏ができる。長短すべてのスケール演奏が安定すること。() 4.[関心・意欲・態度] 個人練習のみならず、パート練習、セクション練習等を積極的に学生同士で練習方法等を研究し円滑に練習を進めることができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	楽譜等その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]基礎の確認(3h~6h)					
2	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲配布・音だし [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
3	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲合奏 [準備・課題]楽曲1の研究及び練習(3h~6h)					
4	楽曲1 基礎力向上の為の楽曲仕上げ [準備・課題]楽曲1の復習(3h~6h)					
5	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1配布・音だし [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
6	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1合奏 [準備・課題]楽曲2の研究及び練習(3h~6h)					
7	楽曲2 音楽鑑賞用楽曲1仕上げ [準備・課題]楽曲2の復習(3h~6h)					
8	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2配布・音だし [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
9	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2合奏 [準備・課題]楽曲3の研究及び練習(3h~6h)					
10	楽曲3 音楽鑑賞用楽曲2仕上げ [準備・課題]楽曲3の復習(3h~6h)					
11	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3配布・音だし [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
12	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3合奏 [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
13	楽曲4 音楽鑑賞用楽曲3仕上げ [準備・課題]楽曲4の研究及び練習(3h~6h)					
14	試験課題曲配布・合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
15	試験課題曲合奏 [準備・課題]試験課題曲の研究及び練習(3h~6h)					
時間外での学習	授業以外に各楽器のレッスンがあります。必要に応じてパート練習、セクション練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	まずは、個々が譜面に正確な演奏を心掛けてください。その上で他パートの動きなどを理解し、合奏力の向上を目指してください。一人でも欠けるとアンサンブルが成立しません。無断欠席・遅刻厳禁。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

吹奏楽指導法（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	総合的な音楽知識を背景に、吹奏楽において使用される楽器の音色の特性・音域・機能性を理解するために、アンサンブル、吹奏楽譜の製作方法を学びながら、合奏やアンサンブル等の特性を理解し、楽譜を読み取る力を高め、自分の楽曲の解釈や音楽性をどのように相手に伝えるかを学習研究します。各楽器の特性や、基礎練習の方法など、具体的な指導内容の研究をします。					
授業方法	吹奏楽指導における必要な知識を講義によって学びます。アンサンブル・吹奏楽曲を研究し、作品を実際に演奏、問題点を見直し作品を仕上げていきます。					
到達目標	1. [知識・理解] 吹奏楽、アンサンブル、各パートの指導を行う上での基本的な知識・技術を身につけ、計画立案ができる。() 2. [思考・判断・表現] アンサンブル、吹奏楽譜のアレンジができ作譜ができる。() 3. [技能] 基本的な指揮を振ることができる。() 4. [関心・意欲・態度] 講義内容において自発的な問題提起・解決ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	40	-	-	10	50
	指揮実習	-	-	10	-	10
	課題提出	20	10	-	10	40
	合計	60	10	10	20	100
成績評価と割合	筆記試験 50%、指揮実習 10%、課題提出 40% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、授業の進め方、授業の内容等 [準備・課題]音楽基礎知識の予習(3h)					
2	吹奏楽の基礎知識 吹奏楽の歴史や成り立ち [準備・課題]音楽基礎知識の予習(3h)					
3	吹奏楽理論の復習1 音程 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
4	吹奏楽理論の復習2 移調 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
5	和声基礎の復習 [準備・課題]和声知識の予習(3h)					
6	和声演習1 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
7	和声演習2 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
8	和声演習3 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
9	和声演習4 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
10	吹奏楽譜の編曲1 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
11	吹奏楽譜の編曲2 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
12	吹奏楽譜の編曲3 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
13	吹奏楽譜の編曲4 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
14	アレンジ作品の音だし1 編曲した楽曲を実際に音を出し、問題点を抽出 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
15	アレンジ作品の音だし2 課題の完成・提出 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
時間外での学習	1年時の音楽理論等で学習した内容がとて重要になります。しっかり復習しましょう。楽譜の製作等、作業の多い科目ですので、作業の遅れ等がないよう注意しましょう。					
受講学生へのメッセージ	日ごろから音楽の仕組み、アンサンブルの音のブレンドや各楽器の音色や特徴に興味を持つ事により、吹奏楽への深い理解を養い、それが編曲、指導に役立ちます。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

吹奏楽指導法（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	総合的な音楽知識を背景に、吹奏楽において使用される楽器の音色の特性・音域・機能性を理解し、アンサンブル、吹奏楽譜の制作方法を学びます。また合奏、アンサンブル等の特性を理解し、楽譜を読み取る力を高め、自分の考え方、音楽性をどのように相手に伝えるかを学習します。各楽器の特性や、基礎練習の方法など、具体的な指導内容の研究をします。					
授業方法	講義により楽曲分析、スコアリーディングを行い総譜の読み方を学びます。指揮法、基礎合奏指導、楽曲指導などを指導計画を立案しながら学びます。					
到達目標	1.[知識・理解] 吹奏楽、アンサンブル、各パートの指導を行う上での基本的な知識、技術を身につける。() 2.[思考・判断・表現] アンサンブル、吹奏楽譜のアレンジができ作譜ができる。() 3.[技能] 基本的な指揮を振ることができる。() 4.[関心・意欲・態度] 講義内容において自発的な問題提起・解決ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	40	-	-	10	50
	レポート	-	-	10	-	10
	課題発表	20	10	-	10	40
	合計	60	10	10	20	100
成績評価と割合	筆記試験 50%、レポート 10%、課題発表 40% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	音楽作品の形式 [準備・課題]音楽形式の予習(3h)					
2	楽曲分析1 音楽作品の構造・主題・和声・旋律・楽器法・様式・技法等の分析 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
3	楽曲分析2 音楽作品の構造・主題・和声・旋律・楽器法・様式・技法等の分析 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
4	楽曲分析3 音楽作品の構造・主題・和声・旋律・楽器法・様式・技法等の分析 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
5	スコアリーディング1 複数のパートを含んだ楽譜の構造研究 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
6	スコアリーディング2 複数のパートを含んだ楽譜の構造研究 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
7	指揮法1 基本的な指揮の振り方を学ぶ [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
8	指揮法2 実際に演奏者に対しての指揮 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
9	基礎練習の指導法1 ユニゾン練習、ハーモニー練習、スケール練習等の方法 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
10	基礎練習の指導法2 ユニゾン練習、ハーモニー練習、スケール練習等の方法 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
11	楽曲の指導法1 楽曲を合奏し指導内容を学ぶ：コラール [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
12	楽曲の指導法2 楽曲を合奏し指導内容を学ぶ：マーチ [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
13	楽曲の指導法3 楽曲を合奏し指導内容を学ぶ：様々な楽想 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
14	楽曲の分析研究 後日実際にその曲を題材に指導をする [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
15	合奏指導演習発表 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
時間外での学習	1年時の音楽理論で学習した内容がとても重要になります。しっかり復習しましょう。楽譜の制作等、作業の多い科目ですので、作業の遅れ等がないよう注意しましょう。					
受講学生へのメッセージ	日ごろから音楽の仕組み、アンサンブルの音のブレンドや各楽器の音色や特徴に興味を持つ事により、吹奏楽への深い理解を養い、それが編曲、指導に役立ちます。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

リペア応用（木管）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		実技	90時間	
[教員]：佐々木 智克						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年次で学んだ基礎技術を発展させ、より高度な技術力を身に付け、作業時間短縮化を図るために、効率の良い作業法を考える。 また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、木管楽器全般知識の習得。					
授業方法	実技を中心とし、講義・小テストなど入れながらより専門的な木管楽器の知識・技術が身につく授業にしています。また、各社メーカー比較などを取り入れ、セールスエンジニアに必要な知識なども身に付けます。					
到達目標	1.[知識・理解] 各木管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる() 2.[思考・判断・表現] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる() 3.[技能] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる() 4.[関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	筆記試験 10%、実技試験 80%、受講態度 10% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	『～管打楽器の～ 新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社 ・各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス・授業の進め方 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
2	クラリネット応用実習 タンボ交換、タンボ合わせ [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
3	クラリネット応用実習 全体バランス調整・軟物交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
4	クラリネット応用実習 管体割れ、拇指・レジスター調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
5	クラリネット応用実習 学内プレ試験 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
6	フルート応用実習 タンボ交換、タンボ合わせ [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
7	フルート応用実習 全体バランス調整・軟物交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
8	フルート応用実習 全体調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
9	サクソス応用実習 タンボ交換、タンボ合わせ [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
10	サクソス応用実習 テーブル調整他 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
11	サクソス応用実習 全体バランス調整・軟物交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
12	主要管楽器メーカー講習1 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
13	ヤマハ管楽器技能評価試験希望者に対して学内プレ試験。以外は木管楽器全般調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
14	各社メーカー別調整修理 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
15	木管楽器応用実習（スワブつまり、ノックピン修正他） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
時間外での学習	技術の反復実習により、確実に身に付ける。 各社カタログ等をしっかり読み、商品知識を身に付け、楽器店訪問する事で各店の展示方法・接客姿勢・商品の種類などを理解し楽器店実習の準備に取り掛かる。					
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据え、今やるべき事を理解し更なる技術向上を目指してください。 オフィスアワーは、F101で毎週火曜日授業終了後の16:10~17:00です。					

リペア応用（木管）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		実技	90時間	
[教員]：佐々木 智克						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期で学んだ技術を発展させ、より高度な技術力を身に付け作業時間の短縮化を図る為の、効率の良い作業法を考える。 また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、木管楽器全般知識の習得。 学内技術認定を随時行います。 ヤマハ（株）管楽器リペア技術評価試験受験者は、合格を目指します。					
授業方法	実技中心とし、各自が不得意としている内容を克服するよう反復練習の時間を増加します。 インターン実習の機会を設けより多くの現場を觀てもらおうようにする。					
到達目標	1.[知識・理解] 各木管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる() 2.[思考・判断・表現] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる() 3.[技能] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる() 4.[関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	筆記試験 10%、実技試験 80%、受講態度 10% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	『～管打楽器の～新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社 ・各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	木管楽器応用実習（音孔修正他） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
2	木管楽器応用実習（フルートリングキー他） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
3	木管楽器応用実習（ビッコロ、他楽器） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
4	主要管楽器メーカー講習2 [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
5	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
6	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
7	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
8	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
9	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
10	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
11	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
12	主要管楽器メーカー講習3 [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
13	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
14	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
15	木管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
時間外での学習	苦手な修理をなくし、確実に身に付ける。 多くの技術者の手法を理解する事で、到達点への過程の違いを見出し、自分の技術スタイルを確立させる。					
受講学生へのメッセージ	技術以外にセールスエンジニアとして必要なマナーを身に付け人間性を向上させてください。 オフィスアワーは、F101で毎週火曜日授業終了後の16:10～17:00です。					

リペア応用（木管）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		実技	90時間	
[教員]：渡辺 博夫						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年次で学んだ基礎技術を発展させ、より高度な技術力を付け作業時間の短縮、効率の良い作業方を考える。 また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、木管楽器全般知識の習得。					
授業方法	全体での実技を中心とし、講義・小テストなど入れながらより専門的な木管楽器の知識・技術が身につく授業にしていきます。また、各社メーカー比較などを取り入れ、セールスエンジニアに必要な知識なども身に付けます。					
到達目標	1. [知識・理解] 各木管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる () 2. [思考・判断・表現] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる () 3. [技能] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる () 4. [関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	試験 90%、受講態度 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『管打楽器の新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社(売店で購入してください) 1年次に購入したものを使用します。					
参考書・教材	各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス・授業の進め方 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
2	クラリネット応用実習 タンボ交換、タンボ合わせ [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
3	クラリネット応用実習 全体バランス調整、軟物交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
4	クラリネット応用実習 全体調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
5	フルート応用実習 タンボ交換、タンボ合わせ [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
6	フルート応用実習 全体バランス調整、軟物交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
7	フルート応用実習 ヘッドコルク位置出し復習、ジョイント調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
8	フルート応用実習 学内認定試験準備 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
9	サクソフォン応用実習 タンボ交換、タンボ合わせ [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
10	サクソフォン応用実習 全体バランス調整、軟物交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
11	サクソフォン応用実習 全体調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
12	サクソフォン応用実習 学内認定試験準備 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
13	木管楽器総合応用 それぞれの楽器について学内認定試験に向け合格レベルの確認作業 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
14	木管楽器総合応用 それぞれの楽器について学内認定試験に向け合格レベルの確認作業 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
15	木管楽器総合応用 それぞれの楽器について学内認定試験に向け合格レベルの確認作業 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
時間外での学習	技術の反復実習により、確実に身に付ける。 各社カタログ等をしっかり読み、商品知識を身に付け、楽器店訪問する事で各店の展示方法・接客姿勢・商品の種類などを理解し楽器店実習の準備に取り掛かる。					
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据え、今やるべき事を理解し更なる技術向上を目指してください。 オフィスアワーは、F101で毎週水曜日授業終了後の18:00~19:00です。					

リペア応用（木管）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		実技	90時間	
[教員]：渡辺 博夫・小野 麗子						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期で学んだ技術を発展させ、より高度な技術力を付け作業時間の短縮、効率の良い作業方法を考える。また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、木管楽器全般知識の習得。 学内技術認定を随時行います。 ヤマハ（株）管楽器リペア評価試験受験者は、合格を目指します。					
授業方法	実技中心とし、各自が不得意としている内容を克服するよう反復練習の時間を増加します。インターン実習の機会を設けより多くの現場を観てもらおうとする。					
到達目標	1.[知識・理解] 各木管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる() 2.[思考・判断・表現] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる() 3.[技能] 各木管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる() 4.[関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	試験 90%、受講態度 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『管打楽器の新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社(売店で購入してください) 1年次に購入したものを使用します。					
参考書・教材	各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	木管楽器応用実習（管体割れ修理他） [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
2	木管楽器応用実習（フルートメカニズム等） [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
3	木管楽器応用実習（ハーモニークラリネット等） [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
4	木管楽器応用実習（ピッコロ、リングキイフルート等） [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
5	木管楽器総合実習：各社メーカーでメカニズム違い等 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
6	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
7	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
8	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
9	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
10	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
11	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
12	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする 学校備品等、現在使用品のリペア対応力強化 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
13	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする 学校備品等、現在使用品のリペア対応力強化 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
14	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする 学校備品等、現在使用品のリペア対応力強化 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
15	木管楽器総合実習：学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする 学校備品等、現在使用品のリペア対応力強化 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h）					
時間外での学習	苦手の修理を無くし、確実に対応力を身につける。 多くの技術者の異なった手法を身につける事で、到達点へのプロセスの違いを理解し、自分のスタイルを確立する。					
受講学生へのメッセージ	技術以外にセールスエンジニアとして必要なマナー、知識を身につけ人間性を向上させて下さい。 オフィスアワーは、F101教室で毎週火曜日授業終了後18：00～19：00です。					

リペア応用（金管）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		実技	90時間	
[教員]：佐々木 智克						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年次で学んだ基礎技術を発展させ、より高度な技術力を付け作業時間の短縮、効率の良い作業方を考える。 また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、金管楽器全般知識の習得。					
授業方法	全体での実技を中心とし、講義・小テストなど入れながらより専門的な金管楽器の知識・技術が身につく授業にしていきます。また、各社メーカー比較などを取り入れ、セールスエンジニアに必要な知識なども身に付けます。					
到達目標	1.[知識・理解] 各金管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる() 2.[思考・判断・表現] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる() 3.[技能] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる() 4.[関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	筆記試験 10%、実技試験 80%、受講態度 10% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	『～管打楽器の～ 新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社 ・各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス・授業の進め方 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
2	ハンダ付け応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
3	トランペット応用実習 ピストン、抜き差し調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
4	トランペット応用実習 ベル、ベル胴、曲管凹み修正 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
5	トランペット応用実習 マウスピース凹み修正他 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
6	トランペット応用実習 全体調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
7	ホルン応用実習 ロータリー調整、紐交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
8	ホルン応用実習 レバー位置、レバー曲がり修正 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
9	ホルン応用実習 ベル凹み修正 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
10	ホルン応用実習 学内プレ試験 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
11	トロンボーン応用実習 スライド調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
12	トロンボーン応用実習 全体調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
13	ヤマハグレード取得希望者学内プレ試験 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
14	各社メーカー別調整修理 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
15	金管楽器応用実習(支柱ハンダ付け、ロー付け他) [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
時間外での学習	技術の反復実習により、確実に身に付ける。 各社カタログ等をしっかり読み、商品知識を身に付け、楽器店訪問する事で各店の展示方法・接客姿勢・商品の種類などを理解し楽器店実習の準備に取り掛かる。					
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据え、今やるべき事を理解し更なる技術向上を目指してください。 オフィスアワーは、F101で毎週火曜日授業終了後の16:10~17:00です。					

リペア応用（金管）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		実技	90時間	
[教員]：佐々木 智克						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期で学んだ技術を発展させ、より高度な技術力を付け作業時間の短縮、効率の良い作業方を考える。また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、金管楽器全般知識の習得。 学内技術認定を随時行います。 ヤマハ（株）管楽器リペア評価試験受験者は、合格を目指します。					
授業方法	実技中心とし、各自が不得意としている内容を克服するよう反復練習の時間を増加します。インターン実習の機会を設けより多くの現場を観てもらおうとする。					
到達目標	1.[知識・理解] 各金管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる() 2.[思考・判断・表現] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる() 3.[技能] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる() 4.[関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	筆記試験 10%、実技試験 80%、受講態度 10% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	『～管打楽器の～新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社 ・各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	金管楽器応用実習（ピストン固着、抜き差し固着他） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
2	金管楽器応用実習（ピストン曲がり修正他） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
3	金管楽器応用実習（F管付きトロンボーン、他楽器） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
4	金管楽器応用実習（F管付きトロンボーン、他楽器） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
5	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
6	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
7	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
8	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
9	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
10	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
11	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
12	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
13	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
14	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
15	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
時間外での学習	苦手な修理をなくし、確実に身に付ける。 多くの技術者の手法を理解する事で、到達点への過程の違いを見出し、自分の技術スタイルを確立させる。					
受講学生へのメッセージ	技術以外にセールスエンジニアとして必要なマナーを身に付け人間性を向上させてください。 オフィスアワーは、F101で毎週火曜日授業終了後の16:10～17:00です。					

リペア応用（金管）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		3単位		実技	120時間	
[教員]：佐々木 智克						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年次で学んだ基礎技術を発展させ、より高度な技術力を付け作業時間の短縮、効率の良い作業方を考える。 また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、金管楽器全般知識の習得。					
授業方法	全体での実技を中心とし、講義・小テストなど入れながらより専門的な金管楽器の知識・技術が身につく授業にしていきます。また、各社メーカー比較などを取り入れ、セールスエンジニアに必要な知識なども身に付けます。					
到達目標	1.[知識・理解] 各金管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる() 2.[思考・判断・表現] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる() 3.[技能] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる() 4.[関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	筆記試験 10%、実技試験 80%、受講態度 10% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	『～管打楽器の～ 新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社 ・各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス・授業の進め方 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
2	ハンダ付け応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
3	トランペット応用実習 ピストン、抜き差し調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
4	トランペット応用実習 ベル、ベル胴、曲管凹み修正 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
5	トランペット応用実習 笠ネジ、底ネジ修正他 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
6	トランペット応用実習 学内プレ試験 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
7	ホルン応用実習 ロータリー調整、紐交換 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
8	ホルン応用実習 ロータリーガタ修正 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
9	ホルン応用実習 全体調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3~5h)					
10	トロンボーン応用実習 スライド調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
11	トロンボーン応用実習 スライド調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
12	トロンボーン応用実習 学内プレ試験 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
13	ヤマハグレード取得希望者学内プレ試験 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
14	各社メーカー別調整修理 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
15	金管楽器応用実習(支柱ハンダ付け、ロー付け他) [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
時間外での学習	技術の反復実習により、確実に身に付ける。 各社カタログ等をしっかり読み、商品知識を身に付け、楽器店訪問する事で各店の展示方法・接客姿勢・商品の種類などを理解し楽器店実習の準備に取り掛かる。					
受講学生へのメッセージ	自分の将来を見据え、今やるべき事を理解し更なる技術向上を目指してください。 オフィスアワーは、F101で毎週火曜日授業終了後の16:10~17:00です。					

リペア応用（金管）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		3単位		実技	120時間	
[教員]：佐々木 智克						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期で学んだ技術を発展させ、より高度な技術力を付け作業時間の短縮、効率の良い作業方を考える。また、卒業後を見据えたより実践的な技術の習得、金管楽器全般知識の習得。 学内技術認定を随時行います。 ヤマハ（株）管楽器リペア評価試験受験者は、合格を目指します。					
授業方法	実技中心とし、各自が不得意としている内容を克服するよう反復練習の時間を増加します。インターン実習の機会を設けより多くの現場を観てもらおうとする。					
到達目標	1.[知識・理解] 各金管楽器の仕組み・構造を理解し的確な修理・調整ができる() 2.[思考・判断・表現] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる() 3.[技能] 各金管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる() 4.[関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	筆記試験 10%、実技試験 80%、受講態度 20% の合計 100% で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	『～管打楽器の～新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社 ・各社楽器カタログ等、必要な資料は配布致します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	金管楽器応用実習（ピストン固着、抜き差し固着他） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
2	金管楽器応用実習（ピストン曲がり修正他） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
3	金管楽器応用実習（F管付きトロンボーン、他楽器） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
4	金管楽器応用実習（F管付きトロンボーン、他楽器） [準備・課題]学んだ内容の復習(3h)					
5	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
6	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
7	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
8	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
9	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
10	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
11	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
12	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
13	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
14	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
15	金管楽器総合実習 学内認定取得に向け規定時間内に作業を終了し、合格レベルに達するようにする [準備・課題]学んだ内容の復習(3～5h)					
時間外での学習	苦手の修理をなくし、確実に身に付ける。 多くの技術者の手法を理解する事で、到達点への過程の違いを見出し、自分の技術スタイルを確立させる。					
受講学生へのメッセージ	技術以外にセールスエンジニアとして必要なマナーを身に付け人間性を向上させてください。 オフィスアワーは、F101で毎週火曜日授業終了後の16:10～17:00です。					

打楽器リペア演習		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	60時間	
[教員]：渡辺 博夫						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	打楽器類より、主にティンパニーの仕組み・構造を理解し、基礎となる修理・調整方法を学び、膜楽器、音板楽器等の起こりやすいトラブルについての対応力を身につける。 安全な作業を十分に理解し、工具の適切な使用方法を学び修理・調整に必要な基本動作・扱い方を身につけ、基礎的な知識・技術の習得。 正確性・効率性・商品知識・接客対応など現場での内容も視野に入れ授業を行っていく。					
授業方法	全体での実技を中心とし、講義・小テストなど入れながら管楽器の基本的な作業動作、基礎的な知識・技術が身につく授業にしていきます。					
到達目標	1. [知識・理解] 各管楽器の仕組み・構造を理解し基礎的な楽器の状態を把握することができる () 2. [思考・判断・表現] 各管楽器の状態を把握し、修繕箇所を見つけ解決法を判断できる () 3. [技能] 各管楽器の状態を把握し、修繕箇所を自らの技術で問題解決できる () 4. [関心・意欲・態度] 楽器に関する事に関心・興味を持ち、自らが率先して学習する事ができる ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	試験 90%、受講態度 10% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『管打楽器の新しい楽器学と演奏法』ヤマハ株式会社(売店で購入してください) 1年次生時に購入した教科書を使用します。					
参考書・教材	各社カタログ、資料等は配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	打楽器概論 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
2	ティンパニーの形態と構造、演奏方法 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
3	膜楽器の形態と構造、演奏方法 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
4	音板打楽器の形態と構造、演奏方法 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
5	小物打楽器の形態と構造、演奏方法 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
6	ティンパニー基礎演習 分解構造理解 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
7	ティンパニー基礎演習 分解構造理解 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
8	ティンパニー基礎演習 分解構造理解 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
9	ティンパニー基礎演習 組み立て、調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
10	ティンパニー基礎演習 組み立て、調整 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
11	ティンパニー基礎演習 組み立て、調整、チューニング [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
12	ティンパニー基礎演習 チューニング [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
13	膜楽器基礎演習 チューニング [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
14	音板打楽器基礎演習 音板釣り紐交換等 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
15	打楽器総合基礎演習 [準備・課題]学んだ内容の復習(3h~5h)					
時間外での学習	ティンパニーの作業については、教員立会いを原則とします(怪我をする可能性大の為)が、カタログ表記を理解する等、知識向上を図ってください。					
受講学生へのメッセージ	基本手順をしっかり身につけてください。 オフィスアワーは、F-201で毎週火曜日授業終了後の18:00~19:00です。					

演奏会研究（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	年間約8公演を鑑賞します。鑑賞に当たっては事前に演目、出演者などの研究をする事により、深い知識を持って鑑賞に臨みます。 様々な音楽を聴くことにより、個々の感受性を高め、音楽の表現力、楽器の技術力等を学びます。CD等のメディアでは得ることのできない本番の臨場感、演奏家のエネルギーを感じ取り、自分の演奏技術、表現力に生かします。					
授業方法	各演目、2～3週にわたって演目や出演者などの研究し、また鑑賞後には、演奏の様子や、自身の感想をレポート提出してもらいます。 コンサートの日程により予定が大きく変わることがあります。					
到達目標	1.[知識・理解] 演奏会を聴くにあたって、その演奏会のプログラム、演奏者の基本情報を調べ演奏会に臨むことができる。() 2.[思考・判断・表現] 演奏者の表現を受け入れ分析し自身の演奏表現に活かすことができる。() 3.[思考・判断・表現] 演奏会を聴いた上での自身の主観、感動を文章化し、人に伝える事ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 演奏会を聴いて演奏を分析し評価する事ができ、学んだ内容を自身の演奏に生かす事ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	レポート提出	30	30	-	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	鑑賞態度	-	-	-	20	20
	合計	30	30	-	40	100
成績評価と割合	提出レポート(鑑賞前の事前レポート、観賞後の事後レポート) 60%、受講・鑑賞態度 40% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、この授業で学ぶこと 研究の仕方、レポートの内容、公演日程等の説明 演奏会1CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会1の研究(2h～3h)					
2	演奏会1CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会1の研究(2h～3h)					
3	演奏会1鑑賞 [準備・課題]演奏会1の研究(2h～3h)					
4	演奏会1レポート [準備・課題]演奏会2の研究(2h～3h)					
5	演奏会2CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会2の研究(2h～3h)					
6	演奏会2研究・提出 [準備・課題]演奏会2の研究(2h～3h)					
7	演奏会2鑑賞 [準備・課題]演奏会2の研究(2h～3h)					
8	演奏会2レポート [準備・課題]演奏会3の研究(2h～3h)					
9	演奏会3CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会3の研究(2h～3h)					
10	演奏会3演目研究・提出 [準備・課題]演奏会3の研究(2h～3h)					
11	演奏会3鑑賞 [準備・課題]演奏会3の研究(2h～3h)					
12	演奏会3レポート [準備・課題]演奏会4の研究(2h～3h)					
13	演奏会4CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会4の研究(2h～3h)					
14	演奏会4演目研究・提出 [準備・課題]演奏会4の研究(2h～3h)					
15	演奏会4鑑賞 [準備・課題]演奏会4の研究(2h～3h)					
時間外での学習	授業日までにレポートの提出となります。期限内に遅れないのはもちろん、内容の充実したレポート作成を心がけてください。					
受講学生へのメッセージ	鑑賞に当たっては服装等、マナーを守り、何事も学ぶ姿勢で鑑賞しましょう。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

演奏会研究（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	年間約8公演を鑑賞します。鑑賞に当たっては事前に演目、出演者などの研究をする事により、深い知識を持って鑑賞に臨みます。様々な音楽を聴くことにより、個々の感受性を高め、音楽の表現力、楽器の技術力等を学びます。CD等のメディアでは得ることのできない本番の臨場感、演奏家のエネルギーを感じ取り、自分の演奏技術、表現力に生かします。					
授業方法	各演目、2～3週にわたって演目や出演者などの研究し、また鑑賞後には、演奏の様子や、自身の感想をレポート提出してもらいます。コンサートの日程により予定が大きく変わることがあります。					
到達目標	1.[知識・理解] 演奏会を聴くにあたって、その演奏会のプログラム、演奏者の基本情報を調べ演奏会に臨むことができる。() 2.[思考・判断・表現] 演奏会を聴いた上での自身の主観、感動を文章化し、人に伝える事ができる。() 3.[思考・判断・表現] 演奏会を聴いて演奏を分析し評価する事ができ、学んだ内容を自身の演奏に生かす事ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 演奏者の表現を受け入れ分析し自身の演奏表現に活かす事ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	レポート提出	30	30	-	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	鑑賞態度	-	-	-	20	20
	合計	30	30	-	40	100
成績評価と割合	提出レポート(鑑賞前の事前レポート、観賞後の事後レポート) 60%、受講・鑑賞態度 40% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト						
参考書・教材	その都度配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	演奏会4レポート [準備・課題]自由選択演奏会の研究(2h～3h)					
2	自由選択演奏会鑑賞レポート [準備・課題]演奏会5の研究(2h～3h)					
3	演奏会5CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会5の研究(2h～3h)					
4	演奏会5演目研究・提出 [準備・課題]演奏会5の研究(2h～3h)					
5	演奏会5鑑賞 [準備・課題]演奏会5の研究(2h～3h)					
6	演奏会5レポート [準備・課題]演奏会6の研究(2h～3h)					
7	演奏会6演目CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会6の研究(2h～3h)					
8	演奏会6演目研究・提出 [準備・課題]演奏会6の研究(2h～3h)					
9	演奏会6鑑賞 [準備・課題]演奏会6の研究(2h～3h)					
10	演奏会6レポート [準備・課題]演奏会7の研究(2h～3h)					
11	演奏会7演目CDなど鑑賞及び研究 [準備・課題]演奏会7の研究					
12	演奏会7演目研究・提出 [準備・課題]演奏会7の研究(2h～3h)					
13	演奏会7鑑賞 [準備・課題]演奏会7の研究(2h～3h)					
14	演奏会7レポート [準備・課題]1年間の総括(2h～3h)					
15	まとめ 一年を通して学んだこと [準備・課題]今後の演奏会の鑑賞の仕方について考える(2h～3h)					
時間外での学習	授業日までにレポートの提出となります。期限に遅れないのはもちろん、内容の充実したレポート作成を心がけてください。					
受講学生へのメッセージ	鑑賞に当たっては服装等、マナーを守り、何事も学ぶ姿勢で鑑賞しましょう。オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

奏法研究(前期)		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]: 長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]:						
授業内容	楽曲を深く理解し高度な演奏に仕上げていく上で必要な方法論を身につけます。 世の中に溢れている様々なスタイルの音楽に対し柔軟に対応していけるように知識や技術を身につけます。 自分の考え方や音楽性をどのように演奏に結びつけるか実際に演奏を通して研究します。					
授業方法	講義、ディスカッション、個人レッスン、グループレッスン、レッスン聴講、など多彩な活動を通して研鑽します					
到達目標	1.[知識・理解] その音楽が要求する内容を楽譜から読み取ることが出来る。() 2.[思考・判断・表現] 読み取った内容を演奏に活かすことが出来る。() 3.[技能] 思い通りの演奏が出来る。() 4.[関心・意欲・態度] 演奏を聴いてその内容を深く探求することが出来る。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	30	20	-	-	50
	レポート提出	-	10	-	-	10
	演奏課題	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	10	10	20
	合計	30	30	30	10	100
成績評価と割合	実技試験・レポート 60%、演奏課題 20%、受講態度 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	随時プリント配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、授業の進め方、授業の内容説明等					
2	音楽の音とその由来【12個の音(音階の仕組み)】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
3	音と音の繋がり(1)【点と線(対位法的処理について)】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
4	音と音の繋がり(2)【線の行方(歌うということ)】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
5	和声の力(1)【ハモる】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
6	和声の力(2)【機能的和声について】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
7	和声の力(3)【非和声音と呼ばれる音達】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
8	転調【どこでも転調】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
9	テンションコード【複雑な和声】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
10	リズムの力【拍子とリズム】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
11	音符の付属品(1)【音符に直接付いている小さな印】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
12	音符の付属品(2)【音符の近くにある小さな印】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
13	楽譜の付属品(1)【楽譜に書かれている様々な指示】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
14	楽譜の付属品(2)【楽譜に書くまでもない重要な事】 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
15	前期まとめ 試験対策 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
時間外での学習	机上の理論だけでなく実際の楽器演奏も必須ですから授業時間外で楽器の練習や修練が必要です。 気を抜かず取り組んでください。					
受講学生へのメッセージ	日ごろから偏向することなく様々な音楽を聴き感じ考える習慣を身につけ、感じ考えたことを演奏に活かすためにどのような技術を身につけると良いか模索し続けましょう。そのことが音楽への深い理解を養い自分自身の演奏向上に役に立ちます。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

奏法研究（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	楽曲を深く理解し高度な演奏に仕上げていく上で必要な方法論を身につけます。 世の中に溢れている様々なスタイルの音楽に対し柔軟に対応していけるように知識や技術を身につけます。 自分の考え方や音楽性をどのように演奏に結びつけるか実際に演奏を通して研究します。					
授業方法	講義、ディスカッション、個人レッスン、グループレッスン、レッスン聴講、など多彩な活動を通して研鑽します					
到達目標	1.[知識・理解] その音楽が要求する内容を楽譜から読み取ることが出来る。() 2.[思考・判断・表現] 読み取った内容を演奏に活かすことが出来る。() 3.[技能] 思い通りの演奏が出来る。() 4.[関心・意欲・態度] 演奏を聴いてその内容を深く探求することが出来る。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	30	20	-	-	50
	レポート提出	-	10	-	-	10
	演奏課題	-	-	20	-	20
	受講態度	-	-	10	10	20
	合計	30	30	30	10	100
成績評価と割合	実技試験・レポート 60%、演奏課題 20%、受講態度 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	随時プリント配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンスおよび前期の復習・総括					
2	音楽の構造（復習）【形式・様式】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
3	グルーピングという考え方【文章の成り立ちとの比較】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
4	フレーズ解釈（1）【フレーズのピーク（重心）】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
5	フレーズ解釈（2）【フレーズ解析の定石（パウンド・加速と減速）】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
6	フレーズ解釈（3）【非和声音（刺繍音・掛留音、倚音、逸音、経過音、先取音、保続音）】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
7	アゴーギグ（1）【正確さと錯覚】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
8	アゴーギグ（2）【揺れる必然】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
9	コントラスト【重要な対比】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
10	楽譜に書けない指示【作曲家の想い】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
11	音楽の多様性（1）【現代におけるスタイルの多様性】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
12	音楽の多様性（2）【正確さと不正確さの狭間】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
13	音楽は流れる【動き続ける音楽】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
14	良い演奏とは？【何が伝わるのか】 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
15	後期まとめ 試験対策 [準備・課題]本時学習内容の復習（3h）					
時間外での学習	机上の理論だけでなく実際の楽器演奏も必須ですから授業時間外で楽器の練習や修練が必要です。 気を抜かず取り組んでください。					
受講学生へのメッセージ	日ごろから偏向することなく様々な音楽を聴き感じ考える習慣を身につけ、感じ考えたことを演奏に活かすためにどのような技術を身につけると良いか模索し続けましょう。そのことが音楽への深い理解を養い自分自身の演奏向上に役に立ちます。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

楽器奏法（前期）	音楽総合学科		2年前期	
	1単位		演習	30時間

[教員]：鈴木 孝育

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容
リペア技術者にとって修理品の点検は不可欠、修理をしても点検するすべがなくは、プロの技術者とは呼ばれません。楽器奏法の授業では、フルート・クラリネット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーンといった吹奏楽で使用される代表的な管楽器のレッスンを受けることにより、各楽器の基本的な奏法を習得し楽器検品などに活かします。また演奏することによって、その楽器の機構や特徴を学ぶことができます。

授業方法
各楽器に分かれ5～6週かけてレッスンを受け各楽器の演奏技術を修得します。

到達目標

- [知識・理解] 各楽器の演奏上の基本的な構造が理解し、その説明ができる。()
- [思考・判断・表現] リペア修理後の楽器の状態が演奏によってある程度把握できる。()
- [技能] 各楽器の基本的な奏法を身につけ、ロングトーン・スケール・タンギングなどの奏法が容易にできる。()
- [関心・意欲・態度] 各楽器を演奏し修理の依頼者に対し故障の原因や修理での改善点がある程度説明できる。()

観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	-	60	-	60
	各楽器の修得力	10	10	-	-	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	10	10	60	20	100

成績評価と割合
実技試験(期末の試験) 60%、各楽器の修得力(楽器ごとの評価) 20%、
受講態度(普段の授業の取り組み) 20% の合計100%で評価します。
欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。

テキスト
ありません。

参考書・教材
楽譜等その都度配布。

内容	
実施回	授業内容・目標
1	ガイダンス、授業の説明、レッスンのグループ分け、レッスンの受け方 [準備・課題] 次回レッスン楽器の基礎知識 (2h～3h)
2	楽器1レッスン1：グループA (Fl) B (Cl) C (Sax) D (Tp) E (Hr) F (Tb) 楽器の取り扱い(組み立て、演奏前のメンテナンス、演奏後の手入れなど)、基本奏法 [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
3	楽器1レッスン2：グループA (Fl) B (Cl) C (Sax) D (Tp) E (Hr) F (Tb) 基本奏法(音の出し方、ロングトーン等)注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
4	楽器1レッスン3：グループA (Fl) B (Cl) C (Sax) D (Tp) E (Hr) F (Tb) 基本奏法(ロングトーン、スケール等)注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
5	楽器1レッスン4：グループA (Fl) B (Cl) C (Sax) D (Tp) E (Hr) F (Tb) スケール、簡単な楽曲、実技試験 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] 次回レッスン楽器の基礎知識 (2h～3h)
6	楽器2レッスン1：グループA (Cl) B (Sax) C (Tp) D (Hr) E (Tb) F (Fl) 楽器の取り扱い(組み立て、演奏前のメンテナンス、演奏後の手入れなど)、基本奏法 [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
7	楽器2レッスン2：グループA (Cl) B (Sax) C (Tp) D (Hr) E (Tb) F (Fl) 基本奏法(音の出し方、ロングトーン等)注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
8	楽器2レッスン3：グループA (Cl) B (Sax) C (Tp) D (Hr) E (Tb) F (Fl) 基本奏法(ロングトーン、スケール等)注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
9	楽器2レッスン4：グループA (Cl) B (Sax) C (Tp) D (Hr) E (Tb) F (Fl) スケール、簡単な楽曲、実技試験 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] 次回レッスン楽器の基礎知識 (2h～3h)
10	楽器3レッスン1：グループA (Sax) B (Tp) C (Hr) D (Tb) E (Fl) F (Cl) 楽器の取り扱い(組み立て、演奏前のメンテナンス、演奏後の手入れなど)、基本奏法 [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
11	楽器3レッスン2：グループA (Sax) B (Tp) C (Hr) D (Tb) E (Fl) F (Cl) 基本奏法(音の出し方、ロングトーン等)注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
12	楽器3レッスン3：グループA (Sax) B (Tp) C (Hr) D (Tb) E (Fl) F (Cl) 基本奏法(ロングトーン、スケール等)注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
13	楽器3レッスン4：グループA (Sax) B (Tp) C (Hr) D (Tb) E (Fl) F (Cl) スケール、簡単な楽曲、実技試験 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題] レッスン楽器の復習 (2h～3h)
14	不得意楽器のレッスン1 学期末実技試験対策 [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
15	不得意楽器のレッスン2 学期末実技試験対策 [準備・課題] レッスン楽器の練習 (2h～3h)
時間外での学習	短期間のレッスンの中で基本的な奏法を学ばなければいけないため、習得するためには強い意志と、努力が必要となります。与えられた課題をこなすためにしっかりと練習しましょう。

受講学生への
メッセージ

授業前に楽器の準備をしてください。レッスンに当たっては楽器の取り扱いなど担当教員の指示をしっかりと聞いて行ってください。
オフィスアワーは金曜日16:20~18:00です。

楽器奏法（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：鈴木 孝育						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	リペア技術者にとって修理品の点検は不可欠、修理をしても点検するすべがなくは、プロの技術者とは呼ばれません。楽器奏法の授業では、フルート・クラリネット・サクソフォン・ホルン・トランペット・トロンボーンといった吹奏楽で使用される代表的な管楽器のレッスンを受けることにより、各楽器の基本的な奏法を習得し楽器検品などに活かします。また演奏することによって、その楽器の機構や特徴を学ぶことができます。					
授業方法	各楽器に分かれ5～6週かけてレッスンを受け各楽器の演奏技術を修得します。					
到達目標	1.[知識・理解] 各楽器の演奏上の基本的な構造が理解し、その説明ができる。 () 2.[思考・判断・表現] リペア修理後の楽器の状態が演奏によってある程度把握できる。 () 3.[技能] 各楽器の基本的な奏法を身につけ、基本奏法の他に簡単な楽曲の演奏ができる。 () 4.[関心・意欲・態度] 楽器の扱い方、初歩の演奏指導ができ、初級者への楽曲の指導ができる。 ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	-	60	-	60
	各楽器の修得力	10	10	-	-	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	10	10	60	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末の試験) 60%、各楽器の修得力(楽器ごとの評価) 20%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	楽譜等その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	楽器1レッスン1：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 1年の復習 基本奏法1 ロングトーン スケール 等 [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
2	楽器1レッスン2：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 1年の復習 基本奏法2 タンギング 等 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
3	楽器1レッスン3：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 楽曲レッスン1 課題曲の譜読み 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]課題曲の練習(2h~3h)					
4	楽器1レッスン4：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 楽曲レッスン2 課題曲仕上げ 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]次回レッスン楽器の練習(2h~3h)					
5	楽器2レッスン1：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 1年の復習 基本奏法1 ロングトーン スケール 等 [準備・課題]レッスン楽器の練習					
6	楽器2レッスン2：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 1年の復習 基本奏法2 タンギング 等 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
7	楽器2レッスン3：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 楽曲レッスン1 課題曲の譜読み 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]課題曲の練習(2h~3h)					
8	楽器2レッスン4：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 楽曲レッスン2 課題曲仕上げ 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]次回レッスン楽器の練習(2h~3h)					
9	楽器3レッスン1：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 1年の復習 基本奏法1 ロングトーン スケール 等 [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
10	楽器3レッスン2：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 1年の復習 基本奏法2 タンギング 等 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
11	楽器3レッスン3：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 楽曲レッスン1 課題曲の譜読み 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]課題曲の練習(2h~3h)					
12	楽器3レッスン4：グループA(FI)B(CI)C(Sax)D(Tp)E(Hr)F(Tb) 楽曲レッスン2 課題曲仕上げ 注：各楽器によってレッスン方法は異なる [準備・課題]回レッスン楽器の練習(2h~3h)					
13	不得意楽器のレッスン1 学期末実技試験対策 [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
14	不得意楽器のレッスン2 学期末実技試験対策 [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
15	不得意楽器のレッスン3 学期末実技試験対策 [準備・課題]レッスン楽器の練習(2h~3h)					
時間外での学習	短期間のレッスンの中で基本的な奏法を学ばなければいけないため、習得するためには強い意志と、努力が必要となります。与えられた課題をこなすためにしっかりと練習しましょう。					
受講学生へのメッセージ	授業前に楽器の準備をしてください。レッスンに当たっては楽器の取り扱いなど担当教員の指示をしっかりと聞いて行ってください。オフィスアワーは金曜日16:20~18:00です。					

楽器別演習（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：服部 篤典・鈴木 孝育・長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	各専攻楽器の基礎力、演奏技術、表現力向上のためのレッスンをを行います。状況により、ウインドアンサンブルの授業と連携します。					
授業方法	個人の進捗状況に応じてレッスンをを行う。					
到達目標	1. [知識・理解] 楽譜の情報について理解している。() 2. [思考・判断・表現] 楽譜から得られる情報をもとに、自身の思いを演奏に表現する。() 3. [技能] 各専攻楽器の演奏に必要とされる音域が演奏できる。() 4. [関心・意欲・態度] 演奏曲について指導者へ自発的な質問ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末試験) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20%の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生は単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]配布課題に沿って演習(2~4h)					
2	基礎の確認 個々の奏法チェック、スケール、チューニング [準備・課題]配布課題に沿って演習(2~4h)					
3	基礎の確認 個々の奏法チェック、スケール、チューニング [準備・課題]配布課題に沿って演習(2~4h)					
4	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
5	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
6	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
7	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
8	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
9	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
10	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
11	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
12	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
13	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
14	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
15	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
時間外での学習	レッスンで学んだことを各自で確立させるために必要に応じて、個人練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	個人の奏法に余裕が持てることは合奏でも余裕が生まれ、良いアンサンブルを生み出すことができます。日頃より、基礎練習等を積み上げておきましょう。オフィスアワーは授業終了後。					

楽器別演習（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：服部 篤典・鈴木 孝育・長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	各専攻楽器の基礎力、演奏技術、表現力向上のためのレッスンをを行います。状況により、ウインドアンサンブルの授業と連携します。					
授業方法	個人の進捗状況に応じてレッスンをを行う。					
到達目標	1. [知識・理解] 楽譜の情報について理解している。() 2. [思考・判断・表現] 楽譜から得られる情報をもとに、自身の思いを演奏に表現する。() 3. [技能] 各専攻楽器の演奏に必要とされる音域が演奏できる。() 4. [関心・意欲・態度] 演奏曲について指導者へ自発的な質問ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	10	50	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	10	-	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験(期末試験) 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長率(技術の成長度) 20%の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生は単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方、注意事項、スケジュール確認 [準備・課題]配布課題に沿って演習(2~4h)					
2	基礎の確認 個々の奏法チェック、スケール、チューニング [準備・課題]配布課題に沿って演習(2~4h)					
3	基礎の確認 個々の奏法チェック、スケール、チューニング [準備・課題]配布課題に沿って演習(2~4h)					
4	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
5	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
6	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
7	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
8	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
9	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
10	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
11	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
12	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
13	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
14	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
15	演奏技術向上のために必要な部分の確認 [準備・課題]状況によりレッスンを(2~4h)					
時間外での学習	レッスンで学んだことを各自で確立させるために必要に応じて、個人練習を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	個人の奏法に余裕が持てることは合奏でも余裕が生まれ、良いアンサンブルを生み出すことができます。日頃より、基礎練習等を積み上げておきましょう。オフィスアワーは授業終了後。					

楽器業界ビジネス（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：木下 紘治郎						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	楽器業界で即戦力として通用する幅広い知識を修得します。楽器業界の過去から現在を知り将来を展望します。温故知新は重要なテーマです。楽器業界の製・配・販（製造業、卸業、小売業）の流通の仕組みを学び、又、業務を遂行する上での必要な関連知識（中古楽器販売、楽譜出版、著作権）について学びます。楽器店に就職すると担当する可能性の高い「学校販売業務（学販）」、「店頭販売業務」の実践について学びます。楽器業界人の基本は豊かな感性と人間性及びコミュニケーション能力です。それらを実例から学びます。					
授業方法	講義形式で行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 楽器業界で即戦力として通用する幅広く豊富な知識を理解できる。楽器業界の流通、関連業務、小売業の業態を知る事ができる。() 2.[思考・判断・表現] プレイング・セールス・エンジニアとしての優れた感受性を持っている。学校等での吹奏楽や管打楽器の指導に必要な演奏力、指導力を有している。() 3.[関心・意欲・態度] 学校教育や吹奏楽活動の現状に関心を持ち、学校から信頼される豊かな人間性を持つ人材を目指す。営業やリペアを実施する際、お客様と良好な関係を持つことができるコミュニケーションを取ろうとする意欲がある。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	80	5	-	5	90
	レポート	5	2	-	3	10
	合計	85	7	-	8	100
成績評価と割合	筆記試験 90%、レポート 10% の合計 100% で評価します。					
テキスト	ありません。楽器研究で使用した管打楽器価格一覧表、楽器別カタログを使用します。楽器研究を受講していない学生は購入が必要です。申し出てください。売店での購入になります。楽器別カタログは配布します。					
参考書・教材	自作資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 「管打楽器業界の歴史」 [準備・課題]学習内容を復習し、年間の授業の内容と流れを確認すること(1h)					
2	製造業(1) 楽器の歴史と楽器製造業の歴史。楽器製造業とは [準備・課題]学習内容を復習(2h)					
3	製造業(2) 楽器メーカーの業務及び楽器製造の方向性。国内外メーカー [準備・課題]学習内容を復習。国内外のスクールバンドで使用される楽器メーカーを覚える(3h)					
4	卸業 卸業の業態。業務内容(6つの機能)日本の主要楽器関連卸商社研究 [準備・課題]学習内容を復習。日本の主要楽器関連卸商社一覧表作成(提出課題とする)(10h)					
5	小売業(1) 小売業の業態(楽器小売商としての楽器店の業態) [準備・課題]学習内容を復習。楽器店を訪問し、楽器業界の第一線としての実態を学ぶ(3h)					
6	小売業(2) 楽器店業務”伸びる楽器専門店とは”、店頭業務 [準備・課題]学習内容を復習。楽器店で活躍する自分の姿をイメージすること(3h)					
7	中古楽器販売 古物営業法と古物商、中古楽器の査定項目 [準備・課題]学習内容を復習。中古楽器販売の実態を楽器店で確認すること(4h)					
8	音楽著作権(1) 音楽著作権とは。音楽著作権法、著作権隣接権、二次的著作物 [準備・課題]学習内容を復習。音楽業界では必須の知識である。研究を深めること(3h)					
9	音楽著作権(2) JASRACの業務と著作物使用許可申請 [準備・課題]学習内容を復習。コンサート企画案を作成し、使用許可申請書を作成する(5h)					
10	楽譜出版業と楽譜の知識(楽譜出版業の業態。管打楽器関連楽譜、コンサートプログラミング) [準備・課題]学習内容を復習。高校吹奏楽定期演奏会のプログラミングをする(5h)					
11	学校販売(1) 学校販売(学販)の業態及びその意義と本質 [準備・課題]学習内容を復習(2h)					
12	学校販売(2) 学校及び関連組織 [準備・課題]学習内容を復習。小学校の年間行事・活動をまとめておくこと(3h)					
13	学校販売(3) 学校の年間活動と営業の実際。教育楽器 [準備・課題]学習内容を復習(3h)					
14	学校販売(4) 学販営業の実際。管打楽器 [準備・課題]学習内容を復習。学販活動の業態を確認すること(4h)					
15	前期のまとめ及び夏期休暇課題提示 「中学校における吹奏楽活動の活性化を考える」					
時間外での学習	可能な限り現場を見てください。(楽器メーカー、楽器フェア、コンサート、各種講習会、コンクール等業界を学ぶ姿勢で観察しましょう。楽器店以外の店舗からも多くを学べます。管打楽器関連専門誌、楽器関連業界誌、インターネット等で最新情報を学び、自分だけの資料として記録しましょう。 ”将来に必ず活かされます”。					
受講学生へのメッセージ	楽器演奏及び指導力を持ったプレイング・セールス・エンジニアに興味を持ってください。この能力は楽器店で仕事をする上で大きな力になります。復習は必ず行ってください。 オフィスアワー：質問は授業前後に教室で対応します。					

楽器業界ビジネス（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：木下 紘治郎						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	<p>これまでに学んだ知識を生かす「営業力」を学びます。お客様への提案、説得には営業技術とともに人間としての優秀さ及びコミュニケーション能力が重要です。次の3つの課題から修得します。</p> <p>1. 営業の基本 / 2. ロールプレイング / 3. グループによる討議「楽器店における管楽器フェア企画及びプレゼンテーション」をこれまでの授業のまとめとして行う。</p>					
授業方法	講義形式及びグループ学修活動（5～6名のグループ）で行います。					
到達目標	<p>1. [知識・理解] 営業活動の基礎的な知識を修得し、営業技術を有する。即戦力となる知識と営業技術を持っている。()</p> <p>2. [思考・判断・表現] プレイングセールスエンジニアとしての臨機応変な思考・判断力、感受性及び表現力を有する。()</p> <p>3. [関心・意欲・態度] 新情報収集（業界、学校、音楽活動）に敏感で意欲的である。会社、学校等現場から信頼される人間性を有する。()</p>					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	60	5	-	5	70
	グループ活動	5	5	-	5	15
	レポート	5	5	-	5	15
	合計	70	15	-	15	100
成績評価と割合	筆記試験 70%、グループ活動と発表 15%、レポート 15% の合計 100% で評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。管打楽器価格一覧表、楽器別カタログを使用します。					
参考書・教材	自作資料を配布します。					

内容	
実施回	授業内容・目標
1	営業の基本(1) 会社から信頼される営業担当者について 具体的に学び理想的な担当者像を理解する [準備・課題]学習内容の復習(3h)
2	営業の基本(2) 社会人としての基本姿勢 「学生と社会人の違い」「会社組織とは」 [準備・課題]学習内容の復習。社会人となった時に生かせるよう「今の自分を考える」(3h)
3	営業の基本(3) 基本的営業マナー 小売店等での営業の実際のシュミレーションができる [準備・課題]学習内容の復習。様々な営業現場で学ぶこと。観察力を高める(5h)
4	営業の基本(4) 電話対応、名刺交換、メモの重要性 コミュニケーション能力を高める基本を理解する [準備・課題]学習内容の復習。今のうちに身につける課題として取り組むこと。自分の専門楽器のカタログを熟読しておくこと。楽器を持参する事(4h)
5	営業の基本(5) 接客の基本 知識と営業活動の実際を知り、実践力の基本としてロープレを行う 併せてこれまで学んだ知識を確認する [準備・課題]学習内容の復習。ロープレ課題をまとめておくこと、カタログの熟読、楽器準備(5h)
6	営業の基本(6) 接客の基本 ロープレ実習 知識を実践に生かす基本を学ぶ [準備・課題]学習内容の復習。機会を見つけ学生同士でロープレをすること (6h)
7	企画(1) 企画とは...販売促進企画 について 営業効果を上げるための工夫を学ぶ [準備・課題]学習内容の確認。様々な業種の興味深いチラシを収集すること(3h)
8	企画(2) 販促企画 宣材物について...チラシ、POP、DMの研究と催事動員について学ぶ [準備・課題]学習内容の復習。様々な店舗を観察し、学ぶ習慣をつけること(5h)
9	企画(3) 楽器店における「春の管楽器フェア」について グループで活動する(グループ分けする) [準備・課題]学習内容の復習。春の管楽器フェアの概要を十分に理解する事(3h)
10	企画(4) グループ討議 (催事概要についての討議：5W3Hで考える) [準備・課題]学習内容の復習。グループで討議された内容の確認と、次回への取り組み、まとめ 個人企画書を作成する(5h)
11	企画(5) グループ討議 (催事の具体的な内容決定、企画書作成)実施日時、会場、対象、展示規模、会場レイアウト、動員、イベント宣材物、POP、DMなどの内容決定 [準備・課題]学習内容の復習。具体的な内容を確認し、メンバー個々の役割分担を明確にする。(5h)
12	企画(6) グループ討議 (企画書提出、資料作成)会場レイアウト、催事会場等、宣材物作成の作業をする。 [準備・課題]授業内では時間が不足する。作業役割を決め時間外でも対応する。(6h)
13	企画(7) 最終まとめ及び発表 (プレゼンテーション) グループ発表(質疑応答と評価) [準備・課題]学習内容の復習。他グループ発表、自グループ評価を検証する事。(3h)
14	企画(8) グループ発表 (質疑応答と評価) 普及業務について「夏期課題」中学校における吹奏楽活動を考える”のまとめを行う」 [準備・課題]学習内容の復習。他グループ発表、自グループ評価を検証する事。(3h)
15	まとめ プレイング・セールス・エンジニアとしての能力を確認する。 「これからの仕事への取り組み及び生き方の目標について」 [準備・課題]楽器研究、楽器業界ビジネスで学んだことを確認すること。(6h)
時間外での学習	グループ企画の参考としてチラシを収集してください。(楽器業界、コンサート、他業界のユニークで説得力のあるチラシを集め、内容、デザイン、レイアウト、キャッチコピー等の工夫を学んでください。お客様への動員、誘店企画内容から成功への思いをかき取ってください。POPやチラシの作成は授業内では不十分です。時間外でも積極的に取り組んでください。
受講学生へのメッセージ	学生ではありますが、業界人としての視点をもって多くの現場を見てください。楽器業界に就職した際のシュミレーションができるとうれしいと思います。復習は必ず行ってください。グループ活動では個人の参画意識が重要です。やむを得ない場合を除き、授業は休まないよう個人の責任感を強く意識してください。オフィスアワー：質問等は授業前後に教室で対応します。

マーチング指導法（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：木下 紘治郎						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	マーチング指導者としての知識修得や実技演習を通して、幅広い年齢層に対応できる総合指導者としての基本を学びます。実技と併行してそれぞれの年齢層に合わせた指導法の研究を行います。					
授業方法	実技実習及び講義形式で行います。理解を深めるためDVDを、音楽と動きの調和のためCDを活用します。個人課題及び3～4人のグループ学習活動を行います。					
到達目標	1. [知識・理解] マーチング総合指導者としての専門的な知識を持っている。幼児、小学生、中学生、高校生、一般と幅広い年齢層に対応できる知識を持っている。() 2. [思考・判断・表現] 芸術に対する優れた感受性をもっている。マーチングは「音楽と動きの調和」をテーマにした集団演技である。幅広い音楽、舞踊等を研究し、それらの表現力、芸術性を追求する。() 3. [技能] 率先垂範できる技能を持っている。() 4. [関心・意欲・態度] 教育の場での指導に相応しい指導者像に関心を持ち、研究し意欲的であり、学校から信頼される人間性を有する。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	43	3	2	2	50
	実技試験	2	2	34	2	40
	課題作成（コンビネーション）	3	2	3	2	10
	合計	48	7	39	6	100
成績評価と割合	筆記試験 50%、実技試験 40%、課題作成 10% の合計 100% で評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	『カラーガード・マーチングパーカッション基本テクニク』2,160円税込 日本マーチングバンド協会(売店で購入してください)					
参考書・教材	自作資料を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 実技 基本動作(停止間の動作、専門用語一覧表による、専門用語の確認) [準備・課題]学習内容の復習。専門用語は常に携帯できるカードにしましょう(4h)					
2	行進間の動作(行進しながらの方向転換の方法) [準備・課題]学習内容の復習。リズムカルな曲に合わせて動いてみましょう(2h)					
3	L字課題(1) 個人動作を総合的に実施する課題 [準備・課題]学習内容を復習する。L字の動きを略号で書きましょう(2h)					
4	L字課題(2) CDを使用し「音楽と動きの調和」の基本を修得する [準備・課題]学習内容を復習する(3h)					
5	T字課題及びL字課題のまとめ L字、T字とも実技実習の際にウォームアップとして行う [準備・課題]学習内容を復習。個人の動きの完成が基本。時間を見つけ練習してください(4h)					
6	実技 ドリルパターン実習、図表の書き方(グループで動きながら、図表化する) [準備・課題]学習内容を復習。ドリルパターンは書くことで確実にあります(4h)					
7	コンビネーション(1) 3～4人一組のグループ(スコード)の動き「デイリートレーニング」 [準備・課題]学習内容を復習。略号で示される動きを想像できるようにしましょう(3h)					
8	コンビネーション(2) デイリートレーニング、パターン [準備・課題]学習内容を復習。自分のデイリートレーニングを作成しましょう(4h)					
9	コンビネーション(3)パターン、パターン、個人作成課題提示(128拍)、実技試験課題提示 [準備・課題]学習内容を復習。課題を作成してください(4h)					
10	コンビネーション(4) 個人作成課題をグループで動く(作成者が指導する。代表作を決定) [準備・課題]学習内容を復習。発表作品の全ポジションを動けるようにしてください(3h)					
11	コンビネーション(5) グループ練習。発表及び評価(L字、コンビネーションのまとめ) [準備・課題]学習内容を復習。次週実技テストを行います。完成度を高めてください(6h)					
12	実技テスト L字課題(個人の評価)、コンビネーション(グループ内での個人評価) [準備・課題]テスト結果を検証し課題を見つける。スネアドラム・スティックを用意してください(3h)					
13	実技 マーチングパーカッションの基本(1) 楽器の種類とチューニング及び奏法 [準備・課題]学習内容を復習。可能なら練習台、不可能ならゴム版、雑巾を準備してください(2h)					
14	マーチングパーカッションの基本(2) スネアドラムの基本奏法 [準備・課題]学習内容を復習。マーチングバンド指導者必須の技術です。練習しましょう(5h)					
15	マーチングパーカッションの基本(3) ドラムマーチ(SD, QD, BD, Cymb)のアンサンブル ・夏期休暇課題提示「ドラムマーチの作曲、編曲」1作品作成 [準備・課題]学習内容を復習。書法を確認してください。できる限り多くの作品を書きましょう(6h)					
時間外での学習	実技の修得は授業中だけでなく時間外でも自主学習、グループでの練習を行ってください。マーチングのコンクール、コンテストを視察しましょう。多くのDVD、CDが販売されています。多くの実践例を学んでください。					
受講学生へのメッセージ	マーチングに興味を持ってください。個人のレベルアップとともにグループでの活動が重要です。グループの中の個人を強く意識して責任をもって授業に参加してください。上履き、動きやすい服装で参加してください。 オフィスアワー：授業時間の前後に体育館、教室で個人指導、グループ指導に対応します。積極的な姿勢を歓迎します。					

マーチング指導法（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：木下 紘治郎						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	マーチング総合指導者として必要なドラムメジャー、カラーガードの実技及び指導法、バンド全体指導としてデイリートレーニング、パレーディング（全日本吹連パレードコンテスト対応）の実技及び指導法を学びます。これから普及すると思われる。ステージドリルの研究を行います。コンテ作成の基本（書法の研究）舞台関連知識（舞台、幕、照明やスタッフの仕事を含む）やステージドリルのコンテ作成及び構成演出の基本を学びます。					
授業方法	実技実習及び講義形式で行います。より理解を深めるためDVD，CDを活用します。					
到達目標	1.[知識・理解] マーチング指導者に必要な豊富な専門知識を持っている。() 2.[思考・判断・表現] 指導対象となる幅広い年齢層に相応しい指導法を常に思考し、適切に判断し指導ができる。() 3.[技能] 率先垂範できる幅広い年齢層に対応できる技術を持っている。() 4.[関心・意欲・態度] 指導現場に相応しい指導者像に関心を持ち、常に意欲的であり、指導者、教育者音楽家として信頼される()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	30	10	2	8	50
	実技試験	2	2	34	2	40
	提出課題	2	3	2	3	10
	合計	34	15	38	13	100
成績評価と割合	筆記試験 50%、実技試験 40%、提出課題 10% の 合計 100% で評価します。3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	特にありません。前期の『カラーガード・マーチングパーカッション基本テクニック』を使用します。					
参考書・教材	自作資料等を配布します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	実技 ドラムメジャー(1) 役割及び指揮杖について。停止間の動作と操法 [準備・課題]学習内容の復習(3h)					
2	ドラムメジャー(2) 行進間の動作と操法 [準備・課題]学習内容の復習。個人持ち指揮杖がない時は代用品を工夫しましょう(2h)					
3	ドラムメジャー(3) パレーディング操法(実技試験課題提示) [準備・課題]学習内容の復習。姿勢、タイミング等に留意して確実にサインが出せる様にしましょう。(2h)					
4	実技 カラーガード(1) 特性、名称、4つのコントロール、基本奏法(オーダーアーム、ライトショルダーアーム、ランス、プレゼントアーム) [準備・課題]学習内容の復習。個人持ちの用具がない時は代用品を工夫しましょう(2h)					
5	カラーガード(2) ランスとプレゼントアーム、ドロップ、セカンドテクニック スピン [準備・課題]学習内容の復習(2h)					
6	カラーガード(3) セカンドテクニック 及び スイープ。個人作成課題提示(128拍の振り付け) 実技試験課題提示。 [準備・課題]学習内容の復習。振付課題の作成と実技試験内容の確認をしましょう(6h)					
7	カラーガード(4) セカンドテクニック、個人作成課題を練習(作成者が指導、グループ1作品選ぶ) [準備・課題]学習内容の復習。グループ作品を確認し個人練習しましょう(5h)					
8	カラーガード(5) グループ練習と発表。カラーガード実技のまとめ [準備・課題]学習内容の復習。引き続き振付を作成しましょう(3h)					
9	実技 パレーディング(吹奏楽連盟パレードコンテスト課題)指揮杖、カラーガード活用 [準備・課題]学習内容の復習。各コーナーの方向転換に注目し、方法を考えてください(4h)					
10	実技試験(ドラムメジャー、カラーガード)練習後実施 [準備・課題]学習内容の復習。個人評価を必ず行ってください(1h)					
11	マーチングの編成及び演奏・演技形態(DVD鑑賞)、ドリルコンテ作成(書法の研究) [準備・課題]学習内容の復習。書法の確認をし、書けるようにしましょう(5h)					
12	ステージドリル(1) (舞台関連知識…舞台、幕、照明、スタッフの仕事)使用曲について オープニングの動きと演出。“音楽と動きの調和”。演出プラン、ストーリーボード、コンテ作成 [準備・課題]学習内容の復習。使用曲をアナライズし、オープニングコンテを作成しましょう(5h)					
13	ステージドリル(2) オープニングコンテ作成及び中間部のコンテ作成：カラーガード、マーチングパーカッションの活用 [準備・課題]学習内容の復習。中間部のコンテ作成をしましょう(5h)					
14	ステージドリル(3) 中間部及びエンディングの動きと演出。コンテ作成 [準備・課題]学習内容の復習。コンテ作成をしましょう(5h)					
15	ドリルデザイン(4) コンテ作成のまとめ。全曲のコンテを作成しましょう [準備・課題]学習内容の復習。引き続きコンテ作成をしましょう(6h)					
時間外での学習	マーチングの上位大会(東海、北陸、関東大会等及び全国大会を可能な限り視察、鑑賞しましょう。編成、ドリルフォーメーション、使用曲、構成・演出、使用楽器(打楽器はメーカー)を学びましょう。					
受講学生へのメッセージ	幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校のマーチングを指導する際、学校を訪問します。教育の一環として活動していることを念頭におき信頼される言動が出来るよう学んでください。マーチング指導者は規律の正しさ。誠実さが求められます。疑問はその場で解決しましょう。オフィスアワー：質問は体育館、教室で授業前後に対応します。					

楽器店実習		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：渡辺 博夫・服部 篤典・鈴木 孝育						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	主に愛知県、岐阜県内の楽器店(管楽器専門店、総合楽器店)に出向き、店頭での楽器販売、楽器修理、営業等のノウハウを学びます。事前に実習に当たっての心構えなどを学んだ後、実習に入ります。実際に楽器店の業務、接客等を体験することにより、楽器店従業員、管楽器リペア技術者としての基礎を学び、就職した際、スムーズに業務へ対応が出来るようにします。					
授業方法	講義において心構えを学んだあと、各楽器店へ出向き、実際に楽器店での業務を行います。実習後は、実習内容、反省点をレポート提出します。					
到達目標	1.[知識・理解] 楽器店担当者のアドバイスを理解し的確な業務遂行が行える。(○) 2.[思考・判断・表現] 楽器店の業務内容について十分に理解をすることによって、楽器店就職意思をより明確にする。(○) 3.[技能] 各楽器の構造上の特性や演奏技術に関する基本的な知識があり、それをお客様に説明できる。(○) 4.[関心・意欲・態度] 楽器店上司、店頭スタッフ等とのコミュニケーション作りが円滑に行える様にできる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	言語挨拶・整頓美化	20	-	-	-	20
	迅速性	-	20	-	-	20
	接客態度	-	-	20	-	20
	総合所見	-	-	-	40	40
	合計	20	20	20	40	100
成績評価と割合	言語挨拶・整頓美化 20%、迅速性 20%、接客態度 20%、総合所見 40% の合計100%で評価します。実習評価用紙に基づいて算出します。さらに、総合所見のコメントも加味します。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	楽器店担当者から配布がされます。(必要時に)					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	楽器店受け入れ可能について打診、人数、日程調整実施 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
2	実施内容等を楽器店社長、マネージャー経由ご担当者へ説明し了解を得る [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
3	将来の就職先という意味合いも検討し、愛知岐阜県内及び、出身県内楽器店への人選を行う [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
4	スケジュールについて個々の学生と調整を行う [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
5	決定後、楽器店マネージャー経由ご担当者宛てに実習参加者名等ご連絡 [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
6	実習前日まで、再度学生に服装及び実習に臨む姿勢等を説明する [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
7	実習開始、終了後レポート作成及びご担当者とのミーティング [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
8	実習開始、終了後レポート作成及びご担当者とのミーティング [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
9	実習開始、終了後レポート作成及びご担当者とのミーティング [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
10	実習開始、終了後レポート作成及びご担当者とのミーティング [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
11	実習開始、終了後レポート作成及びご担当者とのミーティング [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
12	楽器店実習評価用紙及びレポート回収し、現状分析を行う [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
13	個々のレポート用紙等を見ながら状況聴取。また、求人情報についても確認をする [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
14	個々のレポート用紙等を見ながら状況聴取。また、求人情報についても確認をする [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
15	個々のレポート用紙等を見ながら状況聴取。また、求人情報についても確認をする [準備・課題]学んだ内容の復習(1h)					
時間外での学習	各楽器店のホームページを見る事で、店舗の独自性や主力商品等を理解し、単なる実習経験ではなくて、楽器店の様々な業務内容を理解してください。					
受講学生へのメッセージ	初めて会うスタッフの方々や環境の違い等不安要素もあると思いますが、色々な事を吸収してください。挨拶は、元気にはっきりと。第一印象が決まってしまうので。オフィスアワーは、F101で毎週火曜日授業終了後の18:00~19:00です。					

楽器講師資格対策		音楽総合学科		2年前期		
		1単位		演習	30時間	
[教員]：長尾 洪基						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	楽器店、楽器メーカーが展開する音楽教室の講師資格取得のための講座です。ここでは管楽器の講師を目指す学生に対して講師試験の対策や、実際のレッスンで生徒から何を求められ何を指導していくかを学びます。卒業後講師としての確かな指導ができ、生徒から信頼される講師を目指します。					
授業方法	ポピュラー音楽史、ポピュラー音楽理論などの講義と並行し、ポピュラーミュージックに必要な実技、またクラシック課題のレッスンをを行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 基本的なコードが理解でき簡単なアドリブ演奏ができる。() 2.[思考・判断・表現] ジャズ、ポピュラーでのリズム、アーティキュレーションが演奏できる。() 3.[思考・判断・表現] ジャズ、ポピュラーの歴史、ジャンル、演奏法等の基本的な知識があり、その説明ができる。() 4.[関心・意欲・態度] 楽器の扱い方、初歩の演奏指導ができ、中級者への楽曲の指導ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	試験	50	-	-	-	50
	課題	20	10	-	-	30
	受講態度	-	10	-	10	20
	合計	70	20	-	10	100
成績評価と割合	試験(期末の試験) 50%、課題提出 30%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20% の合計100%で評価します。 欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし					
参考書・教材	その都度配布					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、授業の進め方、授業の内容等 [準備・課題]音楽基礎知識の予習(3h)					
2	筆記試験対策1 楽典一般：音程、音階ほか [準備・課題]音楽基礎知識の予習(3h)					
3	ポピュラー奏法対策1 ポピュラーミュージックの基本的な奏法1 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
4	筆記試験対策2 楽典一般：音階、コードネームほか、小テスト [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
5	ポピュラー奏法対策2 ポピュラーミュージックの基本的な奏法2 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
6	筆記試験対策3 コードネームに関する知識1 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
7	ポピュラー奏法対策3 簡単なアドリブ1 [準備・課題]課題曲テーマ部分の練習(3h)					
8	筆記試験対策4 コードネームに関する知識2、小テスト [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
9	ポピュラー奏法対策4 簡単なアドリブ2：アドリブフレーズ課題提出 [準備・課題]課題曲の練習(3h)					
10	各個人レッスン1 課題曲のレッスン：クラシック課題1 [準備・課題]クラシック課題1の練習(3h)					
11	各個人レッスン2 課題曲のレッスン：クラシック課題2 [準備・課題]クラシック課題2の練習(3h)					
12	各個人レッスン3 課題曲のレッスン：ポピュラー課題1 [準備・課題]ポピュラー課題曲1の練習(3h)					
13	各個人レッスン4 課題曲のレッスン：ポピュラー課題2 [準備・課題]ポピュラー課題曲2の練習(3h)					
14	試験対策1 実技 [準備・課題]試験曲の練習(3h)					
15	試験対策2 理論編 [準備・課題]本時学習内容の復習(3h)					
時間外での学習	音楽理論の理解と、楽器技術の向上が共に求められるので、授業以外での学習、修練が必要となります。					
受講学生へのメッセージ	基本的な音楽理論を理解した上で受講してください。一般的にポピュラーな楽器(具体的にはフルート、サクソ、クラリネット、トランペット等)を専攻する学生を対象としています。 オフィスアワーは、講義終了後、教室で行います。					

卒業演奏（ピアノ）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：横井 香織・河村 義子・三ツ橋 義晴						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	各々の希望する楽曲を1～2曲取り組み、演奏テクニックと表現力を高め、高度な演奏を目指します。					
授業方法	演習授業で、個々のレベルや進度に合わせた個人レッスンを行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 作曲家や作品などについての知識を身に付け、音楽的知識を十分に活用し、楽曲理解に繋げることができる。() 2.[思考・判断・表現] 作品に対するイメージや考えのもと、演奏表現をすることができる。() 3.[技能] 卒業演奏にふさわしい演奏技術を身に付けることができる。() 4.[関心・意欲・態度] 自己の内面・感性を磨き、積極的な取り組みができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	40	40	-	80
	受講態度	10	-	-	10	20
	合計	10	40	40	10	100
成績評価と割合	実技試験 80%、受講態度 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	個々に合わせて選択します。					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方 レッスン(1) 選曲した曲のレッスン [準備・課題] レッスンができるように準備しておく(2～3h)					
2	レッスン(2) 譜読みの確認 [準備・課題] 譜読みが正確か確認をする(2～3h)					
3	レッスン(3) テクニック練習 [準備・課題] スムーズに弾けるようにする(2～3h)					
4	レッスン(4) テクニックの向上 [準備・課題] 反復練習をしてテクニックを向上する(2～3h)					
5	レッスン(5) 強弱・曲想 [準備・課題] 強弱、音楽用語などを理解して弾く(2～3h)					
6	レッスン(6) テンポアップ [準備・課題] 徐々にテンポを上げて弾けるようにする(2～3h)					
7	レッスン(7) バランス [準備・課題] 響きのバランスを考える(2～3h)					
8	レッスン(8) 音色 [準備・課題] 楽曲にふさわしい音色を研究する(2～3h)					
9	レッスン(9) 音楽表現 [準備・課題] 楽曲にふさわしい音楽表現をする(2～3h)					
10	レッスン(10) 部分練習 [準備・課題] 演奏が困難な箇所を反復練習し、演奏力を向上する(2～3h)					
11	レッスン(11) 表現力 [準備・課題] 表現力豊かな演奏ができるようにする(2～3h)					
12	レッスン(12) 暗譜 [準備・課題] 暗譜に取り組む(2～3h)					
13	レッスン(13) 確実な暗譜 [準備・課題] 確実に暗譜演奏ができるようにする(2～3h)					
14	レッスン(14) 弾き込み [準備・課題] 弾き込んで演奏力を高める(2～3h)					
15	レッスン(15) 仕上げ [準備・課題] 音楽性を高め仕上げる(2～3h)					
時間外での学習	楽曲演奏の練習はもちろん、演奏会等に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化に触れるなど、音楽的素養を更に身に付け、感性を磨き、自分の技術や音楽性を十分に表現できるよう幅広い学修を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	心と頭と身体を使い、一音一音に気持ちを込めた演奏を心掛けましょう。オフィスアワーは各レッスン室で授業前後の休み時間です。					

卒業演奏（ピアノ）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：横井 香織・河村 義子・三ツ橋 義晴						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	各々の希望する楽曲を1～2曲取り組み、演奏テクニックと表現力を高め、高度な演奏を目指します。					
授業方法	演習授業で、個々のレベルや進度に合わせた個人レッスンを行います。					
到達目標	1.[知識・理解] 作曲家や作品などについての知識を身に付け、音楽的知識を十分に活用し、楽曲理解に繋げることができる。() 2.[思考・判断・表現] 作品に対するイメージや考えのもと、演奏表現をすることができる。() 3.[技能] 卒業演奏にふさわしい演奏技術を身に付けることができる。() 4.[関心・意欲・態度] 自己の内面・感性を磨き、積極的な取り組みができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	40	40	-	80
	受講態度	10	-	-	10	20
	合計	10	40	40	10	100
成績評価と割合	実技試験 80%、受講態度 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	個々に合わせて選択します。					
参考書・教材	個々に合わせて選択します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス 授業の進め方 レッスン(1) 選曲した曲のレッスン [準備・課題] レッスンができるように準備しておく(2～3h)					
2	レッスン(2) 譜読みの確認 [準備・課題] 譜読みが正確か確認をする(2～3h)					
3	レッスン(3) テクニック練習 [準備・課題] スムーズに弾けるようにする(2～3h)					
4	レッスン(4) テクニックの向上 [準備・課題] 反復練習をしてテクニックを向上する(2～3h)					
5	レッスン(5) 強弱・曲想 [準備・課題] 強弱、音楽用語などを理解して弾く(2～3h)					
6	レッスン(6) テンポアップ [準備・課題] 徐々にテンポを上げて弾けるようにする(2～3h)					
7	レッスン(7) バランス [準備・課題] 響きのバランスを考える(2～3h)					
8	レッスン(8) 音色 [準備・課題] 楽曲にふさわしい音色を研究する(2～3h)					
9	レッスン(9) 音楽表現 [準備・課題] 楽曲にふさわしい音楽表現をする(2～3h)					
10	レッスン(10) 部分練習 [準備・課題] 演奏が困難な箇所を反復練習し、演奏力を向上する(2～3h)					
11	レッスン(11) 表現力 [準備・課題] 表現力豊かな演奏ができるようにする(2～3h)					
12	レッスン(12) 暗譜 [準備・課題] 暗譜に取り組む(2～3h)					
13	レッスン(13) 確実な暗譜 [準備・課題] 確実に暗譜演奏ができるようにする(2～3h)					
14	レッスン(14) 弾き込み [準備・課題] 弾き込んで演奏力を高める(2～3h)					
15	レッスン(15) 仕上げ [準備・課題] 音楽性を高め仕上げる(2～3h)					
時間外での学習	楽曲演奏の練習はもちろん、演奏会等に出掛けて様々な音楽を聴く、作曲家や作品について調べる、西洋の風景や歴史・文化に触れるなど、音楽的素養を更に身に付け、感性を磨き、自分の技術や音楽性を十分に表現できるよう幅広い学修を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	2年間の集大成となります。自分の学んだものが存分に発揮できるよう取り組みましょう。オフィスアワーは各レッスン室で授業前後の休み時間です。					

卒業演奏（電子オルガン）（前期）	音楽総合学科		2年前期	
	2単位		演習	30時間

[教員]：松井 宏行

[関連する資格・履修制限等]：

授業内容 卒業演奏に向けた、自編曲の制作と演奏に取り組みます。制作面を中心に進めながら、それに伴う演奏にも取り組みます。制作・演奏ともに、卒業に向けた高いクオリティを追求していきます。

授業方法 個人レッスン

到達目標 1.[知識・理解] 取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。()
2.[思考・判断・表現] 取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に編曲・演奏に取り入れて表現することができる。()
3.[技能] 取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って編曲・演奏することができる。()
4.[関心・意欲・態度] 各曲を編曲・演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。()

観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験		10	15	15	-
準備・課題		5	5	5	-	15
課題提出		10	10	10	-	30
受講態度		-	-	-	15	15
	合計	25	30	30	15	100

成績評価と割合 実技試験(演奏発表) 40%、準備・課題(毎週の練習の結果) 15%、課題提出(編曲制作した楽譜/レジストレーションデータ/演奏録音データ) 30%、受講態度 15% の 合計 100% で評価します。

テキスト 授業開始後、必要に応じて案内します。

参考書・教材 授業開始後、必要に応じて 参考書・楽譜などを案内します。

内容

実施回	授業内容・目標
1	選曲 今後のレッスン内容の方向性を検討～決定 [準備・課題] 曲の前期に取り組む範囲の冒頭1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)
2	編曲と制作(1) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の1/5程度まで [準備・課題] アドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習してくる。(2～4h)
3	編曲と制作(2) 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)
4	編曲と制作(3) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の2/5程度まで [準備・課題] アドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習してくる。(2～4h)
5	編曲と制作(4) 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)
6	編曲と制作(5) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の3/5程度まで [準備・課題] アドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習してくる。(2～4h)
7	編曲と制作(6) 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)
8	編曲と制作(7) 曲の冒頭から、前期に取り組む範囲の4/5程度まで [準備・課題] アドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習してくる。(2～4h)
9	編曲と制作(8) 曲のつづき～次の1/5程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)
10	編曲と制作(9) 前期に取り組む範囲全体 [準備・課題] アドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習してくる。(2～4h)
11	編曲と制作(10) 前期の範囲全体を通じた演奏を練習してくる。(2～6h)
12	演奏追究(1) 細部に特化したレッスン [準備・課題] アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～6h)
13	演奏追究(2) 構成の軸となる箇所に特化したレッスン [準備・課題] アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～6h)
14	演奏追究(3) 体の流れを意識したレッスン [準備・課題] アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～6h)
15	最終確認 [準備・課題] 試験に向けた演奏仕上げをする。(2～6h)

時間外での学習 ・選曲に時間を要する場合があります。休暇中に予め、広い範囲から複数の曲をピックアップしておいてください。
・演奏面のレッスンは主に第12週以降で取り組みますが、それ以前の編曲過程でもある程度の演奏ができる必要があります。
・第11週以前の準備・課題においても、演奏の練習を進めるようにしましょう。

受講学生へのメッセージ よいよ卒業演奏への着手です。これまで学んだことをたくさん活かして、また新たに学ぶことも加えて、自分ならではの編曲に精一杯取り組みましょう。
[オフィスアワー] 当授業の教室にて 毎週木曜日 12:10～12:15

卒業演奏（電子オルガン）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：松井 宏行						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期の同授業に引き続き、自編曲の制作と演奏に取り組みます。前半では制作面の仕上げを行い、後半では演奏面により深く取り組みます。制作・演奏ともに、卒業に向けた高いクオリティを追求していきます。					
授業方法	個人レッスン					
到達目標	1.[知識・理解] 取り組む楽曲において、その曲の構成や、用いられている表現手法を理解できる。() 2.[思考・判断・表現] 取り組む楽曲において、楽譜から読み取れる情報をもとに、適切に編曲・演奏に取り入れて表現することができる。() 3.[技能] 取り組む楽曲に対して、自らのこだわりを持って編曲・演奏することができる。() 4.[関心・意欲・態度] 各曲を編曲・演奏する上で生じる疑問点を、自ら発見し、質問できる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	10	15	15	-	40
	準備・課題	5	5	5	-	15
	課題提出	10	10	10	-	30
	受講態度	-	-	-	15	15
	合計	25	30	30	15	100
成績評価と割合	実技試験(演奏発表) 40%、準備・課題(毎週の練習の結果) 15%、課題提出(編曲制作した楽譜/レジストレーションデータ/演奏録音データ) 30%、受講態度 15% の合計 100% で評価します。					
テキスト	前期で使用したものがある場合は、それを持参すること。					
参考書・教材	授業開始後、必要に応じて 参考書・楽譜などを案内します。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	前期終了後からの制作進捗状況の確認 今後のレッスン内容の方向性を検討～決定 [準備・課題]前期の制作のつづきから、残りの1/3程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)					
2	編曲と制作(1) 前期のつづき～残りの1/3程度まで					
3	編曲と制作(2) [準備・課題]曲のつづき～次の1/3程度まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)					
4	編曲と制作(3) 前期のつづき～残りの2/3程度まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習してくる。(2～4h)					
5	編曲と制作(4) [準備・課題]曲のつづき～最期まで制作を進めてくる。また、その箇所の演奏を練習してくる。(2～6h)					
6	編曲と制作(5) 前期のつづき～最後まで [準備・課題]アドバイスされた箇所を制作に反映し、その箇所の演奏を練習してくる。(2～4h)					
7	演奏追究(1) 細部に特化したレッスン [準備・課題]ここまで一通り編曲を終えた楽曲の冒頭1/3程度まで、演奏を練習してくる。(2～6h)					
8	演奏追究(2) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～6h)					
9	演奏追究(3) 構成の軸となる箇所に特化したレッスン [準備・課題]曲のつづき～2/3程度まで、演奏を練習してくる。(2～6h)					
10	演奏追究(4) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～6h)					
11	演奏追究(5) 全体の流れを意識したレッスン [準備・課題]曲のつづき～最期まで、演奏を練習してくる。(2～6h)					
12	演奏追究(6) [準備・課題]アドバイスされた箇所を練習し、演奏に反映する。(2～6h)					
13	編曲と制作(6) 編曲の総合的な確認 [準備・課題]卒業演奏に向けて、最終的な制作面の調整をする。(2～6h)					
14	演奏追究(7) 演奏の総合的な確認 [準備・課題]卒業演奏に向けて、最終的な演奏仕上げをする。(4～6h)					
15	リハーサルと最終確認 [準備・課題]卒業演奏本番を意識した演奏準備をする。(2～6h)					
時間外での学習	・後期授業第1週の時点で、前期の最終授業よりも編曲制作の進捗状況が進んでいることを期待します。また、演奏面でも前期以上のクオリティに達していることを前提としますので、休暇中も前期の内容を維持～向上できるように積極的に練習に取り組みましょう。 ・演奏面のレッスンは主に後半(第7週以降)で取り組みますが、それ以前の編曲過程でもある程度の演奏ができる必要があります。 前半の準備・課題においても、演奏の練習を進めるようにしましょう。					
受講学生へのメッセージ	いよいよ卒業演奏に向けた仕上げの授業です。自分ならではの編曲に、自分ならではの演奏を重ね、最高の演奏が披露できることと思います。これまで学んだことをたくさん活かして、精一杯取り組みましょう。 [オフィスアワー]当授業の教室にて 毎週火曜日 16:10～16:15					

卒業演奏（ウインド・アンサンブル）（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：服部 篤典・鈴木 孝育						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	卒業演奏に向け基礎力、演奏技術、表現力の向上を図るためのレッスンを行います。各々のレベルに合わせた希望する楽曲を選択し、楽曲を深く理解して演奏に臨みます。					
授業方法	演奏曲目の個人レッスンを各々のレベル進捗状況に応じて行います。ピアノ伴奏の入るものに関しては後半ピアノ伴奏付きのレッスンとなります。					
到達目標	1.[知識・理解] 楽曲の背景にあるものについて理解している。() 2.[思考・判断・表現] 楽譜を深く理解し音楽性を伴った表現豊かな演奏ができる。() 3.[技能] 確実な音程とアーティキュレーションで、楽曲に合った演奏表現ができる。() 4.[関心・意欲・態度] ピアニストとの意思伝達ができ安定したアンサンブルの演奏ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	20	40	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	-	10	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長度 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	楽曲選曲 各々のレベルに合わせた楽曲を担当教員と相談の上選曲します。 [準備・課題]楽曲選択のための研究(2h~3h)					
2	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
3	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
4	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
5	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
6	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
7	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
8	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
9	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
10	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
11	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
12	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
13	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
14	前期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
15	最終確認 試験会場でのリハーサル [準備・課題]リハーサルの復習(3h~6h)					
時間外での学習	日ごろから練習時間を確保し計画的に練習を進めてください。より高いレベルの演奏ができるように努力しましょう。					
受講学生へのメッセージ	2年間の成果を発表する卒業演奏の場です。自分の力が最大限に発揮できるように頑張りましょう。オフィスアワーは水曜日16:40~。					

卒業演奏（ウインド・アンサンブル）（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：服部 篤典・鈴木 孝育						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	卒業演奏に向け基礎力、演奏技術、表現力の向上を図るためのレッスンを行います。各々のレベルに合わせた希望する楽曲を選択し、楽曲を深く理解して演奏に臨みます。					
授業方法	演奏曲目の個人レッスンを各々のレベル進捗状況に応じて行います。ピアノ伴奏の入るものに関しては後半ピアノ伴奏付きのレッスンとなります。					
到達目標	1.[知識・理解] 楽曲の背景にあるものについて理解している。() 2.[思考・判断・表現] 楽譜を深く理解し音楽性を伴った表現豊かな演奏ができる。() 3.[技能] 確実な音程とアーティキュレーションで、楽曲に合った演奏表現ができる。() 4.[関心・意欲・態度] ピアニストとの意思伝達ができ安定したアンサンブルの演奏ができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	実技試験	-	20	40	-	60
	受講態度	-	-	-	20	20
	成長度	10	-	10	-	20
	合計	10	20	50	20	100
成績評価と割合	実技試験 60%、受講態度(普段の授業の取り組み) 20%、成長度 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	なし。					
参考書・教材	その都度配布。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	楽曲選曲 各々のレベルに合わせた楽曲を担当教員と相談の上選曲します。 [準備・課題]楽曲選択のための研究(2h~3h)					
2	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
3	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
4	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
5	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
6	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
7	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
8	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
9	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
10	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
11	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
12	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
13	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
14	後期選択楽曲のレッスン 各々のレベル、進捗状況に合わせてレッスンを進めていきます。 ・演奏技術の向上 ・楽曲研究 ・音色、バランス、ハーモニーの研究 ・表現力の追求 [準備・課題]選択曲の研究及び練習(3h~6h)					
15	最終確認 試験会場でのリハーサル [準備・課題]リハーサルの復習(3h~6h)					
時間外での学習	日ごろから練習時間を確保し計画的に練習を進めてください。より高いレベルの演奏ができるように努力しましょう。					
受講学生へのメッセージ	2年間の成果を発表する卒業演奏の場です。自分の力が最大限に発揮できるように頑張りましょう。オフィスアワーは水曜日16:40~。					

卒業研究（前期）	音楽総合学科		2年前期			
	2単位		演習	30時間		
[教員]：渡辺 博夫						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	1年次に学んだ基礎技術から応用的な高度な技術を身に付けると共に、技術力だけではなく管楽器群の幅広い知識もさらに深める。これらから、発表テーマを考えて行って下さい。					
授業方法	前期の授業については、基礎力から応用力を身に付けることをまず行います。修理方法についても、ひとつの手法だけではありませんので、自分にとってやり易いかを実践して下さい。管楽器文献やインターネット、専門書を普段から見る読む等して知識を深めて下さい。また、疑問に思った内容等がありましたら、授業内に取り上げ全員で考える事も行います。					
到達目標	1. [知識・理解] 仕組み・構造の理解をベースとしてより高度な技能や、今日に至る管楽器の歴史を理解する () 2. [思考・判断・表現] 管楽器の歴史を理解し、テーマに沿った考えや表現ができる () 3. [技能] 表や文献を用い管楽器の歴史に関するテーマに沿った説明ができる () 4. [関心・意欲・態度] 楽器全般に関心興味を持ち、自らが率先して技能、知識を向上することが出来る ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	筆記試験	10	-	-	-	10
	実技試験	-	30	50	-	80
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	10	30	50	10	100
成績評価と割合	試験 90%、受講態度 10% の合計100%で評価します。欠席・遅刻は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません					
参考書・教材	『管打楽器の新しい楽器学と演奏方法』（ヤマハ株式会社出版）、各社楽器カタログ、管楽器文献、専門書など					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	ガイダンス、授業の進め方について解説 [準備・課題]学んだ内容の復習（1h）					
2	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
3	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
4	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
5	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
6	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
7	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
8	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
9	木管楽器、金管楽器応用実習 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
10	木管楽器、金管楽器応用実習、情報収集 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
11	木管楽器、金管楽器応用実習、情報収集 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
12	木管楽器、金管楽器応用実習、情報収集 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
13	木管楽器、金管楽器応用実習、情報整理 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
14	木管楽器、金管楽器応用実習、情報整理 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
15	木管楽器、金管楽器応用実習、情報整理 [準備・課題]学んだ内容の復習（3h～5h）					
時間外での学習	学生間で問題を解決していく事も必要になってきますから、疑問点等を必ずメモをとる様にして、改善策を導いてください。計画的に空き時間を利用して、パソコン使用や作業手順の確認を行ってください。					
受講学生へのメッセージ	幅広い視点からの発表は、1年次生にとっても大変勉強になりますし、人前での発表は（プレゼンテーション）相手にしっかり伝える難しさを十分に考えてください。オフィスアワーは、F101教室で毎週火曜日授業終了後の16：40～18：00です。					

卒業研究（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：渡辺 博夫						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	2年間の集大成と意識を高く持って、管楽器（他楽器）を幅広い視点から捉えて欲しい。					
授業方法	実習発表では、プレゼンの進行をしっかりと考え、準備物に漏れが無いようにして下さい。 論文発表では、情報をパワーポイントに纏める能力と、発表トークが聴講者にしっかりと理解される事が重要です。 かぎられた時間に上手く纏めて下さい。					
到達目標	1. [知識・理解] 仕組み・構造の理解をベースとしてより高度な技能や、今日に至る管楽器の歴史を理解する () 2. [思考・判断・表現] 管楽器の歴史を理解し、テーマに沿った考えや表現ができる () 3. [技能] 表や文献を用い管楽器の歴史に関するテーマに沿った説明ができる () 4. [関心・意欲・態度] 楽器全般に関心興味を持ち、自らが率先して技能、知識を向上することが出来る ()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	研究発表	30	30	30	-	90
	受講態度	-	-	-	10	10
	合計	30	30	30	10	100
成績評価と割合	研究発表(論文発表に区分しますが、プロセスから発表までの達成度について評価します) 90%、 受講態度 10% の合計100%で評価します。 授業回数 1/3以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	ありません。					
参考書・教材	『管打楽器の新しい楽器学と演奏方法』ヤマハ株式会社出版 各社楽器カタログ等、必要な資料は配布します。 管楽器文献、専門誌等					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	発表テーマの決定、情報収集、準備物用意 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
2	テーマに沿った情報収集、準備物用意 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
3	情報分析 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
4	情報整理 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
5	情報整理 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
6	発表に向けてパワーポイント作成、実技編での準備物作成 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
7	発表に向けてパワーポイント作成、実技編での準備物作成 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
8	発表に向けてパワーポイント作成、実技編での準備物作成 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
9	発表に向けてパワーポイント作成、実技編での準備物作成 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
10	発表に向けてパワーポイント作成、実技編での準備物作成 [準備・課題]学んだ内容の復習(1.5h)					
11	リハーサルに向けて時間配分等修正を行う [準備・課題]学んだ内容の復習(2h)					
12	リハーサルに向けて時間配分等修正を行う [準備・課題]学んだ内容の復習(2h)					
13	プレゼンテーションリハーサル： 時間、内容の確認、準備物の確認。終了後、問題点を洗い出して修正し本番に臨む。 [準備・課題]学んだ内容の復習(2h)					
14	プレゼンテーションリハーサル： 時間、内容の確認、準備物の確認。終了後、問題点を洗い出して修正し本番に臨む。 [準備・課題]学んだ内容の復習(2h)					
15	卒業研究発表実施：管打楽器リペアコース1年次生聴講で実施 [準備・課題]学んだ内容の復習(2h)					
時間外での学習	パワーポイント作成は、パソコン台数を考慮して、時間に余裕を持って作成してください。					
受講学生へのメッセージ	人前での発表は誰もが緊張しますが、1年次生の真剣さに負けずに。 オフィスアワーはF101教室で、毎週火曜日授業終了後18：00～19：00です。					

卒業論文（前期）		音楽総合学科		2年前期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：小西 文子・日比 あけみ						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	自分で決めたテーマについて調べ、一年かけて論文形式に仕上げます。前半2回は講義形式、それ以降は面談（個人、グループ）でテーマの進み具合を担当教員と話し合います。					
授業方法	演習形式					
到達目標	1.[知識・理解] 論文にふさわしいテーマを決定する。() 2.[思考・判断・表現] 過去の文献を探し、正しく記載する。() 3.[技能] 論文に適した正しい文体でまとめることができる。() 4.[関心・意欲・態度] 聴く人が理解できるような形で中間発表を行うことができる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	提出物	20	20	20	-	60
	中間発表	-	-	-	20	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	20	20	20	40	100
成績評価と割合	提出物 60%、中間発表 20%、受講態度 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	授業内でプリントを配布します。					
参考書・教材	各自毎時間、自分のUSBメモリを持参すること。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	論文とはどのようなものか [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
2	論文の決まりごと(文体、引用の仕方、章立て) [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
3	関連文献の検索(J-Stageなど) [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
4	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
5	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
6	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
7	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
8	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
9	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
10	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
11	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
12	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
13	担当教員と話し合いながら文献検索あるいは実験計画、予備実験が必要な学生は予備実験まですすめる [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
14	中間報告(一人10分以内)準備、中間報告までの論文を提出 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる(1~2h)					
15	中間報告、返却された論文を確認、後期の予定を確認					
時間外での学習	各自が授業時間外で文献を探し、まとめるなどの作業が必要です。					
受講学生へのメッセージ	音楽に関わるものでしたらどんなテーマでも論文となります。自分の興味があるものをとことん追求しましょう。オフィスアワーは、火曜日14:40~16:10です。					

卒業論文（後期）		音楽総合学科		2年後期		
		2単位		演習	30時間	
[教員]：小西 文子・日比 あけみ						
[関連する資格・履修制限等]：						
授業内容	前期に行った中間報告を踏まえて、さらに実験や考察を重ねて1本の論文を完成させる。					
授業方法	演習形式					
到達目標	1.[知識・理解] 正しく先行研究論文の引用ができる。() 2.[思考・判断・表現] 考察に自分の考えを正しい方法でまとめることができる。() 3.[技能] 心理学論文の形式で卒業論文を提出する。(30字×40行、10枚以上) 発表用の抄録をまとめることができる。() 4.[関心・意欲・態度] 人前で自分の研究目的と内容をわかりやすく興味を引く形で発表できる。()					
観点別評価		知識・理解	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	合計
	提出物	20	20	20	-	60
	論文発表	-	-	-	20	20
	受講態度	-	-	-	20	20
	合計	20	20	20	40	100
成績評価と割合	提出物 60%、論文発表 20%、受講態度 20% の合計100%で評価します。欠席は減点とし、3分の1以上欠席した学生には単位を与えません。					
テキスト	授業内でプリントを配布します。					
参考書・教材	各自毎時間、自分のUSBメモリを持参すること。					
内容						
実施回	授業内容・目標					
1	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
2	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
3	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
4	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
5	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
6	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
7	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
8	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
9	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
10	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
11	教員の指示に従い自分の研究をすすめる。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
12	本文提出締切日(30字×40行、10枚以上。表紙と目次は枚数に含まない。文献リストを含む) [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
13	抄録締切日 (A4サイズで1~3枚以内。電子データも提出する) [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
14	卒業論文発表会リハーサル。各自原稿を読み、より効果的なプレゼンテーションの工夫を行う。 [準備・課題]内容を振り返り、出された課題に取り組んで完成させる。(1~2h)					
15	第15回：卒業論文発表会 各自が行った研究について発表を行う。(1人およそ10分)					
時間外での学習	各自が授業時間外で文献を探す、まとめるなどの作業が必要です。					
受講学生へのメッセージ	短大で卒業論文を課すところは多くありませんが、卒業後に、文書で音楽療法の成果をまとめる機会は意外と多いものです。将来の自分のために頑張りましょう。オフィスアワーは、研究室(B403：B号館4階)で毎週火曜日の14:40~16:10です。					